

平成31年裾野市議会3月定例会 予算決算委員会 産業建設分科会（予算審査）

平成31年2月25日（月）、26日（火）、3月1日（金）

2月25日（月）建設部	建設管理課	・・・・・・・・	3
	建設課	・・・・・・・・	22
	まちづくり課	・・・・・・・・	34
	区画整理課	・・・・・・・・	59
2月26日（火）産業部	農林振興課	・・・・・・・・	71
	演習場対策室	・・・・・・・・	108
	産業振興課	・・・・・・・・	112
3月 1日（金）環境市民部	上下水道経営課		
	上下水道工務課	・・・・・・・・	147
	自由討議	・・・・・・・・	188

9時00分 開会

○委員長（井出 悟） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより予算決算委員会に付託され、産業建設分科会に割り振られました第1号議案 平成31年度裾野市一般会計予算のうちの関係部分、第6号議案 平成31年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計予算、第8号議案 平成31年度裾野市水道事業会計予算、第9号議案 平成31年度裾野市下水道事業会計予算の審査を行います。

審査の方法は各課単位で行い、それぞれ当局の説明を求めてから質疑に入りたいと思います。質疑の後、意見を伺います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

ここで、各委員に申し上げます。質疑は一問一答方式で要点を明確に、簡潔な質疑をお願いいたします。意見につきましても要点を明確に簡潔をお願いいたします。

次に、分科会外委員の発言の許否についてお諮りいたします。質疑、意見について、分科会外委員から発言の申し出があった場合には、委員長がその発言の許否を定めたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

なお、分科会外委員の発言は、本委員の発言終了後といたします。また、発言の際には録音の関係上、必ずマイクをご使用願います。

暫時休憩いたします。

9時02分 休憩

9時03分 再開

○委員長（勝又 明） 再開いたします。

建設部

- 委員長（井出 悟） 総括説明は終わりました。
 暫時休憩いたします。

9時12分 休憩

9時13分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課（第1号）

- 委員長（井出 悟） 説明は終わりました。質疑に入ります。
 質疑はありませんか。
 土屋委員。

- 委員（土屋主久） 147ページの地籍調査復元測量委託なのですが、これについては全て公共事業に伴うものということでよろしいでしょうか。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。

- 建設管理課長 こちらはそのとおりになります。

- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

- 委員（二ノ宮善明） それでは、私も今のところ、147ページ、国土調査費の中の地籍調査費。先ほど一般消耗品費の中で、境界杭とか、境界のプレートというお話がありました。昨年から比べると12万ほどここが減っているのですが、本数を減らしたりとかということで新年度に行う事業の中で足りるのですか。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。

- 建設管理課長 こちらのほうは、足りるというふうに踏んでおります。

- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

- 委員（二ノ宮善明） そこのところの委託料です。深良の一部地区の地籍調査の委託、本年度行っていて、また新年度でこれがついているということは残りの分をもう全てやるということによろしいですか。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。

- 建設管理課長 こちらのほうは、残りの分と新規の部分になります。

- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

- 委員（二ノ宮善明） 済みません。ちょっとわからないのですけれども、こういうのって面積に応じての調査委託料になるのですか。面積は関係ない。

（「暫時休憩」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

9時43分 休憩

9時44分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは面積にもよりますが、補助金等の予算のつきぐあいによって進めております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） せっかくなので同じところで、人事課所管かもしれませんがけれども、職員の数が昨年3人が、来年度は2人ということになっていますけれども、この2人でやって、1人減にした理由というのはありますか。

暫時休憩。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時44分 休憩

9時47分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは職員の数については今年度と変わりはありません。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 予算書134ページです。道路維持費の中の13節委託料、一番下のオリンピック関連路側草刈り委託ということで、これオリンピック関連とわざわざ分けている理由というのはありますか。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは、もうオリンピックのコースと、それにアクセスするアクセス道路を行うことから、こちらは分けて計上させていただいております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） オリンピック関連と分けることで国、もしくは県からの補助というのは見込めないのですか。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 現在のところ補助制度等はございません。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ということは、オリンピック関連の草刈りと同じように市道の草刈り、除草委託出していますけれども、内容的には同じものということなのですか。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

9時48分 休憩

9時50分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは、オリンピック等の関係で調査等が来ております。それを明確にするため、外出しをしております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 今の質問に関連して、草刈りということなのですが、等だから多分入っていると思うのですがけれども、結構道路と民有地の切れ目、結構道路のところに土砂がたまってそこで草が繁茂しているというのが多分市内どこでもあらわれる状況だと思うのですがけれども、今回このオリンピックの関連のコースについては、そういうものまで除去するというような形の施工を考えていますか。お聞きしたいと思います。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは、必要によっては道路清掃等も必要になってくるかと考えております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 済みません。131ページでございます。土木総務費の中の市道の未登記箇所の測量登記委託というので、市道内の民地なんていうのはもう何カ所あるとかという、そういうのは把握しているのですか。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは全ては把握をしております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そうすると、どうやって登記をする、土地家屋調査士ですよね、それ委託するのですがけれども、全てを把握していないけれども、ここここここことかというようなあれで委託はするということですか。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらにつきましては、立ち会い等で判明するケースが非常に多くなっております。その際にわかった時点でこの処理を行っていきます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） それでは、134ページでございます。15節の工事請負費のところ、2,970万円、維持補修工事費ですので、これは早く対応をするのが必要だということだと思っておりますが、これって地区要望の見込みとか、そういうようなものはあってこういう金額を載せてあるのですか。

(「暫時休憩で」の声あり)

○委員長(井出 悟) 暫時休憩いたします。

9時52分 休憩

9時53分 再開

○委員長(井出 悟) 再開します。

建設管理課長。

○建設管理課長 こちらのほうは一応建設課のほうで実施しております。

○委員長(井出 悟) ニノ宮委員。

○委員(二ノ宮善明) その下の原材料費でございます。砕石とか生コン、こういうのは区からの要望というのはやはりどのくらいあるかという見込みはあるのですか。

(「ちょっとお待ちください」の声あり)

○委員長(井出 悟) 暫時休憩いたします。

9時53分 休憩

9時54分 再開

○委員長(井出 悟) 再開いたします。

建設管理課長。

○建設管理課長 こちらのほうは、今年度の実績でいきますと、25の区から砕石及び生コン等の要望が上がっております。

○委員(二ノ宮善明) あと1点済みません。

○委員長(井出 悟) ニノ宮委員。

○委員(二ノ宮善明) 139ページの河川維持費なのです。委託料のところ、石脇の黄瀬川の親水公園の遊具診断で、遊具診断がこの河川維持費、実はこれ毎年同額ここから出ているのですけれども、どういうふうに見たらいいですか。親水公園だからということ。

○委員長(井出 悟) 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは、まちづくり課が管理している公園ではなくて、建設管理課のほうで管理している公園ということで、こちらの遊具がありますので、そちらの点検というふうに考えております。

○委員長(井出 悟) 土屋委員。

○委員(土屋主久) 131ページの、先ほど市道の未登記箇所測量登記委託で、全てを把握していないということだったのですけれども、その原因というのはどこにあるのですか。

(「暫時休憩で」の声あり)

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

9時55分 休憩

9時57分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

○建設管理課長 原因等につきましてはいろいろあるものですから、基本的には発見した当時に処理をするという方向で進んでおります。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） それについては、これからはないと思うのですが、いずれにしてももし建設管理課で用地買収を行いますと、当然登記とかも全部入っていますのでないとは思うのですが、細心の注意を払ってやっていただくことが将来に向かってよくなると思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） そのすぐ下に国道246号バイパス建設促進期成同盟会負担金とあるのですけれども、こういうのって何を、今どんな取り組みをしているのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらのほうにつきましては、国道246バイパスを使っている市町村が集まっての建設促進ということで、主には2車線化になります。裾野地先は既に2車線化されておりますので、現状今裾野からの要望は渋滞対策等をお願いしております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） それと、国道469号建設促進期成同盟会負担金なのですが、これは十里木の集落のあたりということでよろしいでしょうか。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらは469、やはり絡む市町村になりますので、富士宮、あるいは富士、それから裾野市、御殿場市、小山町、あと南部町等が関連してきます。これは山梨県の南部町ですが、そちらが絡んでの要望ということなので、やはり全体的な要望になってきます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） そこについて、十里木あたりは該当してくると思うのですが、昔からちょっといろいろ聞いている中で、裾野市の方針というか、今の現状なのか、現道なのか、要するにコースを変えるのかとか、その辺の検討というのはどういう考えでいるかをお聞きしたいと思ひます。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 この十里木地先につきましては、既に平成11年に暫定、概略ルートという形で出ております。裾野市としましては、これを既に決定ルートに格上げしていただくよう毎回要望では要望しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 25ページの歳入の2項8目土木費国庫補助金の一番下、社会資本整備総合交付金、これさっき踏切という話があったのですが、その内訳を教えてください。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時00分 休憩

10時02分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設管理課長。

- 建設管理課長 こちらの内訳なのですが、平松、新川踏切に2,200万円の事業費を見込んでおります。あと、これちょっと内訳が補助金ではなくて、ちょっと事業費ベースになりますが、よろしいですか。市道1—4号線の土質調査費として、こちらが……ちょっと済みません。暫時休憩お願いします。

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時02分 休憩

10時03分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設管理課長。

- 建設管理課長 こちらはほどちょっと調べまして、内訳のほうは示したいと思っています。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。

- 委員（小林 俊） 36ページの雑入の土木費雑入で、上原団地火災損害賠償金とあります。これ何ですか。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。

- 建設管理課長 そちらは、済みません。まちづくり課の予算となります。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。

- 委員（小林 俊） その上の道路照明灯70万、これ新旧の富士裾野工業団地等のということでしたけれども、これはキロワット幾ら、それとも1灯幾ら、どんなふうなことで70万入ってくる予定なのですか。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、年間かかる照明灯の1基当たりの50%を負担していただいております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その実績ベースで70万ぐらいということですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 そのとおりとなります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 済みません。地籍調査、さっきの。
（「146」の声あり）
- 委員（小林 俊） 146。これ、全地域を示す図面があったのですけれども、それは今ありませんか。来年度予算分。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時05分 休憩

10時05分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらにつきましては、こちら後ほど来ていただければお出しできますので、言っていただければお出しさせていただきます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 133ページの19節負補交の県単道路改築事業負担金565万円、これ何か須山と仙石原新田線という話だったような気がしますけれども、それもう一回ちょっと内訳教えてください。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、県が行う工事費の10%を負担しております。内訳としましては、仙石原新田線が一応聞いておりますが、こちらうちの負担金の金額になります。465万円、県道富士裾野線の開業につきまして、これは富士裾野工業団地南側の交差点からになります、そちらのほうの100万円、測量費ということで載っております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） この465万円というのは、4,650万ということですが、県の工事費は、何メートルぐらいかわかりますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、用地買収が主になると聞いております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。

- 委員（小林 俊） その下の（仮称）神山深良線整備事業負担金ですが、用地買収と工事ということだったけれども、裾野の分の用地買収はもうほとんど終わっているのではなかったでしたっけ。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちら裾野でまだ共有地がございまして、そちらのほうの買収等含めまして、まだ5件ほど残っておる状況であります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 概略面積ってわかります、それ。用地買収残っている面積。どっちでもいいです、金額でも。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時08分 休憩

10時08分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設管理課長。
- 建設管理課長 一応5,600平米ほど予定していると考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 139ページの、先ほど二ノ宮委員からもご質疑ありましたが、石脇黄瀬川親水公園の件なのですが、これはまちづくり課のほうで公園の管理は一括という方向だと思うのですが、これ建設管理課でまだ所管されているその理由というのはもうちょっとはっきり教えていただいてもいいですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらのほうは、まちづくり課は都市公園という形ですので、ここに都市公園に一応カウントされていないということから、建設管理課のほうで管理をしております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 都市公園以外も今まちづくり課のほうでは公園法下の児童公園なんかも見ているのではないかと思うのですが、ここだけ、この親水公園の位置づけは何公園になりますか。

（「暫時休憩」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時10分 休憩

10時11分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

- 建設管理課長 こちらの親水公園につきましては、都市公園にならないため管理課のほうで行っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 別の件で。地区要望等にお答えするための予算というのはどこになりますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらの地区要望につきましては、維持費の中の11節需用費、13節委託料、15節工事請負費になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、来年度は何件ぐらいの地区要望に対応する予定であっていますか。大まかでいいです。

（「ちょっと暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時12分 休憩

10時15分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

- 建設管理課長 今年度の、一応11月末時点ですが、全体で545件、そのうち建設管理課に送付されたのは307件あります。そのうち建設管理課の完全に所管というものが168件で、実施したものは65件になりますので、およそ4割程度を実施しております。来年度についても同じような実績で実施していきたいと考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回の当初予算の重点施策が暮らし満足度の向上、それからシビックプライドの向上というふうに位置づけになっています。建設管理課でそれに対応するような事業というのは、今回シビックプライド関連事業として位置づけている事業は建設管理課の中にありますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちら建設管理課のほうでは日常の管理を行っているため、今のようなシビックプライド、特別というものは一切入っておりません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 多分業務をしていく中で早急に道路を直していただいたりということで、市民の方から苦情がたまにはあるでしょうけれども、感謝の気持ちというのもお聞きになることってありますか。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 一応こちらのほうは区長さんを通じてですけれども、終わりましたということでお礼が来たりということはございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 位置づけはありませんけれども、こういった地区要望に対応するという事は、市民がまちに対する愛着とか、市職員に対する誇りを持つようなところではないかなと思いますので、ぜひお願いいたします。
引き続き、済みません。同じページ、135ページ、13節委託の中の……
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 橋梁長寿命化修繕計画、5年回ってもう一度というお話でしたけれども、この具体的な委託の内容をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらのほうは5年の点検の1サイクル目が完了しました。
これに伴いまして、橋のいわゆる今近況の状況が明確に点検によってあらわれております。これらをもとに長寿命化修繕計画を見直ししまして、早期性があるものについては、早い段階で直していくというふうに考えて、これらの点検結果をもとに再策定を行う予定でおります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） これは5年前に、6年前になるのですか、計画したものと内容は同じですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらのほうは、見直しは当然入りますので、現在の状況に合わせた橋梁の必要性、道路橋の必要性を踏まえまして、この中に入れていきたいというふうに考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほど橋の数おっしゃったと思うのですが、済みません。もう一回お願いしていいですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 建設管理課で管理しております道路橋は298橋になります。横断歩道橋が2橋になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その下の東名の歩道橋の撤去、現地の確認をさせていただきましたけれども、工事は中日本のほうがやられるということですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 はい、そのとおりになります。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お金の流れをちょっと教えていただきたいのですが、補助金、国の補助金等入ります、これは1回市に入ってから中日本さんのほうに出ていくという形になりますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 はい、そのとおりになります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そしたら、残りまだ東名にかかっている橋で撤去が必要というお話ありましたけれども、これはこれから先の中で計画的にやっていく方向になっていますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 はい、こちらは計画的に協議しながら進めていく案件となっております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そして、今回のこの東名跨道橋の千福橋の撤去の手法が初めてのということ、初めてであるこの事業というのをどこかでPRする機会ってあるのですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 これはプレスリリース等を積極的に行っていきたいというふうに考えておまして、基本協定につきましては、報道各社にプレスリリースを行ったという状況になります。今後実施についても何かの方法で発信していきたいというふうに考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ぜひ、かなり努力をされて、この事業にたどり着いたと思いますので、PRのほどお願いいたします。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時20分 休憩

10時20分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
小林委員。
- 委員（小林 俊） この図の、富士山資料館の近辺の、これは建設管理ですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、建設課の舗装補修の位置になります。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 139ページ、河川維持費のところですが、圃場整備区域の上流の黄瀬川の水漏れというところがあるのですが、それはこの予算に入るのですか、どこかに。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちら、黄瀬川は県管理となりますので、県のほうで実施していただく形になるかと思えます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その上の138ページの13節委託料があります。これ設計委託2,500万ありますが、これ内訳は出ているのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらのほうは、平松、新川踏切の設計委託として2,200万円、市道1—4号線、土質調査、これ舗装するための土質調査になります、こちらは300万円予定しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 平松踏切と新川踏切の内訳はありますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらのほうは平松踏切で1,500、新川踏切に600万円、これのほかにあとつけ足し分としまして100万円を予定しております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 済みません。聞き逃していたかもしれません。今の委託料の下の工事請負費でございます。3,050万、市道1—4号線ほかということになっていて、先ほど私書き込めたのが通学路の改良工事が2,900万というのが先ほどここへ書いたと思いました。あとは、道路ストックの修繕と、あとほかというところで、ここの内訳がわかりますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちら予定しておりますが、市道1—4号線の舗装補修と、道路照明灯の修繕、これと通学路対策、これ緊急合同点検等に伴ったものになります、こちらの通学路対策の修繕としておよそ全体で2,900万円を予定しております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そうしますと、2,900万、ですから内訳を聞きたい。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらのほうは、市道1—4号線、舗装関係に1,000万円、道路照明灯の修繕、新設等に伴うものです、こちらに1,000万円、緊急合同点検に伴う通学路対策としまして900万円を入れております。残り分については建

設課の予算となります。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 134ページの上の段、13節委託料の雪氷対策1,000万、300万ぐらいだったのを1,000万ぐらいに増やしましたということだったのだけれども、今年とかはそんなに多くないように見えるのだけれども、これはどういう理由ですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、過去3年ぐらいの実績を出しておりまして、現在実績では1,100万円から1,200万円ぐらいかかっていると、今年度については少し暖冬の関係、下がるということで1,000万円程度を入れて計画しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 済みません。138ページの先ほど出ました15節工事請負費の中の通学路の関係は、通学路という位置づけになると、交付金制度がありますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、緊急合同点検、こちら行っているものについては補助対象になるものがございますので、そちらを積極的に使っていきたいと考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、補助率はどのくらいですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 重点配分事業になりますので、55%となります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回900万円分の通学路の修繕という対象になっているのですけれども、ほかの道路修繕などで通学路になっている部分もあるのではないかと思うのですが、通学路事業として位置づけするのはほかの事業は難しかったということですか。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時26分 休憩

10時29分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設管理課長。

- 建設管理課長 こちらは、静岡県の通学路対策推進会議に入っております、

その中の緊急合同点検で実施したものが補助の対象となってくるという前提
がございます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 対象の学校はどちらになりますか。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 市内の小学校と中学校になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） この図の建設工事箇所一覧の3ページ、ちょっと細かい
話で申しわけないのですが、①番のほうで黒線が切れています。切れている
ところが狭いだけけれども、ここのところは何でここに線が引けないので
すか。細かい話で申しわけないけれども。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時30分 休憩

10時30分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

○建設管理課長 こちら、工事のほうは建設課の実施する箇所になりますので。
抜けている部分はもしかしたら改良が終わっている……

○委員（小林 俊） いや、終わっていない、終わっていない。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時31分 休憩

10時33分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

小林委員。

○委員（小林 俊） 同じ資料の4ページの市道1-4号線の歩道なのだと思
うのですけれども、これはどんな仕様の歩道ができるのですか。両側、片側、
幅。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時33分 休憩

10時33分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

土屋委員。

- 委員（土屋主久） 134ページの、ちょっと聞き逃したかもしれません。原材料費のほうちょっとお聞きしたいのです。生コン支給とかそういう形ということでちょっとありました。内訳。一応これ申請する場合に申請者、例えば町内会町とか個人でもできるのか、その辺ちょっとお聞きしたいのですけれども。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは区からになります。これは区長ハンドブックの中の35ページだったと思いますが、記載がありますので、それに基づいて申請していただくという形になります。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） これ例えば私道についても対象になるか、お伺いします。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 私道につきましては、これ対象にはなりません。私道につきましては133ページの19番、負担金、補助金、交付金の私道舗装及び側溝工事補助金でこちら対応しております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） その場合は、工事補助金ということですので、個人負担があるということですね、当然。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、補助は個人の6割が市が負担をしております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 案件変わりますけれども、133ページの県単道路改築事業負担金の565万円、富士裾野工業団地北側ということであったのですけれども、もしわかったら教えてもらいたいのですけれども、そこから富士に向かって、右側、左側、どちらの拡幅を今予定しているか、わかったら教えてください。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは両方とも拡幅してくるのですが、主には富士に向かって右側を主にやっていく予定です。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 147ページ、地籍調査、これ今年度は立ち会いをするということでしたけれども、それでいいですか。
- （「暫時休憩」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時37分 休憩

10時37分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは境界立ち会い等含めまして、それと32年度以降の、
今度は立ち会いをするための地籍調査棒とかそういったものの調査図等を準備する費用がここで考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 立ち会いをして、例えば境界のことについて両方の地主、
あるいは官民が納得できないということも実際にはあるのですか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは再立ち会いということで、再立ち会いをまずしたりと
か、どうしても決まらない場合は筆界見てという形で送り込むということも
あります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 地籍調査をすれば、一応は確定するというので進めて
いるでいいですか、理解として。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 そのとおりになります。
- 委員長（井出 悟） そのほか質疑はございますか。
(「なし」の声あり)
- 委員長（井出 悟） 質疑を終わります。
分科会外委員の質疑をお受けいたします。質疑はございますか。
岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 144ページ、平松深良線街路費のところ、昨年度
委託料の中に大規模店舗立地法調査委託を200万円がたしかあったと思う
のですけれども、それに基づいて今年度予算づけされた部分というのはある
のでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは補償と土地購入費が予定をしております。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 補償の内容はどのような内容になっていますか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 場所がこちら限定されているため、一応補償費の内容細かい
ものについてはちょっと1件ということで、該当者1人ということで差し控
えさせていただきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） ~~それでは、この補償と土地買収の金額はよろしいでしょうか。わかりますか。~~

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時39分 休憩

10時40分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 先ほどの質疑は取り消しさせていただきます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋秀明） 具体の事業ではないのですが、行革の取り組み実績で建設管理課が300万円の削減の実施額ということで資料ありませけれども、予算的に言うとうどういう項目が300万円の内容なのでしょう。

○委員長（井出 悟） 建設管理課長。

○建設管理課長 こちらのほうにつきましては、現在まだ通学路のメニューが来年度から動き始めます。今年度につきましては、それは平松深良線の概略設計費、こちらを市単独で行っていたものを来年以降は補助で行いたい……平松踏切ですね、そちらのほうを、済みませんが、来年度以降は補助で実施していくということで市費を減額しております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋秀明） 実績額が総額で約2億9,000万円ですが、建設管理課としては、先ほどの数字だけですが、全体として比較はしないにしても予算の財政との折衝の中で総体額としてこちらから考えたものが実現しなかったというような、目に見えないけれども、実際は削減をしたというようなところあるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時42分 休憩

10時43分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課長。

○建設管理課長 建設管理課としては、昨年度の実績に伴いまして、一部それに見合うような部分で削減している部分はございます。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） 済みません。地籍調査の関係ですが、全体の進捗率というのは今どのぐらいでしょうか。

- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、全体裾野市では5%となっております。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） もちろん行財政構造改革もやったり、人数の関係もあったりするのですけれども、要は地籍調査を今後、来年度も含めてどういう考えをしているかというのをちょっとお聞かせください。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、国の地籍調査費につきましては、国から4分の2、県から4分の1いただける事業になっておりますので、積極的に国のほうに要望をかけてはおるのですが、何分内示率が今年度の実績でいくと40%程度しかついていないものですから、その辺を含めまして、要望してできる限り国の予算と補助金を使って実施していきたいというふうに考えております。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 済みません。139ページ、石脇黄瀬川親水公園の遊具診断委託なのですけれども、あの遊具が木でできているのですけれども、毎年診断をしていただいていると思うのですが、全然これ今までどおりで大丈夫という状況なのか、その診断の内容というのはどういう形で出てきているのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらはその点検に基づきまして、修繕しなければいけないものについては、今年度もう既に修繕の対応をしております。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 修繕の内容についてわかりますか。どういう修繕をしたか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらは、例えばボルトが飛び出ていると、木の遊具ですから、それを当然直したりとか、あるいは離隔がとれていないということで、要するに植栽ものと離隔がとれていないということで、植栽を一部剪定してスペースをあけてとか、そういった対応をしております。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 年に1度の専門家の診断だと思うのですけれども、それ以外のときというのはどういう形で調査をしているのでしょうか。点検をしているのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 建設管理課長。
- 建設管理課長 こちらにつきましては、専門家の点検につきましては、年に1回ですが、うちのほうでもそこのところを委託をしております、草刈り

等お願いしています。その中でもお話があったときには対応するような形で、あるいは職員等も確認しながら対応しております。

○委員長（井出 悟） そのほかございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の質疑を終了いたします。

以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について……暫時休憩いたします。

10時47分 休憩

10時47分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設管理課から答弁漏れについての答弁を行います。

建設管理課長。

○建設管理課長 予算書の25ページの社会資本整備総合交付金事業5,595万円の内訳ということでしたので、その内訳について答弁させていただきます。こちら内訳ですが、市道2-18号線、こちら用地買収費になります。こちらを3,500万円、道路附属物及び舗装補修費としまして500万円、通学路整備事業、これは平松踏切、新川踏切、通学路整備、こちらを入れまして1,595万円、これ合わせまして5,595万円、こちらが内訳となります。

○委員長（井出 悟） 小林委員、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見はございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で建設管理課の質疑を終わります。

休憩いたします。

10時48分 休憩

10時59分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設課（第1号）

- 委員長（井出 悟） 説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありませんか。
二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 済みません。136ページの通学路の整備事業でございます。ごめんなさい、ちょっと書き取れなかったです。場所を教えてください。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 この場所につきましては、現在定まれておりません。この場所につきましては、通学路に指定された箇所において実施がある可能性がという中で設定しております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） では、ここのところは地区からの要望とかそういうのも入りますか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 地区からの要望ほか通学路点検等によって発見された箇所に該当します。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） それがどのくらいあるかというのはまだ把握はできていないということですか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 まだ把握はしておりません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いします。では、先ほどの通学路整備事業費の関連で、この事業は、今まで、数年前までは数百万の、300万程度のたしか予算立てだったものが、昨年ぐらいから700万円に大きくなって、本年度また100万円ということなのですけれども、ほかの道路整備に含めてやっていくというたしか方向性だったと思うのですが、あえて通学路整備事業費として100万円計上しているその理由というのはなりますか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 あえてというのは、ここの市道、認定通学路というのが実際にただの通路として、赤道とか用水路を兼用しているとか、市道認定になっていない通学路等がありまして、そこでこの科目の中でどこに設定するかというときにどこにも属さないという形で今回ここで通学路整備という形で設置しました。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほど建設管理課のほうでご説明があったのですが、社

会資本整備の中で通学路整備事業が補助率55%であるというお話でしたけれども、この市道認定されていない道路整備に関してはその通学路整備事業、補助対象にはならないということですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 あくまで対象にならないという設定で補助金、先ほど市道3172号線は市道認定がかかっているということで、交付金対象にできるという話の中で進めています。ならないです。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） そして、この通学路整備事業費は、今回の行財政構造改革の中で600万の削減ということで提示されていますけれども、今回100万円の計上で実際認定外の道路の整備、要望が上がってきたときに対応しきれぬ金額になっているのですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 現時点では未確定部分、通学路との水路敷き、赤道等の含めて、認定外道路につきましては、非常に狭小な道路ということが多いものですから、最小限の予算計上で現段階ではしております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 数年前に予算額が数百万のときは、予算額が少な過ぎるから対応できないというお話で増額になったと思うのですが、もう一回100万円で対応しきれますか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 実際予算の市道認定につきましては、認定道路につきましては、社会資本整備交付金、補助金を使うほうに活用するほうにシフトをしております。そちらのほうで大部分を対応しようという考えで現在考えております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） わかりました。

では、今の社会資本整備総合交付金のお話ありましたけれども、これも行財政構造改革では今回1,900万円の削減対象になっていますけれども、それはどこを削られたということですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 どこを削られたとか、新規の事業、市道2383号線ほか、今年度実施しておりますけれども、新規の事業を現在進行中の事業を完了という形になって、次の新規事業のほうは押さえているという形で減額とさせていただきました。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 新規事業を抑えているというのは財政的な問題もあるのかもしれないけれども、まだ本当は新規に取り組みたい事業というのがあ
るということですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 まず、継続している事業を最優先するという形で予算のほう考
えております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） わかりました。

では、136ページの民生安定施設道路整備事業費の15節工事請負費、南外周
道路の舗装ということなのでしたけれども、これ債務負担行為になっていま
したが、完了はいつの予定ですか。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時22分 休憩

11時22分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設課長。

○建設課長 本年度実施のものは平成30年、31年事業として実施しまして、来
年度の実施につきましては、平成31年度、32年度の2カ年という形で設置、
工事を実施します。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 本年度はどのくらいの舗装工事を予定されていますか。
何メートル。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 本年度300メートルを予定しております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） オリンピック関係でいろんな自転車で市内とか富士山付
近を走るとい方がいらっしゃる中で、この南外周道は非常に景観もよいの
ですけれども、舗装したときに矢羽根の設置とかというのは検討されてい
るのですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 現時点では設置を考えておりません。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） これから、自転車で走るような道というような位置づけ
にしていくところというのは特に予定していないのですか。

(「委員長、暫時休憩」の声あり)

○委員長(井出 悟) 暫時休憩します。

11時23分 休憩

11時24分 再開

○委員長(井出 悟) 再開いたします。

建設課長。

○建設課長 現時点では設置予定はありません。

○委員長(井出 悟) 小林委員。

○委員(小林 俊) この建設工事箇所一覧の5ページの丸から丸のこの黒い線がありますね。これは何の印ですか。

○委員長(井出 悟) 建設課長。

○建設課長 事業が完了したところは黒塗りにしております。

○委員長(井出 悟) 小林委員。

○委員(小林 俊) 3ページの①のほうですけれども、ここの黒線が切れているところがありますよね。ここはどういうふうにするのですか。

○委員長(井出 悟) 建設課長。

○建設課長 事業区間としては設定はされておりますけれども、来年度の施工とならないため空白となっております。

○委員長(井出 悟) 小林委員。

○委員(小林 俊) 計画はいつごろかわかる、わからない。

○委員長(井出 悟) 建設課長。

○建設課長 想定としましては、まず今用地交渉等行っておりますので、用地交渉の進捗によってとなります。

○委員(小林 俊) 暫時休憩願います。

○委員長(井出 悟) 暫時休憩いたします。

11時26分 休憩

11時27分 再開

○委員長(井出 悟) 再開いたします。

小林委員。

○委員(小林 俊) この今の資料の8ページの富士山資料館周辺のほうがありますけれども、ここはどんなことをやるのでしたっけ。

○委員長(井出 悟) 建設課長。

○建設課長 舗装の悪くなっているところに限って上にオーバーレイをかける箇所と打ちかえる箇所と区画線を設置するという予定となっております。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 区画線というのはいわゆるセンターラインと路側帯の道路の端側の線というような、そういう感じですか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 主に外側のほうを主にするという予定となっております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） このもっと上のほうは来年度ということになるのですか。来年というか、再来年かな、今から言えば。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 上につきましては、日本ランドのほうの管理道路となっておりますので、市道としましてはこの赤区間になります。
- 委員（小林 俊） 暫時休憩願います。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

11時28分 休憩

11時29分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
小林委員。
- 委員（小林 俊） この下ですけれども、これは県道とかあたりは、もうそれは県がやってくれるという解釈でいいですか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 所管である県が実施する予定となっております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） わかりました。いいです、済みません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 済みません。138ページの社会資本整備交付金事業費の13節委託料、交通量調査等委託に関してです。先ほど社会資本整備の事業評価の評価案の作成というご説明がありました。これまず交通量調査を行う場所はどこになりますか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

11時30分 休憩

11時31分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設課長。

- 建設課長 5路線となりますけれども、測定点についてはまだ決定しておりません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この事業は、この社会資本整備の補助金をいただいて、整備をした道路によって交通状況がどういうふうに変化したのかというのを調査するというところでよろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 事業の効果、交通量そのものを見るのではなくて、事業の効果を把握するための一つの指標として交通量というものを設定を市がする予定です。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この調査したデータというものはどう活用されますか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 活用につきましては、当然国に報告等あるのと、あとオープンに一般的にするという形になっていきますので、事業の進捗状況を市がどれだけ熟知しているかということを見ていただくという形になります。あと交付金が適切に活用されているかというチェックになります。
- 委員（賀茂博美） ちょっと休憩していただけますか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

11時33分 休憩

11時34分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
小林委員。
- 委員（小林 俊） 135ページの823の19節負補交、電柱移設等の負担金、これの内容を教えてください。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 市道改良に伴って行います。市道823の市道改良及び特定防衛もありますけれども、その市道改良に伴う電柱移設箇所となります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それは、位置は定まっては、まだ決まってははいない。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 位置としましては、確定ではありませんけれども、決めておりません。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 具体的にはこれ載っているところの電柱ということにな

るのですか。

- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 ええ。この工事箇所一覧に載っている市道2001号線、2090号線等を想定しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 何カ所ぐらいですか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 6カ所、7カ所等を想定しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほどの件もう一回。交通量調査委託の件ですけれども、これは財源は何になりますか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 市単独費となります。
- 委員（賀茂博美） 100%。
- 建設課長 はい。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 今の交通量調査の結果ですけれども、それで道路規制とかには全く結びつかないのですか。時間で進入禁止とかそんなことは。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 規制ではなくて、現在の交通量わかりますので、規制となりません。
- 委員（小林 俊） 暫時休憩願います。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時36分 休憩

11時37分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 特定防衛施設整備事業の中で、これも済みません。行財政構造改革の中に先送りとして今回削減を見込んでいる500万があると思うのですが、これ先送りした事業というのは何になるのですか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 実際に事業として先送りではなくて、事業そのものを完了させるということで減額にならなかったということで先送りという表現となっております。
- 委員（賀茂博美） 休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

11時38分 休憩

11時40分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

小林委員。

○委員（小林 俊） 済みません。些末なことですが、この建設工事箇所一覧表の7ページは、全部黒塗りなのだけれども、これちょっと内容どういうことですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 ちょっと色が申しわけありません。黒と、交差点の部分のグレーの、濃い色で申しわけありません。グレーの部分、交差点部分を本年度実施する予定となっています。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） オリンピックまで控えて、いずれにしても国道ばかりではなくて、コースばかりではなくてそれに関連する道路について、特に最近繰越明許とかが多い形があるので、やっぱり早期発注が必要ではないかということをおもうのですけれども、その辺はそういう形で対応していくかどうかをお伺いします。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 事業そのものが補正でもありましたけれども、おくれた部分はあったという形で事業進捗を上げるため、先ほど部長からありましたけれども、一番初めに、上げるために早期発注に心がけていきたいと思っています。

○委員長（井出 悟） そのほか質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 質疑を終わりにいたします。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

勝又議員。

○分科会外委員（勝又利裕） お願いします。

北部地域の市街化編入が都市計画決定がされているということで、3月中になるということなのですけれども、これから開発が行われるについて、周辺の道路整備の関係予算が来年度の予算化されている箇所があったら教えてください。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 来年度の予算については、計上はされておられません。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

- 分科会外委員（勝又利裕） 予算化されていないということは、計画がなく
て予算化されていないのか、これから計画を立てて予算化していく考えがあ
るのか、どちらでしょう。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 計画として舗装補修を実施するという、市道2—34号線ですけれ
ども、その計画は持っております。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） そうすると、特に周辺道路ですけれども、その
改良拡幅をするとか、右折レーンをつくっていくとか、そういう具体的な、
周辺の道路についてですけれども、その辺の計画というか、考え方、現段階
ではないということでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 現段階では持っておりません。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） そうすると、ごめんなさい。先ほど委員のほう
から質疑があったと思うのですけれども、交通量調査の関係、データについ
て今現在これからデータ利活用という事業が始まっていくのだけれども、そ
ういうところへの提供とかしていったオープンデータ化していくという考え
はないのですか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 現時点では持っていませんけれども、当然データ利活用、どうい
うふうに使えるか広くデータを活用しようという市の方針がありますので、
将来的には何らかの手だては考えられるかもしれません。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） 要望ですけれども、せっかくデータ利活用始め
ていくわけだから、そういうデータについてはどんどん提供して、市内、市
外も含めて、そういう利用していく方法を考えたほうがいいのかなと思って
いますので、ぜひ積極的にデータの利活用を進めていただきたいと思います。
- 委員長（井出 悟） 中村委員。
- 分科会外委員（中村純也） 来年度10月消費税上がることを見越した業務の
分散の工夫は何かされますか。
- 委員長（井出 悟） 建設課長。
- 建設課長 特に考えておりません。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

11時45分 休憩

11時45分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。
中村委員。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時45分 休憩

11時46分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設課長。

○建設課長 早期発注にすることで消費税の問題を少しでも解決したいと思っております。

○委員長（井出 悟） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） それは当たり前前で、具体的にどういう施策があるのでしょうか。

暫時休憩お願いします。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時46分 休憩

11時48分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。
建設課長。

○建設課長 当然業務の発注を早めるということが1つ、事務の中で当然用地と工事連携してやっていますので、用地事務のほうをできるだけ早くできるような形で進めるということを考えております。

○委員長（井出 悟） 勝又豊委員。

○分科会外委員（勝又 豊） オリンピックロード、市道1—16号の舗装工事で、矢羽根をつけるということなのですけども、その矢羽根をつけることに関しての工事費というのはわかりますか。メーター当たり幾らとか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 予算として、予算額……暫時休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

11時49分 休憩

11時50分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

建設課長。

○建設課長 実際200万から250万ぐらいを想定しています、予算として。

土屋委員。

○分科会外委員（土屋秀明） この主要工事の箇所図、水窪の2610号と2006号の関係ですけれども、これは民間の宅地分譲開発が前提なのですか、これセットということですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 民間とは別に市道の、市の道路整備計画に基づいた路線を選定しております。別です。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋秀明） そうすると、ほかのところで行われている拡幅工事に絡んで道路を新しくとか拡幅するのはこれまた別のものとして市が先を見越して優先的に市道も今拡幅改良するということですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 市の計画に基づいていますので、市のみでやっております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋秀明） 現地ちょっと私も知っていて、多分水田があるところだと思うのですが、この道路そのまま行くと神社とかお寺があって、上の橋のところに行く、非常に狭い道路ですけれども、市から自らにということだとするならば、これから北側に向けて市道の拡幅というのは当然考えた中の工区としては最初の工区ということでしょうか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 この路線につきましては、ここに位置があります長教寺というところの交差点ありますけれども、ここまでが一つの区間で、現在100メートルの予定ですが、これが170メートル区間を実施する予定であります。なおかつ、2—2006号線という形で右側のほうへ行く県道に接するところまで含めて全体計画を立てております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○分科会外委員（土屋秀明） ということは、31年度はこの区間やって、継続して北側に伸ばして、お寺のところから今度は県道側にクランクで曲がっていくという、今の市道を拡幅をしていくと、そういうことですか。

○委員長（井出 悟） 建設課長。

○建設課長 ええ、そうです。

○委員長（井出 悟） そのほか分科会外委員の質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 質疑を終了いたします。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(井出 悟) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(井出 悟) 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で建設課の質疑を終わります。

○委員長(井出 悟) 休憩いたします。

11時53分 休憩

13時11分 再開

○委員長(井出 悟) 再開いたします。

まちづくり課（第1号）

○委員長（井出 悟） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 145ページ、公園管理費でございます。

暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時46分 休憩

13時47分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 新設の公園等は今のところはこれぐらいのものですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 具体的に計画されている公園というのはこちらの公園でございます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そうすると、駅西公園はこちらでは出てこないですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 駅西公園は、駅西土地区画整理事業の中での公園となりますので、必ずここに出てこないかということはこれはお約束できませんが、今の段階ではこちらのほうでは出てこない形になります。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 済みません。132ページでございます。委託料のわが家の専門家診断事業委託でございます。先ほどの説明で実績によるものという、そういう数字の見込みがありましたけれども、前年度が231万ぐらい、ここで185万、そうするとどのぐらいの減と見込んでいるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 実は、わが家の事業でございますが、平成30年度にかなり件数が減っております。

暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時49分 休憩

13時50分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 済みません。わが家の専門家診断業務の件数ですけれども、直近3年間でいきますと、平成28年度が70件、平成29年度が46件、30年度は12月20日現在の報告の時点ということになります。28件という現状でございます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） ありがとうございます。

このマイナス、減ってきている要因はどのようなものだとお考えですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 こちらの事業は、裾野市だけで行っている事業ではありませんで、県の関係市、町との話し合いも、同様の意見が出ている中見ますと、一定のところまでいきますと、やはり結構頭打ちということで件数が減ってくる、何かしら次の手だてをなかなかそこから上がってこないねということで、市、町の担当者との話し合いのレベルになりますけれども、一定のレベルに今来ているのかなと、今のやり方ではこのぐらいである一定のレベルのところまで来ているのかなというのは認識です。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 今のわが家の専門家診断事業でしたけれども、これ建築年次は何年以降とかという形で多分建築基準法の関係で把握していると思うのですけれども、一応家屋については課税評価していますよね。そうすると、大体のどのぐらい対象件数があるかというのは想定できると思うのですけれども、それからいくとあとどのぐらいの件数がやらなければならないかということをおちょっと教えてもらえますか。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時52分 休憩

13時53分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まちづくり課主査技師。

○まちづくり課主査技師 平成30年8月20日現在でございますが、旧耐震基準の木造住宅合計3,600戸ある中、補強済みが300件、未補強が3,300件となっております。3,300件の内訳でございますが、未診断が2,330件、診断済みが936件、補強計画まで済んでいるものが47件となっております。

以上です。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） かなり、ほとんど耐震がされていないと、診断がされていないという状況ですので、これについては各関係する市、町と再度どうしたら伸びるかというか、やっぱりかなり怖さを訴えるような雰囲気というような、そういうことも必要と思うので、それにまた検討してもらって、対策を考えていただけたらありがたいというふうに思います。

以上です。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 関係市、町と連絡を密にとりまして、正直うちだけではないものですから、対策を共有したいと思います。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。関連で今の件引き続きお伺いさせていただきます。既に診断は済んでいる家屋については、現行の制度のほうのご利用のみということになりますか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 診断は余り関係なくて、診断の後の計画策定、工事、ここが一体型になりますので、診断の方のみの方は関係はないです。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 既に補強計画までできている方のみが現行の制度をご利用されるということになりますか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 そのとおりです。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） そして、ご説明の中に県の制度が変わって工事費80%の補助ということでご説明がありましたけれども、これが平成32年に終了するという、2カ年の事業になるということによろしいですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 現行制度は、あと2年ということで考えていただいて結構です。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 新しい制度のほうは何年までになりますか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 新しい制度は、まだこれから続く制度とお考えいただければと思います。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） あわせて緊急輸送路に接続する建物についてのお話がありましたけれども、今まだ未診断の家屋で、この緊急輸送路に接続されてい

る家屋というのはどのくらいあるというふうに把握はされていますか。

- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 把握しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 何件ぐらいありますか。
- まちづくり課長 委員長、暫時休憩願います。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時56分 休憩

13時57分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
まちづくり課長。
- まちづくり課長 該当者は、6件と見込んでおります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そして、この緊急輸送路に接続している家屋についての診断が県の……暫時休憩してください。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時57分 休憩

13時58分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほど6件については、診断は県が行うということですが、この情報提供は市から県に上げるものですか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 こちらの6件につきましては、先ほど見込むものだという
ことで6件で回答させていただきましたが、県のほうが独自の調査を行いま
して、この6件のほうを導き出しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 直接市がこの事業にかかわるということは、この先はな
いということによろしいですか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 市のスタンスとしましては、県と力を合わせて市民の安心
安全に寄与するということを目途としておりますので、当然要請があれば現
地立ち会い、それから補助制度の連携と、こういうものは図っていきたく
と考えております。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、次の件。同じページです。13節委託料の台帳登録閲覧システムデータ移植委託ということで、先ほどのご説明だと一部県の権限移譲があるというお話でしたが、この一部の権限移譲の内容は何になりますか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課主査技師。
- まちづくり課主査技師 県からの移譲の内容になりますが、現在特殊建築物で床面積を100平方メートル超えるもの、こちらが静岡県の権限となっているものが床面積の基準が引き上げられまして、200平方メートルを超えるものが県の権限になります。そのためこの過去100から200までの間に位置する特殊建築物が裾野市の権限になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、対象となるのはどのくらいというふうに見込んでいらっしゃるでしょうか。これこれから申請……。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課主査技師。
- まちづくり課主査技師 対象は、数十件程度と見込んでおります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 141ページです。宅地分譲等補助金の制度についてご説明をいただきましたが、まずは民間活力の件です。補助率50%ということで、平米当たり7,500円を見込んだということなのですが、補助率50%の根拠というか、そこは何かあったらお願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時01分 休憩

14時02分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
まちづくり課長。
- まちづくり課長 補助率50%の理由でございしますが、もともと宅地分譲補助事業、平成24年度から行ってまいりました事業につきまして、宅地分譲を促進するため近隣市、町の地価の調査を行いまして、裾野の差額分のうち約45%を補助することとして決めております。約45%であれば45%でいいのではないかという話があったのですが、民間活力を活用というところで50%が妥当であろうという判断をしております。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この条件の中に市道認定基準に合うようにということが

含まれていますけれども、この開発行為でつくられた道路は市に移管していただくという考え方で基準に合ったものというふうにされているのですか。

- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 この制度の創設のときにやはりそこが結構議論のポイントになったところです。誰がどこまでチェックができるのか、開発行為にかけることによりまして、都市計画法の網がかかかりますので、32条協議ということで必ず建設管理課と公共施設のとりとらない判断をすることになりますので、そういったところからなっております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、今回は予算として500万上げていますけれども、既に見込みとしてこの補助制度を使うであろうということが試算された上での500万ですか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 全くそういうことはありません。これから周知を図ってまいりたいと思います。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 歳入の部分のところで、23ページです。一番上から2番目、屋外広告物許可手数料が記載されていますけれども、屋外広告物に対する指導というものも一応予定されていますか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 予定をしております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 監査の中でオリンピックのロードレースが行われるコース上の広告物に関して改善が必要な部分を取り組んでいくべきではないかというご意見があったと思うのですが、その点については31年度はどのように取り組んでいく予定でしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 計画では30、31年度で計画をつくっておりますので、それにしたいがまま進めてまいります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 計画策定はいいのですけれども、今あるものについての指導というのはどうされていく予定ですか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 現状ある違反広告物を把握いたしまして、その対応の計画をつくっておりますので、30、31年度でその計画に沿って行ってまいりま

す。

- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 最初に、142ページの委託料、深良まちづくり支援事業委託ということで、ここについては30年度が100万円で計上して事業実施していると思うのですがけれども、今年度195万円ということでどのような内容の委託をするかまず教えていただきたいと思います。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 委員おっしゃられますとおり増額をしております。30年度ゾーニングを行っておりますので、そのワークショップで出ましたゾーニングをそれぞれもうちょっと深化させる形、先ほどちょっと言いましたけれども、最終的にはランドデザイン案の検討、ここまで深掘りをしたいと考えております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） その場合委託先というか、どんな分類の会社に委託するかお伺いします。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 都市計画事業、関連事業に精通した会社を選びたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） そうすると、昨年、平成30年度に通常でいくと引き続きという形になってくるのが多いと思うのですが、その辺はいかがでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 事業自体は引き続きになりますが、その辺は全くさらにゼロベースで考えていきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 145ページの一番下の（仮称）御師公園測量委託ということを行っていくということで、これについて例えば今後、これ測量ですがけれども、具体的な公園の設計とか、今後の整備スケジュールがもしわかったら教えていただきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 長期的なスケジュールはまちづくり課のほうで申し上げることができませんが、まずは31年度測量はここで担保したいと考えております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） もう一点、これは聞いていいのかわからないので

すけれども、御宿地区の都市計画スケジュールとして先ほど説明ありました。土地区画整理事業、裾野御宿ということで、これ事業主体はどこになるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 これは、もしあれでしたら、総務委員会のほうでというお聞きいただきたいのですが、今私どもが聞いているのは個人施工の区画整理事業で進めるということになりますので、民間の事業主体になろうかというところでございます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） ~~個人施工ということは、地権者が1名ということでしょうか。~~

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時08分 休憩

14時09分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 今の質問について取り消しをさせていただきます。

（「全部をですか」の声あり）

○委員長（井出 悟） 最後のところでいいですよ。休憩を切るまでの事業主体1人というのはという話ですよ。そこの削除でいいですよ。

○委員（土屋主久） はい。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 済みません。148ページ、住宅費の13節委託料で空き家対策の計画が完了したからという話だったのですけれども、それは幾らぐらい減ったのですか、それで。

（「済みません。ちょっと暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時10分 休憩

14時11分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 合計金額で384万1,560円になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 13節委託料と工事請負費が減ったということでしたけれ

ども、工事請負費のほうは幾らぐらい減っているのですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

14時12分 休憩

14時12分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 減額の金額ですが、332万4,000円になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） ということは、460万が130万になったという、そういうことですか。ほかの項目の維持修繕工事以外にあったのですか、工事請負費のほうは。ちょっとわからないので。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 平成30年度、本年度新稲荷団地の排水設備工事で約300万円、330万円がかかっておりますので、30年度はこの分がなくなるとお考えいただければと思います。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） ほかの住宅の維持修繕については、例年どおりぐらいという解釈でいいでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 そのとおりです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 145ページ、先ほど質疑がありましたけれども、御師公園が460万あるのですが、全体の増え分が130万なので、ほかが330万減ったということになるのでしょうか。ちょっと比較していないのでわからないのですが。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 こちらの委託料の中で、緑の基本計画の策定の部分が計画完了に基づきまして減額になっております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） そうすると、公園管理委託のほうは大体前年並みということをやっているのですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 減額には至っておりません。ほぼ例年どおりです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 142ページ、先ほど質疑ありました深良まちづくり支援事

業ですけれども、これはさっきゾーニングをしたということでしたが、これワークショップでゾーニングしたという話だと、どこかに委託したわけではなかったのですか。委託したのですか、これ。

- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長。 ワークショップの内容を取りまとめを委託しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） そうすると、今度95万増えて200万近いものを委託に出すのだけれども、それもネタはワークショップでやっていこうというような考え方ですか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 原則はワークショップを行いながらやっていこうと思っています。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） さっき説明で都市計画等に精通した会社に委託をすることでしたけれども、ワークショップって住民参加でやっていくわけですよ。そこに200万かけてちゃんとしたものができるのでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時16分 休憩

14時17分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
まちづくり課長。
- まちづくり課長 深良地区の方々、市民の方々の声及び地権者、協議会の方々のご意見を伺いながらしっかりと進めてまいりたいと考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） ワークショップの計画はどんなふうに考えていますか。
例えば何回ぐらいとか何カ月おきとか。
- 副委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 今現段階で行政の関係機関との話し合いの中で3回から4回が適正な回数だろうということで話をしております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 200万かける以上は、ゾーニングを、要はゴールがあると思うのですけれども、それゾーニングの深化ってちょっと漠然としているのですけれども、何か案みたいなのはあるのですか。案がないからやっているのだろうけれども、到達する範囲。

- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 1つの考え方としては、6つのゾーンの中で具体的に進める、短期的に進めるべきものと長期的な課題として捉えるものと、そろそろ分かれてくるのかなと考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 132ページの土木管理費の19節負補交のTOUKAI-0の話ありましたが、TOUKAI-0というのは県が出している計画ですけれども、国もそれつくっているということでのいいのですか、解釈、名前は。

（「暫時休憩願います」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時19分 休憩

14時19分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
まちづくり課長。
- まちづくり課長 今議員がおっしゃられますようにTOUKAI-0という言葉を使いますと、これは県が使っている言葉でございます。国は別の耐震改修の促進とかそういった表現を使っております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 要安全確認計画のことで、ちょっとルートを説明してもらえませんか。特にルート2のほう、1はわかるのだけれども、2のほう。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時19分 休憩

14時20分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
まちづくり課主査技師。
- まちづくり課主査技師 お手元の資料ナンバー1、こちらの左のルート②、こちらをごらんください。こちらが新東名から裾野市役所までのルートの詳細になります。起点を新東名長泉沼津インターといたしまして、この国道1号、こちらが東駿河湾環状道路のことを指します。こちらから駿東郡長泉町南一色地内と書いてありますけれども、この環状道路の長泉インター交差点、こちらで環状道路をおりるルートになります。そこから長泉町道820号線とございますが、この環状道路の下にあります町道になりまして、そのまま町道進みまして、もう一つ長泉町道納米里城山愛鷹線、名称は済みません、読み

方は間違っているかもしれませんが、これで旧246の納米里交差点まで直進いたします。その後県道沼津小山線を北上いたしまして裾野市役所に至るルート、こちらが新東名から裾野市役所に至るルート②の詳細になります。

説明は以上です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） あその交差点、246と環状道路のところの長泉の交差点の先、東側、橋があつたりするけれども、特にそれは問題ないですか。折れ曲がっていたり橋があつたりするよね。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時22分 休憩

14時25分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まちづくり課主査技師。

○まちづくり課主査技師 こちらは、静岡県が定める耐震改修計画で規定するものでございまして、道路中心線から45度の斜線にかかる昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震の建築物を対象としております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 36ページ、土木費雑入の上原団地火災損額賠償金、これですけれども、火事を起こした方は今どこに住んでいるのですか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時26分 休憩

14時26分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 市内に在住しております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） これは火災保険はどうなっていましたか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 当時は、保険に入っておりませんでした。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 今は保険かけているということですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 そのとおりです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） このときの火災での損害額というのは幾らぐらいなのですか。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時27分 休憩

14時27分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 復旧工事費となりますけれども、361万8,000円です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） そのうちそこに住んでいられた方が過失で出火ということだったのだろうけれども、幾らぐらい請求しているのですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 本人への請求金額ですが、トータルで209万1,445円です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 上原団地に住んでいた方なので、この209万は何年かで払います、3年だと、月3万円で払いますというふうに本人おっしゃっているということですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 ええ、本人から申し出がありまして、おくれることなく支払いをされております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） ちょっと納得がいかないのだけれども、火災保険に入っていないということ自体はどうなの。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

14時29分 休憩

14時29分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 大変申しわけございません。私のほうの解釈が間違っておりまして、保険に入っていなかったのではなくて、100%の保険に入っていなかったというのが正解な回答になります。割合で原因者に58%という保険に

入っていたということで、先ほど申しあげました209万1,445円という金額が出ると。現在は100%のものに入っているということで、大変申しわけございません。訂正のほうお願いいたします。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それは、全ての市営住宅にそういう保険、切りかえたという解釈でいいですか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 済みません。予算の概要のところ、宅地分譲促進事業40万円の補助と区画数によって50万というところ、そこが1区画今度は20万円になりますよということだったのですけれども、その理由はどのような理由でしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 当初の宅地分譲補助制度が1区画40万円、途中から15区画以上は1区画50万円ということで上げさせていただきましたが、今回見直しのときにもう一度当初の制度を出したときの関係市、町の土地の評価を出しまして、今どのような状態になるかというのを改めて出しております。結果2,200円ほど差額が出ております。これは23年のときから平成30年度調査日で当時差額が5,500円だったものが7,700円ということで、今回補助はこの差額分、2,200円に対しての補助を考えておりますので、165平米、50坪掛ける3.3ということでそれに200円を掛けまして、36万3,000円でその約半分20万円を1区画の補助とさせていただきます。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そうすると、区画数には関係なくということよろしいですね。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 今度は、区画数は関係ありません。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 145ページでございます。都市計画街路事業費の平松深良線街路費でございますが、負補交のところ下水道の工事の負担金が入っていないのですけれども、31年度は下水道工事はないということでよろしいでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 31年度の見込みではないです。ありません。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 最後です。その下の145ページ、私いつも思うのですがけれども、小柄沢緑地、小柄沢公園というのが管理委託とかトイレのことになっておりますけれども、わからないのは小柄沢緑地が上から下までどこまでが小柄沢緑地かなというところを教えてくださいませんか。

暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

14時33分 休憩

14時34分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 小柄沢緑地の範囲ですけれども、北側は佐野茶畑線の下、南側がちょうど公園の中入っていただきまして、右手に進んでいただきましてとブロックがあるのですが、あそこの際です。小柄沢緑地は都市計画決定されている緑地公園になりますので、その範囲は都市計画図に出ている範囲というのが答えになろうかと思えます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そうしますと、小柄沢緑地の南側というのはどこで整理というか、あれをしていったらいいのでしょうか。入っていない部分でかなり荒れているところ。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

14時35分 休憩

14時36分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 委員のご質問ですけれども、南側部分、公園敷きにつきましては、まちづくり課の担当で管理、水路敷き、河川敷につきましては建設管理課の担当になろうかと思えます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 要望です。建設管理課と協議をして整備をしていただきたいなど、そういうふうに思います。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 そのようにいたします。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 済みません。宅地分譲補助金の件でもう一回確認させてください。1区画当たり20万円については、最低価格数はないということによろしいですか。休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

14時37分 休憩

14時37分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 区画数の最低は基準がございます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 今回新たに新設した道路整備補助事業と宅地分譲補助事業を同時に使うということも可能なのですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 要綱のほうではできなくする予定です。併用はなしということで。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） どういった基準になりますか。どちらを選択するというその基準はどうなっていますか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 申請者の基準になりますが、同じ規模でいきますと、担当が計算したところ道路整備のほうはややお得であるという結果が出ております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） まちづくり課が公園も所管しているのですけれども、例えば区画、開発行為である程度の区画数を整備されるときに一部公園にしてくださいというような指導をすることはできないのですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 都市計画法に基づく緑地率の確保ということではできますが、土地利用指導要綱に基づく指導の中では厳しいものがあります。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ある町ではそういった指導をしているというお話も聞くのですけれども、なかなかそれをお願いするというのは難しい話ですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 民間事業者のほうからすると、厳しい話かなと思います。お願いすることはできるかと。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、この宅地分譲補助、それから道路整備の補助に関しては優良な宅地を提供するというを目的にしていると思うのですが、今回予算額500万、500万ですが、新たに開発行為をしていただいて、人が住んでいただいて、この補助金を回収できる年数はどのくらいと見込んでいますか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 今回は、回収の金額は出しておりません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、市街化区域内に限定をしていますけれども、市街化区域の中で、今市街化区域の住宅率というのですか、住宅が建っている比率、住宅ではないところ、残り何%ぐらいがまだ住宅ではないというか、まだこの開発する余地がある地域というふうには計算ってされていますか。
（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時40分 休憩

14時41分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
まちづくり課長。
- まちづくり課長 これは、県の都市計画の基礎調査というもので、おおむね5年に1度行われている調査になりますが、こちらの最新の状況でいきますと、市街化区域内未利用地、規模が2ヘクタール未満、1つの規模が2ヘクタール未満の面積が98.6ヘクタールほどあると、このような結果が出ております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） もう一点、済みません。148ページの住宅費の部分です。13節委託料の中に外壁改修工事実施設計委託とありますけれども、これはどこになりますか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 新稲荷住宅になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この委託を新たに設定した理由は。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 公園等長寿命化計画を策定しておりますが、その中で新稲荷団地は長寿命化に基づいて維持修繕をしていくという住宅になっておりま

す。近年外壁の黒ずみが指摘をされることが多くなりましたので、予算計上をさせていただきました。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、新稲荷団地の入居数はどのくらいですか。どのくらい31年度見込んでいますか。全室何部屋中の何部屋使っているという。使っていく予定か。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 12室全てです。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 議会でもたびたびいろんなご意見が出ていますけれども、この先の市営住宅のあり方についてどこかで31年度検討していく予定はありますか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 ございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） それは具体的にどういったところでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 やはり公営住宅等長寿命化で記載をしております現地建てかえ、非現地建てかえ、借り上げ方式で場所がどこが一番適地なのか、この辺をにらんで少し深掘りをしてみたいと考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 結論は、いつ出そうと思っておりますか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 公営住宅長寿命化を前回つくったときには、次の公営住宅長寿命化の中で考えていくということにしてございます。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 1点だけ確認です。142ページの深良新市街地対策費、平成31年度ではランドデザインの案の策定まで進めたいという話ですが、それ以降のこの支援費というのは継続をしていくのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 引き続き支援をしていく予定でございますが、このような形での支援が適切かどうかは毎年度前年度考えていきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） その支援のゴールというのは想定しているのですか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 事業名にございますとおり深良新市街地の対策ができた

きにゴールかなと考えております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） この民間活力道路整備なのですけれども、この試算91万円、6メートル掛ける10メートルで91万円というのは、更地になっている状態で道路つくったらというふうな、そういう条件はどうなっているのですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 条件は加味しておりません。一般的に6メートルの10メートルでどのくらいですかということで建設管理課のほうからいただいた金額となっております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） それ林を切り開いてつくるのとか、住宅が現にあるとかいうと違ってくるので、どうなのですか、その辺。平米1万5,000円できるというのが安過ぎるということはないですか。近隣に比べて。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 金額に関しましては、うちの、少なくとも維持管理部局のほうからでは妥当な金額であるという答えをいただいております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 先ほどの航空地図で道路がない、この辺に道路ができればというふうなところは、5個、10個区画分譲するよりはもう少し大きな範囲になるのなにかと思うのです。つまり市で道路計画をつくって、そこに住宅が張りつくようなイメージの話だと思うのですが、これで、要は市の道路整備の手を抜くためにやっているのではないかというふうな、そういうおそれはないのですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 建設課のほうで進める、もしくはまちづくり課で進める道路事業を減額してということではありません。民間とともにという、あくまでもその視点に立っての事業になります。

○委員長（井出 悟） そのほか質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 142ページ、先ほどの深良まちづくり支援の件ですけれども、先ほどの質疑で目の名称が対策ができたときという話でしたけれども、もう少し、新市街地という対策を指しているということでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 新市街地の対策ということで解釈いただければと思います。

○委員長（井出 悟） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 新市街地もない状態で対策って、何を指していますか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 新市街地をつくるための対策でございます。

○委員長（井出 悟） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 一方の北部地域のまちづくりに関して、今回は土地対策費しか計上されていないのですけれども、同じまちづくりに対して、この違いは何でしょうか。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時48分 休憩

14時49分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 いろんな手法はありますけれども、大きな流れとしての違いはないものと考えております。

○委員長（井出 悟） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 深良まちづくりの支援については、何かノウハウを残していつているのでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 北部と比較するのであれば、工学院大学を入れていろんなイメージを練っていた、あのような段階にあると考えていただければと思います。

○委員長（井出 悟） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） それは、工学院大学の手法を行政が学んだ結果を深良で実証しているということによろしいですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 そうではなくて、工学院大学を入れていろんな意見を入れた、今回は地域の方々の意見を取り入れているということになります。

○委員長（井出 悟） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） それで、この深良のまちづくりの手法は残していつているのですか。

- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 先ほども申し上げましたが、現在は夢を集めている段階で、ゾーニングまではいっております。間違いなく残っていると思います。
- 委員長（井出 悟） 中村委員。
- 分科会外委員（中村純也） 先ほどゴールの話がありましたけれども、ゴールの時期はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 明確な時期は申し上げることはできません。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 済みません。145ページで伺います。公園ですが、公園内枝打委託、これは場所は何カ所になるのでしょうか。
- （「委員長、暫時休憩願います」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時51分 休憩

14時52分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
- まちづくり課長。
- まちづくり課長 こちらにつきましては、必要に応じた箇所ということになります。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） わかりました。
- トイレの浄化槽の点検委託があるところとないところがあるのですが、それについては管理委託をしているところでやってもらっているということでしょうか。
- （「暫時休憩願います」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時52分 休憩

14時54分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
- まちづくり課長。
- まちづくり課長 議員おっしゃられるとおり役割分担のもと市がやっているところと、そうでないところがございます。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 浄化槽の点検を、地区のほうで管理委託された

お金の中から発注をしているという、よそに出しているということになるのでしょうか。浄化槽の点検です。掃除はわかるのですけれども。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時54分 休憩

14時55分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 浄化槽については、やっていないところはこちらのほうで予算計上はしておりません。

○委員長（井出 悟） 岩井議委員。

○分科会外委員（岩井良枝） やってないところはというのは、やらなくてもいいということですか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 先ほど申し上げましたとおり、分担に基づきまして市がやっていないところは予算計上はしておりません。地域についてやっていただいていると。

○分科会外委員（岩井良枝） さっき聞いたのですけれども、地域のほうでどこか……

○委員長（井出 悟） ちょっと待って。

暫時休憩します。

14時56分 休憩

14時56分 再開

○委員長（井出 悟） 岩井委員。

○分科会外委員（岩井良枝） 小柄沢緑地についてなのですが、管理委託、これは清掃なんかも入っていると思うのですが、実は夏になるともうやぶ蚊がすごくて子供を連れて遊びに来られないと、もうここに来ると大変なことになるといってお話があるのです。その辺というのは市のほうでは確認されていますでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 お声をいただいたことがございます。

○委員長（井出 悟） 岩井委員。

○分科会外委員（岩井良枝） 対策としては何か管理しているところをお願いをしたりとかというのはしていますか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

- まちづくり課長 そのときは、虫よけの殺虫剤をあの周りにトイレの周りに全部張りました。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） トイレの周りではなく、あそこ全体、川のところからどこかからやぶ蚊が湧いているのではないかというお話なのですが、ちょっとそれについてはまた確認をしていただいて、この管理の中でできるのかどうかということをお願いしたいと思います。
- 委員長（井出 悟） 増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 済みません。142ページ、また深良新市街地のところ。先ほど事業計画として三、四回程度のワークショップというふうなお話があったのですけれども、実際これは本年度、30年度もワークショップを同じようにやられて、ゾーニングというふうなお話になってきたので、そこに専門家の目が入るということに加えて、ほかの深良地区以外の目が入るということは想定されていますでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 想定はしております。
- 委員長（井出 悟） 増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 実際に前回のワークショップ等々では告知が足りなかったというふうな深良の住民たちの意見が少し散見されて、その点鑑みて告知方法に関して今後検討していくことは考えていますでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 検討していきたいと考えます。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 緊急輸送ルートに関してのいろいろ耐震の問題が出されていますが、これに関連して今駅西の中で桃園平松線も緊急輸送路としていろいろ言われていますが、これとの関係性というか、関連性みたいなものというものはあるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） まちづくり課長。
- まちづくり課長 駅西の区域の一部が入っているかどうかという点は別にしまして、直接の関係はございません。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） それでは、これまで必要性の部分で緊急輸送として必要という部分があったりですか、それはどのような計画の中で出ているのでしょうか。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時00分 休憩

15時01分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 緊急輸送路につきましては、県が策定する、先ほどご説明申し上げました緊急ルート等もございますが、それとは別に市で地域防災計画に記載する輸送ルートもございます。今回の県の緊急輸送ルートには駅西の区画整理事業については直接の関係はございません。

○委員長（井出 悟） 勝又豊委員。

○分科会外委員（勝又 豊） 深良まちづくり支援事業のことについてまたお聞きしたいのですけれども、深良地区って広いと思うのですけれども、その全域を対象としたことでまちづくりを考えていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 そのとおりです。

○委員長（井出 悟） 勝又豊委員。

○分科会外委員（勝又 豊） 深良ですと、文化センターとか新駅をつくるのか、そういうふうな考えもあるかと思えますけれども、そういった中心的な場所を複合集中した感じでのまちづくりというわけではない。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 地区の方からはそういったご意見も意見の中の一つで出ております。

○委員長（井出 悟） 勝又豊委員。

○分科会外委員（勝又 豊） これからいろいろとランドデザインが出てくるということで見えてくるということによろしいのでしょうか。

○委員長（井出 悟） まちづくり課長。

○まちづくり課長 はい、そのとおりでございます。

○委員長（井出 悟） そのほかよろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見をお伺いします。ありますか。

(「なし」の声あり)

○委員長(井出 悟) 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上でまちづくり課の質疑を終わります。

休憩いたします。

15時03分 休憩

15時13分 再開

○委員長(井出 悟) 再開します。

区画整理課

○委員長（井出 悟） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。予算の財源の組み方についてちょっとお聞きしたいと思います。142ページ、土地区画整理費として総額9億6,201万円ということなのですけれども、昨年に比べて国・県支出金が非常に増えているのですけれども、割合として。国の補助率は何%を見込んでいますか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 補助率は50%でございます。

暫時休憩をお願いします。

15時24分 休憩

15時26分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 予算立てとしては何%の内示率を予想されての予算計上になっていますか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 約47%でございます。

○委員（賀茂博美） そして、地方債、市債なのですけれども、これも昨年に比べると事業費の中の割合が高くなっているのですが、今回のこの予算立てをするに当たって、地方債を組める金額はどう見積もって今回非常に多くなっているのですか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 地方債の充当に関しましては、財政課と調整の上で決定しております。

また、済みません。暫時休憩をお願いします。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時27分 休憩

15時29分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 財源の組み方につきましてはわかりました。

144ページの工事請負費の中の仮設住宅維持補修工事が出ていますけれども、これは現在の仮設住宅も修繕が必要ということですか。

- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 そのとおりでございます。ボイラーの器具が壊れておりまして、来年度から入居者が予定しております。それに伴いまして、修繕を行いたいということでございます。

以上です。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 来年度この仮設住宅の入居率はどのくらいですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時30分 休憩

15時30分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
区画整理課長。
- 区画整理課長 現時点で確定しているのは1件でございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 1件というのは31年度に新たに1件入られるということですか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、この工事費は幾らになりますか。
（「暫時休憩お願いします」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

15時31分 休憩

15時33分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
区画整理課長。
- 区画整理課長 仮設住宅の維持補修工事ですけれども、金額につきましては今後発注等にかかわってきますので、回答は差し控えさせていただきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この仮設住宅は、一応事業は全て完了するまでご使用をされる予定になっておりますか。

- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 移転される方でこの仮設住宅を使われないかたっていますか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 そういう方もございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その理由は把握されていらっしゃいますか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時34分 休憩

15時37分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
区画整理課長。
- 区画整理課長 今まで入られなかった方というのは、ペットを飼っている方とか、そういった諸事情のある方が仮設住宅を利用されないというケースがございました。
以上でございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） これから先この仮設住宅をご利用になっていくという予定は、見込みとしてはお持ちになっていますか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 新道から西側区域を着手することにより、住宅に実際住まわれている方がこれから移転対象になります。これからは今以上に使っていたくことになろうかと考えております。
以上でございます。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 済みません。今のところでございます。先ほど課長からの説明にもありましたけれども、仮設住宅を使いますかというそういうような問いかけ、それよりも使ってくださいという仮設を使用する推進を進めるべきかなと思うのですけれども、その辺はどのようにしていくお考えでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 昨年度1年間かけまして戸別訪問をやってございます。その中で中断移転の方にはなるべくできるだけ仮設住宅があるので使っていた

きたいというお話を説明はさせていただいております。また、その中でできれば仮設住宅に入りたいという方も何名かは確認をしております。今後もそういう形で仮設住宅の利用を促進していきたいとは考えております。

以上でございます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） では、個々に仮設使用を進めていくということによろしいですね。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 そのとおりでございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） この施工予定箇所図でちょっと聞きたいのですけれども、③の仮設駅前広場、臨時駅前広場、この広場の路面は最終路面になるように設計しているのですか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 この臨時駅前広場築造工事ですが、最終形の駅前広場の場所には築造せずに、先日現地視察でもお話ししましたとおり別の場所へ築造します。ですので、この臨時駅前広場につきましては、最終形の駅前広場が隣接する場所に築造した時点で撤去することになります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） この③のところには最後には何ができるのですか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 宅地、それと道路がここにできることになります。

以上です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 道路は、三間堀川側のほうですか。これ今ある。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 道路ですけれども、今あります道路の拡幅になります。ちょっと見にくいのですが、8Mの6号線という道路が今のある道路のところにできます。

○委員（小林 俊） 暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時41分 休憩

15時42分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） ⑤の道路ですけれども、製材会社のところから延びている道路ですよ。これは最終形ですか、この幅で。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 北側へ拡幅されて最終形の道路になります。6メートル道路が築造されます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） という、6メートルの幅ですけれども、この赤く塗ってあるところと、それから塗っていないところは通行は可能という感じなのですか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

15時42分 休憩

15時42分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

区画整理課長。

○区画整理課長 通り抜けは可能でございます。来年度ではなくて、また次年度以降に工事をする予定でございます。

○委員（小林 俊） 暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時43分 休憩

15時43分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） ④の道路なのだけれども、こういうところ、とにかく⑨や⑩は放っておいて、④を先にあけるということはできないですか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 この西側区域全体の施工計画を今年度作成しまして、それに基づいて移転計画、工事計画等を検討した上でこのような形になっております。

以上でございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 区画整理が目に見えてわかるのは道路があかないと見えないのです。だから、この④をとにかく何が何でも先にあけてしまえば、ここすごく便利になるのです。そういうことは考えないの。

- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 委員のおっしゃるとおりでございます。そういったものを考えた上での現在の施工計画になっていると考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） そうしたら、31年はここまでだけれども、2年ぐらいにこの道路を先にあけるということに、そういう計画になっているのですか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 144ページ、予算書の、一番上の19節負補交の下水道受益者負担金、これちょっと説明してください。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 下水道を使用できる区域になった場合、受益者負担金というものが発生します。これにつきましては、本来受益者、地権者さんがご負担をすることになるのですけれども、区画整理の場合、従前地と仮換地後の土地、仮換地後の土地には下水道は整備された状態ということで、減歩等に範囲させております。ですので、受益者負担金は減歩に含まれるということで区画整理課が上下水道課にお支払いしているというところでございます。
- 以上です。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） これ何件分ぐらいに相当するのですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時45分 休憩

15時46分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
- 区画整理課長。
- 区画整理課長 金額ですけれども、平方メートル当たり290円になりますけれども、一括納付ということでその7掛けの金額を面積に掛けて算出した金額でございます。
- 以上です。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その下にある東電N T T電柱移設、これ何本分ぐらいですか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 電柱5本分の移設費でございます。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 143ページ、審議会の委員の委員会ですけれども、これ委員さんは何人ぐらいいるのですか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 委員は10名でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） そのうち報酬支払う人は何人ぐらいですか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 10名でございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 31年度のこの予算が実行された場合、区画整理事業の全体事業の中の何%完了を見込みますか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時47分 休憩

15時47分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
区画整理課長。
- 区画整理課長 現時点で面積的な算定はしてございません。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、何なら試算されているものがありますか。金額的だったら全体の何%完了というような試算をされている、もし指標があるのでしたら、お示しいただけますか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 後期基本計画総合計画に記載されているとおりでございます。
以上です。
暫時休憩お願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時48分 休憩

15時51分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 1点だけです。143ページの工事請負費で事業用地管理工事というのはどんなことをやっているのですか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 例えばですけれども、補償が終わります、そうした時点で個人の土地が市の管理地になります。その時点でくいを打ったり等々しまして、一般の方が入れないような、けがなどしないような形でくいを打ったり、碎石を引いたりということをしてございます。

以上です。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 予算的には言えないと思うのですけれども、暫時休憩で……

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時51分 休憩

15時52分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） 142ページの国庫支出金3億4,850万、この話さっき出た話ですけれども、これ内示率47%ぐらいで計算していて、実際に去年と同じぐらい、30%切るようなことになったらどうするのですか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 内示が市の想定しているよりも低かった場合ですけれども、財政当局と協議させていただいた上で必要な工事をやらなければ事業の進捗に影響が出るというふうに考えられる箇所につきましては、市単独費、もしくは国費のほうで補正等ありましたら、そちらのほうを対応していきたいというふうには考えてございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 国庫補助事業で進めようとしているところを国の補助分をもっと超えて市単でやっても問題はないの。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 特に問題はございません。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時53分 休憩

15時54分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今小林委員が言われたお話、その国の内示というのはいつ出るのですか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 例年ですと4月当初に内示率がこちらのほうへ報告がございます。
- 委員長（井出 悟） そのほか質疑はよろしいですか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 委員の質疑を終わります。
分科会外委員の質疑をお受けいたします。
岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 143ページ、土地区画整理総合費の負補交の中で一番下に市街地再開発促進協議会負担金とあるのですけれども、この東側、駅前広場ひっくるめたその中で再開発事業みたいなものというのは何か具体的なものというのはいくつかあるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

15時55分 休憩

15時56分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
区画整理課長。
- 区画整理課長 裾野駅東口についての今年度予算計上はしてございません。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） あと、駅前広場のあたりのまだ住宅というか、店舗というか残っていますけれども、31年度予算の中ではそれらに対しての何か予算づけというのはいくつかあるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 区画整理課長。
- 区画整理課長 一部の建物の所有者、建物につきまして委託の調査を行う予定でございます。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） では、この31年度の予算づけから見ると、東側のところが全部施工済みになるにはもう計画どおりで進みますか。
（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時57分 休憩

15時57分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まず、訂正から。

区画整理課長。

○区画整理課長 先ほどの質疑に対しまして訂正をお願いします。裾野駅東口の整備についての予算計上はしていないとお答えいたしましたけれども、平松新道線から東側区域、区画整理事業区域内につきましては、今年度同様駅前広場築造に向けて整備を行ってまいります。以上です。

○委員長（井出 悟） もう一回。岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） それに関連して、先ほど聞いたかったのは、再開発ビルのような土地がまだ未施工のところあるのですけれども、そういうところに再開発ビルのような計画というのはいない状態で進んでいるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 区画整理事業は、何度も申しますけれども、基盤整備ということで進めております。ですので、再開発事業の有無についてはここでは私どもではお答えいたしかねるということでご理解いただきたいと思います。

○分科会外委員（岡本和枝） 委員長、先ほどの……

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時58分 休憩

15時59分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 新道東側の事業完了の見通しはどのようなのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 後期基本計画で平成32年度末までに暫定の駅前広場の整備を行うということで予定をしております。今はそれに向けてほぼ予定どおり進んでいるというふうに考えてございます。

以上です。

○委員長（井出 悟） 勝又豊委員。

○分科会外委員（勝又 豊） 仮設住宅維持補修工事がありますけれども、そ

これは軒数、仮設住宅の何戸入る住宅なのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 2棟ございまして、1棟ずつ5軒の方が入ることが可能、全部入った場合10地権者が入居可能ということになってございます。

以上です。

○委員長（井出 悟） 勝又豊委員。

○分科会外委員（勝又 豊） ボイラーが故障というのは2棟分のボイラーが故障したということでしょうか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 1棟分でございます。

○委員長（井出 悟） 勝又豊委員。

○分科会外委員（勝又 豊） その仮設住宅って場所はどこにあるのですか。

○委員長（井出 悟） 区画整理課長。

○区画整理課長 現在新しくスルガ銀行ができたと思うのですけれども、そのスルガ銀行の南側でございます。道路を挟んで南側です。

○委員長（井出 悟） そのほかよろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の質疑を終了いたします。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑は終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見はありませんか。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 行財政改革の中の取り組みの中で第1年度としての取り組みを考えたときに今回の在宅福祉費の本当の減額、そしてこのような区画整理事業にお金を使っていく、この使い方に対して大きな問題があるというのと、もう一つ新道西側に事業入っていますけれども、やっぱり地権者の皆さん、市民の皆さんひっくるめて今後の事業のあり方というのをもう一度立ちどまって見直すときであると思ひ、今回の予算づけに反対です。

○委員長（井出 悟） そのほかご意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で区画整理課の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

16時03分 休憩

16時04分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

まちづくり課（答弁訂正）

○委員長（井出 悟） 初めに、まちづくり課より答弁の訂正について発言の申し出がありましたので、これを許します。

まちづくり課長。

○まちづくり課長 先ほどの分科会外委員の質疑の中で、都市公園に関しまして浄化槽の費用が計上されていないのではないかというご質疑がございました。私のほうで役割分担のもと民でやっていただいておりますというお答えをしたのですが、正確に言いますと、役割分担のもと千福が丘中央公園、それから呼子公園につきましては集中処理浄化槽のほうへ流していると、それ以外のトイレのついている今里児童公園、せせらぎ児童公園、それから小柄沢緑地につきましては、合併処理浄化槽の点検費用等はしっかり予算計上させていただいておりますということで改めて説明のほうさせていただきます。

以上です。

○委員長（井出 悟） 質疑をされた方よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上でまちづくり課の答弁を終わります。

暫時休憩いたします。

16時06分 休憩

16時06分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもって散会いたします。お疲れさまでした。

16時06分 閉会

9時00分 開会

○委員長（井出 悟） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりであります。

審査の方法は先日と同様に当局の説明を求めてから質疑に入ります。

発言の際には録音の関係上必ずマイクをご使用願います。

産業部

農林振興課（第1号）

○委員長（井出 悟） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 最初に113ページ、19節の負担金、補助及び交付金、残留農薬の検査補助金ですけれども、これはどこの団体に補助をしているのかお伺いします。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 これは、JAなんすんが行います主にふれあい市に出している関係で農協に対して補助を行っております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） JAは、いずれにしてもかなり前に残留農薬の試験をする機械とか、あとそれに伴う検査員とかそういう方も採用しているので、多分そういう体制が整っている中でお願いしているのかなという形を思うのですけれども、そのほかに例えば農産物の出荷、その辺の関係について残留農薬の試験というか、そういうことは実施していますか。

○建設管理課長 農林振興課長。

○農林振興課長 出荷に関してといたしますか、ふれあい市に並ぶ商品を検査をしておりますし、生産している農地の土壌検査もしております。

○委員（土屋主久） 次に、同じく113ページの有害鳥獣の捕獲委託でございますけれども、これは委託先はどこでしょうか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 これは、猟友会のほうに委託しております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 捕獲の頭数は、29年、30年は途中だと思うので、とりあ

えず29年と30年の今まで。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

9時33分 休憩

9時34分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 後ほど報告させていただきます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 出勤回数というか、日数、その辺がわかったら教えてもらえませんか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時34分 休憩

9時35分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 後ほど報告させていただきます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） それに伴って今補助金が125万円ということなのですが、猟友会の方は1回出勤するとどのぐらいの日当になるのかなど、この金額は適正か適正ではないかということをお伺いをいたします。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

9時36分 休憩

9時37分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 有害鳥獣捕獲等委託の125万円の算出根拠を教えてください。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 資料持ち合わせていないので、後ほど説明させていただきます。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時37分 休憩

9時37分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
土屋委員。
- 委員（土屋主久） 114ページの中段よりちょっと下、有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業ということで、10万円は何人分に対応するのか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 1名分です。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 1名分ですと、節目設置にすぎないような雰囲気の間になると思うのですが、もう少し積極的に予算をつける必要があるのではないかという。その辺はどうでしょう。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 31年度初めて実施する施策になりますので、要望等ありましたら補正予算をお願いしたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） それについては当然これ鉄砲のほうでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 今の猟友会等の進め方というのはわなと鉄砲両方ともございます。基本的には我々としましては、わなのほうをふやしていきたいという部分は考えておりますけれども、銃の免許取得に対しても補助を行います。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） わなと銃と多分講習とか、免許取得するのに費用が違おうと思うのですが、もしわかったらそのところ教えてもらえますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 わな捕獲の免許を取得するに関しては大体9万5,000円がかかってくるかなと思っております。銃につきましては銃器の取り扱いの関係が増えてきますので、ちょっと済みません。金額のほうは押さえていないのですけれども、10万円を超えてくる、倍ぐらいになりそうな感じで考えています。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） これは、全額100%補助ということでよろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 100%、10万円におさまってしまう部分については100%というふうに考えておりますが、狩猟税については対象外とさせていただいております。

- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 狩猟税というのはちょっとよくわからないのですけれども、ごめんなさい。基本的に講習とか、要するに取得にかかる費用については全額補助ということでよろしいでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 そうです。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時41分 休憩

9時42分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長。
- 農林振興課長 10万円を限度に補助します。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） それでは、お願いいたします。
112ページの農業委員会費のところでございます。賃借料41万9,000円、これはバスの借上料で視察先とか内容はもう決まっていらっしゃるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 これまだ視察先等は決まっておりません。しかし、例年1泊で行きます、そのバスの借上料が主なものです。ちなみにですけれども、東部地域で行われます農業委員の研修会にも小型のバスを1台出しますので、それも含めての38万円という形になります。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そうしますと、この視察先と内容を決めるのは大体いつごろになるのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 8月、9月ぐらいから決め始めまして、行き先を決定いたします。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） それでは、次です。113ページの農業振興費、8節の報償費、報償金が20万だったのが10万に減っているのですが、今猿の被害がかなり多いときにここを減額するのはどういう理由でしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 確かにおっしゃるとおり猿の目撃情報、被害等々増えております。その中でこの10万円というのは2頭分という形になりまして、軽視し

ているように感じられるかと思いますが、なかなか実績が上がっていない中で少し数を減らさせていただきましたが、捕獲されるようでしたら補正をいただいで報償費を支払いたいと思っております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そうしますと、平成29年と今年、平成30年、たしか20万だったのです。実績等はわかりますか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 昨年度は実績がございません。今年度が1頭です。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） わかりました。そういう実績だからここを減額したと。それでは、次の114ページお願いいたします。負補交ですが、研修会の負担金、2行目です。6万円だったのが2万円になっております。この研修会の対象者は誰ですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時46分 休憩

9時47分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 調べまして、報告させていただきます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そうしますと、そのところの下から3つ目でしょうか、地域戦略作物活性化支援事業の交付金、先ほど部長のほうから藁草が余り成功していないとか、そういうようなことでやめるというようなお話があったと思うのですが、ここの250万円はその部長が先ほどおっしゃった藁草とそばということでしょうか。

（「暫時休憩お願いしていいですか」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時48分 休憩

9時48分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 31年度予算につきましては、そばの生産と、あとは須山地区の生産に110万円で、試験栽培の支援に140万円となっております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 済みません。試験栽培の140、それは植えるものは何ですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 キヌアというものです。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時49分 休憩

9時50分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 済みません。あと1つ。117ページの市単の土地改良事業費のところの11節需用費なのですが、修繕費の維持のところが地元要望というお話がありました。ここのところが本年度と比べると100万円減額になっているのですが、地元要望がどのくらい減るといような見込みなのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 修繕費が100万減っているということなのですが、これは要望が減っているということではなくて、13節の委託料に用水路維持管理業務委託というのがございまして、先ほども申し上げたかもしれませんが、業務として熱が合ったほうが適正なものというものを今まで維持費という形で計上していましたので、それを見直して100万円動かしたものですから減額という形になります。施工箇所が減るとか、要望が減るとかというふうには思っておりません。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） わかりました。ありがとうございます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。初めに、112の19節負補交の中の一番下、静岡女性農業委員の会ということで昨年からこれ加入をされたのだと思います。この会に加入することのメリットをお願いします。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 昨年度の農業委員の改選によりまして、農業委員さんが2名になりました。この静岡女性農業委員の会というのは、きっかりとした農業委員会にひもづくのではなくて、女性方がつくっていらっしゃる団体で今まで加入していなかったのですが、やはり情報交換だとかそういった部分の形でやっていることとかが見えたほうがよろしいかということで加入させていただいて情報交換の場とさせていただいております。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、2名の農業委員の方はこの会の研修等には参加されているということですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 参加しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その経費というのはどうなっていますか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時52分 休憩

9時53分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
農林振興課長。
- 農林振興課長 9節の旅費から払われています。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 続いて、114ページお願いします。同じく19節の負補交の中の上から4つ目、全国農業担い手サミット市、町負担金なのですが、これこの31年度から初めて入られますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 この全国農業担い手サミット市町村負担金といいますのは、今年度全国大会が静岡県で行われます。そのため……
(「来年」の声あり)
- 農林振興課長 ごめんなさい。31年度行われますので、そのための各市、町の負担金ということで1年限りになると思います。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 裾野市としては何かこちらに参加されるとかいう、そういう予定になっているのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 農業者さんも参加されます。あとは、これは全国の方が見えて、先進市ではないのですけれども、いろんな全市、町を視察、それぞれが分かれて視察するような形のコースの一つにもなっております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この機会に裾野の農産物等のPRをする機会というのがあるということですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 PRの機会がございます。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 引き続き、先ほどちょっとご説明いただいたのですが、負補交の中間ぐらいです。経営体育成支援事業補助金というもの、済みません。先ほど経営強化のためにということでしたが、もう少し詳しくご説明いただけますか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時55分 休憩

9時56分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長。
- 農林振興課長 農業の担い手さんが融資を受けて農業機械、施設を導入する際に融資残について補助を行うもので、事業費10分の3以内、上限としましては300万円という形で制定されております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 農業の担い手ということで、農業者の縛りがありますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 人・農地プランというものがございまして、その中でうたわれています認定農業者さんが対象になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回300万円新たに計上されているのですけれども、活用いただける見込みというのがある中での上限300万円の計上ですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 活用したいという、施設を導入したいという希望者がありまして、その中でこういうものだというような話の中で予算要望をさせていただいております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 同じく今のところの2つ下です。農地耕作条件改善事業補助金ということで100万円、これも新しいものだと思うのですが、これも事業の内容をご説明お願いします。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 昨年度までは荒廃農地利活用補助金がついていたと思うのですが、その制度がなくなっております。そのために農林振興課としましては、活用できるものがないかというような形でいろんな制度を活用するために資料を見た結果この制度に行き着いたものですが、これは200万円以上の事業に対して上限100万円という形の補助をさせていただくものです。これ

は農地中間管理機構を使って新たな耕作地を求めた者に対してそれを耕作できる形に持っていくような形の補助金です。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件はありがとうございます。

そして、その下、また地域戦略作物の件です。先ほどそばと試験栽培のキヌアというお話でしたけれども、薬草に関しては31年度は取り組まないということによろしいですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 ええ、取り組みません。

○委員（賀茂博美） 委員長、ちょっと休憩お願いしていいですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時59分 休憩

9時59分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 試験栽培として新たに取り組まれるこのキヌアの販路というのはどうなっていますか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 販路につきましては、まず地元浸透させていこうという方針のもとに商工会の女性部ですとか、そういったところに既にもうお話をさせていただいておまして、そういうところから、まずは地元を知っていただく、そこから外へという形で取り組んでいこうということで考えております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） わかりました。その件は了解しました。

115ページお願いします。13節委託料です。昨年までトイレの浄化槽点検がこちらに入っていましたが、トイレは、そちらは31年度は計上されていないのですが、どうされていますか。トイレありますよね。

（「あります」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時00分 休憩

10時04分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

- 農林振興課長 トイレのくみ取り手数料及び浄化槽の点検というものにつきましては、12節の手数料のほうで計上させていただいています。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 確実にやられるということで間違いはないですね。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 実施いたします。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 引き続き、今梅の里整備事業についてお聞きしましたがけれども、これも議会でたびたび出ますが、この梅の里の活用、いわゆる賃借料や補償金がほぼこの事業の大半を占めている中で、この梅の里の活用を31年度何かやっつけていこうみたいな、どういうふうに使っていこうみたいな、予算的なものが出てきていけばそれが一番いいのですけれども、特に何かありませんか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時05分 休憩

10時05分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
農林振興課長。
- 農林振興課長 特に計画は立てておりません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほども言いましたけれども、事業費の大半がいわゆる貸しているところに対する補償とかであるということに関しては、この事業として取り組んでいく気持ちというか、熱意はどういうふうに思われているのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 その中で22節の補償費というものはございますが、こちらにつきましては農林振興課及びパノラマロードを花でいっぱいにする会で作っております農地としてコスモスだとか菜の花の作付及び駐車場に使っておりますので、こちらは活用されているかなと思いますので、今後梅の里の本地のほうにつきまして、いい利活用がないか検討していきたいと思います。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） はい、わかりました。

では、ページ変わって119ページお願いします。林業振興費の中の19節負補交の中ですけれども、ちょうど真ん中あたり森林整備事業補助金ということで、これ新たな森林譲与税を使った事業ということですが、この事業、補助

金となっていますので、どこに対する補助金になりますか。

- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 裾野市森林組合への補助を想定しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 具体的にどういった事業に対する補助になりますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 現在想定しておりますのは、幹線道路沿線で車両通行上支障がある、また伐採の経費等々が採算ベースに乗らないようなところの伐採を想定をしております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、その伐採した材木はどうされますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 裾野市森林組合によりまして、生かせる木材については当然原木市場等々へ出していただいて、売り上げていただきまして経費の一部に充当していただくつもりでございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この森林環境譲与税の使い方という指導的なものというのは国のほうから来ているのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 はい、ございます。森林整備ですとか、木材の有効活用、あるいは林業の担い手育成、あるいは森林所有者の意向調査等々に使うことということで用途が限定されております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その中において道路沿いの材木の伐採等の事業を選んだ理由というのは何かありますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 想定している箇所は、以前から企業等々から、企業の通勤者の通行路に当たる箇所なのですが、そういった企業から社員の車両通行上に支障があるので、早急に伐採してくれですとか、あるいは大型車両が通行した際に上のほう、屋根、ルーフに干渉するですとか、そういった形で伐採を要望されている箇所でございますので、そういったところを今回で答えたいなというところでそうていをいたしました。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時10分 休憩

10時10分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほどのお話だと要望としてそれはやらなくてはいけないことだったのかなというふうに聞いていて思うのですが、あえて森林環境譲与税が来たからやるべき事業なのか、本来やらなければいけない事業ではないのかなと思うのですが、いかがですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 やらなければならない事業であることにはかわりがないのですが、今までの間伐事業費補助だったりとか、森林組合が独自で行っています間伐ではとても経費が賄いきれずに事業着手することができなかった箇所を市の裁量をもって行うことができる間伐という森林整備ということで、森林環境譲与税が来ましたので、そちらを遅まきながら充当させていただいて、要望に応えたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その件は結構です。
次のオリンピックに向けたロードレース沿線の森林環境整備補助金という新しいものが176万ついていますけれども、この内容をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 こちらにつきましては、新しくできる県単の制度になります。県のほうから要請を受けまして、オリンピック自転車ロードコース沿線の箇所のうち裾野市においてはここを整備をしてくれというような要請がございました。具体的にはイエティ周辺の伐採を行って、富士山の景観、ビューポイントを確保するというのが主な内容になりますが、そういった県の制度及び要請を受けまして、今回予算計上をさせていただいております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この176万5,000円の財源の内訳をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 176万5,000円のうち120万円につきましては、県のほうから補助をいただきます。特定財源として充当されまして、残額が市の一般財源となります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回の整備事業で県から依頼されている富士山の景観を保つという部分は全て可能な金額になっていますか。
暫時休憩してください。

10時13分 休憩

10時14分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 実現可能だと考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 28ページ、歳入のところで、林業費補助金のところでオリンピックという話がちらっと出たのですが、それが今のお話に対応しているのですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時15分 休憩

10時16分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長。
- 農林振興課長 小林委員のおっしゃったところに含まれています。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 38ページの農林水産業債、市債で圃場整備のところで830万円起債していますけれども、これって従前も市債でやっていたか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 従前も市債でやっておりました。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 113ページの19節負補交、農業総務費の負補交、東部農業共済組合負担金、この農業共済組合はどこかという共済組合ですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 静岡県東部の20市、町を管轄しております共済組合です。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） お米をつくる人が、例えばお米は共済に加入しますが、それはこの共済組合ですか。

（「委員長、暫時休憩」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時17分 休憩

10時18分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長。
- 農林振興課長 おっしゃるとおりのものです。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） そうすると、20市、町が負担金を出しているということは、実際には農業者の掛け金が少なくて済んでいるという、そういうことになっているということですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 農業者云々というのではなくて、これにつきましては共済組合の運営費を負担しているという形になります。
- 委員（小林 俊） 暫時休憩願います。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時18分 休憩

10時19分 再開

- 委員長（井出 悟）
小林委員。
- 委員（小林 俊） その下の農業振興費の非常勤職員報酬15万6,000円、農業、これ協議会か。もう一回ここ、非常勤職員報酬、説明してください。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 非常勤職員報酬につきましては、農業振興地域整備促進協議会の会議の参加に対して14万4,000円で、鳥獣被害対策実施隊の1年間の費用の1万2,000円という形になります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 実施隊はたしか年間1,000円だったと思うので、12名ということですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 111ページの農業委員の報酬とかありますけれども、農業委員と農地利用最適化……

（「推進委員」の声あり）

- 委員（小林 俊） 推進委員でしたっけ。同じ報酬ですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 報酬は一緒です。ただ……
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時20分 休憩

10時20分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
小林委員。
- 委員（小林 俊） 114ページの、さっきいろいろ質疑ありました19節負補交のサミットのことはわかったのですけれども、市町対抗物産展とありますが、これちょっと内容説明してください。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 これは、市町村対抗駅伝のときに裾野市の特産品を出店しているための出展費になります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 物産展の特典がついて、優勝者が決まったりするものではないのですね。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 そこは競争ではございません。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） ここにいろいろあるのですけれども、農業機械等導入支援事業補助金は120万のうち国とか、あるいは国県は幾らぐらい来る予定なのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 これは、全て市の単独費で賄っております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） これは、認定農業者対象ということだと思うのですが、それでいいですね、解釈で。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 認定農業者のハードルが高いので、結局このお金って余り使われていないというふうに解釈しているのですけれども、もっとハードルを下げられないですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 裾野市の認定農業者さんは27名だと思うのですけれども、逆にこういう制度を活用するためにできるだけ多くの農業者さんが認定農業者になっていただきたいというのがこちらの思いです。ハードルを農業者自身を上げて向上していただきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それは、農業者の考えで、農業で暮らしていけるかどうかというところがあるわけではないですか。だから、ハードル下げていかな

いと競争力上がっていかないと思うけれども。どうですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時23分 休憩

10時24分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 認定農業者さんになっていただいて、頑張って農業をやっていく方に支援をしていきたいというふうに考えています。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） その幾つか下に機構集積協力金ありますね。これの内容ちょっと説明してください。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 農地中間管理機構というのがございまして、そこを仲介して農地を貸し借りする方の貸し手に対しての補助金なのですけれども、これ実はちょっとハードルが意外と高くて適用が難しいところもございまして、こういう制度があります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） その2つ下の農業次世代人材投資資金、これはどんなものですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 新規就農しました45歳以下の農業者さんに対して、収入が少ない分を補助するということになっております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 収入はどうやってカウントしているのですか。確定申告か何か。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 収入につきましては、これを見守る市の職員、県の職員がおりまして、それを算定しまして支払い可能かどうか、はたまた経営がいいので払わなくていいものかというような判断をさせていただいて、補助金の交付をいたします。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 実情、実績はどんな状況ですか。来年は150万だけれども。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 来年も150万円支払うような形になろうかと思っています。

○委員（小林 俊） 暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時26分 休憩

10時26分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） 経営体制育成支援事業300万、これはこれから就農する人ですか、それとも過去に就農した人も条件が合えば出すの。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 現に就農されている方です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） そうすると、例えば2年ぐらい前に就農をして、イチゴつくっているような人が申請をして条件が合えば融資の残額はある程度カバーしてもらえるみたいなことになるのですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 何年前とか細かいのはちょっとあれなのですがけれども、基本的には経営の向上のために使ったお金の残、融資の残について支援させていただいております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） こういう制度のPRというのは、農業者に対するPRはちゃんとできています。何か当たりそうな人に直接手紙送ってとか、そんなようなことはあるのかな。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 これも先ほど申し上げた認定農業者さんに対しての支援になってきますので、認定農業者さんとの話の中ではPRをさせていただいております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） わかりました。

屋上緑化の800万、これは国から400万でしたよね、それでいいですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 そのとおりでございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 今年度は800万をどういうふうにするというのは、何か計画があるのですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 例年主な経費の内訳といたしましては、人件費、それか

ら資機材費、それからその他というような形で経費配分がなされております。本年度もおおむね同様かとは思われますが、本年度は特に周知PRと販売にかかる部分について積極的な予算配分を行っていくということで緑化組合のほうと話をしているところでございます。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 116ページの一番上、死亡獣畜処理1,000円ですけれども、これは実際に発生すればふやしてくれるのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 実際には実績は最近ないものですから、頭出しという形でやらせていただきますが、実際には正当な費用をお支払いすることになります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） この東部家畜保健推進協議会等は、市民が市外で飼育している家畜なんかがありますよね、そういう市民対象とっていいのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 これは、協議会への負担金なので、市のほうが支払いまして、先ほどお話にあった死亡鳥獣処理助成金につきましては、裾野市内にいる動物に対してという形になりますので、実際には今豚のほうがありますが、それは御殿場市になっていますので、実際にはないかなというところで1,000円の頭出しという形になっています。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 116ページの県単土地改良事業費、これは具体的に圃場整備のところのことですか。ちょっとこの場所説明してください。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 県営事業費負担金は、先ほどもちょっと申し上げましたけれども、圃場整備が1カ所と農免道路の舗装工事をやっておりまして、その2つの事業になります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 農免道路の舗装工事というのは、あれは市道だけれども、そこにかつて農免道路だったからということで出ているという、そういう解釈。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 117ページの市単土地改良事業の負補交で富士裾野東部土地改良区負担金ありますが、これは事業に対する土地改良区がやっている裾

野市内の事業に対する負担金。

- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） これ具体的にはどこの何、どんな事業ですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 30年度の実質でいきますと、31年度ですね、済みません。須山地先の黒石線という農道がございます。そのふたがけだったりだとか、あと南堀の水路改修を今年度工事として考えておりまして、その他要望で出されました委託業務を考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） これ負担割合は何%とか決まっているのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 改良区のほうで補助事業採択をされたものにつきましては、補助残を市が負担しております。受託業務と言いまして、市にかわってやっていただく分につきましては全額負担しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 次のページ、118ページの林業総務費の森林組合補助金ですが、これは毎年こんな額だったですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 同額になっております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その下の林業振興費の16節原材料費ありますが、これは建設管理に来る、地元要望で来るのとどう関係になっているのでしたっけ。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 建設管理に来るのは認定市道というのが主になりますが、農林振興では林道に対して支給します。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 1申請何立米とかいうのがあったっけ。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 コンクリート、砕石ともに13立米を上限に考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それ何カ所ぐらいで考えているのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 4地区とかんがえております。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 間伐事業補助金、100ヘクタール見ていますけれども、この100ヘクタールの根拠は。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時35分 休憩

10時36分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長。
- 農林振興課長 例年の実績が100ヘクタール程度になっておりますので、実績を重んじてこの予算要望にしました。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その下の市単林道の15節工事請負費、須山地区だという話でしたけれども、これはどの辺のどんな道ですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 林道田向線というのがございます。30年度の工事で林道田向線まで愛鷹線がつながってききましたので、せっかくできたものを有効利用するためにも今の田向線が少し整備状況悪いものですから、それを補修して使えるようにしていこうということです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その上の林道橋点検個別施設計画策定の350万だけれども、これはどこに委託するのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 金額が350万円程度を予定しておりますので、委託先はまだ困っておりません。コンサルタントへの委託業務ということで予定しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） これ例えば橋って沢がいっぱいあるので、橋もありますけれども、その橋を普通に点検すればみんな直す対象になるような気がするのですが、それはもう計画的にやっていくという、そういう計画をつくるための委託。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 小林委員のおっしゃるとおりで……
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時38分 休憩

10時38分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
小林委員。
- 委員（小林 俊） 次のページの林道維持費の委託料、草刈りだという林道維持関連委託、草刈りですが、これどこへ委託しますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 森林組合に草刈りをお願いしているところだとかあります。
また、業務内容によっては金額によって入札になったり、見積もりをとって随契したりという形になります。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 115ページの畜産振興費なのですけれども、これ畜産農家数は何件でしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 2件です。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） それで、その2件は市内に畜舎というかがあるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 実際には今飼っているのは1件なのですが、それは市外に畜舎があります。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 実質がないということでしたら、この東部家畜保健推進協議会の負担金というのは必要なのでしょうか、お伺いしたいと思います。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 これは、連絡会ということで情報収集などもございますので、豚コレラとか、そういったものの情報だったり、あとそちらがもし発生した場合の調査なんかに行く場合もございますので、それらの情報収集のためには協議会に入っているべきだと思いますので、負担金は適当かと思います。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 市外に畜舎があるということは、市外のほうの農林課なり、農業サイドが指導、いろんな形になってくると思うのですけれども、裾野市からもそういう方への連絡等については結局ダブルでやっているのかどうか、裾野市もしているのかどうかお伺いしたいと思います。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 済みません。裾野市のほうにはその実績がないので、ちょっとわかりません。

- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） そうなら、先ほど言ったように必要がないのではないのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時41分 休憩

10時43分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 必要性はあると思います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時43分 休憩

10時43分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 屋上緑化の関係、114ページなのですが、先ほどお答えがあつて、市場開拓とかその辺を、組合なのかな、そちらに推進してもらふということなのだけれども、やはりこれ市が多分投げかけて事業が始まったものだと思うのです。これってかなりこれから積極的に市が絡んでいかなとなかなか販路の開拓というのはできないのではないかなと、これは僕の経験上から申し上げているのですけれども、やはり市が、要するに市ってやはり信用されますよね、基本的に。その信用される市がPRをすることがやっぱり一番早い、この方たちの応援だと思うのです。その辺をどういうふうに市としてこれから取り組んでいくのかお伺いします。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 ご指摘のとおり市、行政の関与というのは非常に重要だと考えております。ですので、来年度の予算の執行につきましても市のほうが積極的に関与して、組合とともに進めてまいりたいというふうに考えております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） よろしく願いいたします。

次、いいですか。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 次、森林組合の補助金なのですが、118ページですけれども、運営費ということでございます。森林組合については高性能機械

を、例えば防衛の関係の予算で導入したりとか、かなり恵まれている状況にあるのではないかなというふうに思います。経営が、何かさっきから聞いていると難しいような雰囲気のお話をされていますけれども、実際その辺、例えば間伐事業、去年が2,000万ぐらいでしたっけ、で今年度が1,940万、森林整備事業補助金についても720万とか、森林組合へ流れるお金ってかなりの金額が流れていっているのではないかな、なおかつ間伐を実施した場合、現地を見てみますと、材はほとんど原木資料へ搬出されているという状況なのです。そこからも収益が上がってくるということになると、そのような状況を全て把握した中で、要するに森林組合補助金、280万円を執行しているのかどうか、会計状況しっかり把握しているのかどうかをお伺いいたします。

- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 森林組合の総会にも参加させていただき、決算等の書類も確認しております。そのような中で支出をさせていただいております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） それは黒字でしょうか、赤字でしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 つい最近やっと黒字に変わりました。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） その辺しっかり見きわめて精査しながらやはり補助金額等も検討していったほうがいいのではないかなと思います。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） それと、森の力事業あるのですけれども、裾野市としては実施しているのかどうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 森の力再生事業、市域で実施しているところございます。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） その事業主体はどちらになるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 裾野市森林組合です。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） あと、119ページの東京2020自転車ロードレース沿線森林景観整備事業補助金、これはイエティの周辺ということですよ。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） その沿線、やっぱりイエティまで至る間についても対象

になっていくわけですよ。

- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 この補助事業で想定しているのはイエティの周辺だけでございます。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 須山から元のみしまやのガソリンスタンドのあたりからずっともう杉林というか、森林入っていくのですけれども、その辺の間伐についてはほかの事業でやるのでしたっけ。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 その沿線につきましては、別事業での実施をただいま検討しているところでございます。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 114ページの負補交でございます。小林委員からもありました農業次世代人材投資資金、先ほど課長のお話だと45歳以下というお話でした。私これ去年は45歳未満って書いてあるのですが、まずそれはどちらが正しいのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 45歳未満ということで、済みません。以下ではございません。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そうしますと、新規就農をした45歳未満という、それ以外の要件というのはいないですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時49分 休憩

10時50分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長。
- 農林振興課長 この人材投資資金につきましては、調べて後ほど回答させていただきます。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 117ページのやはり負補交でございます。県土地改良事業団体連合会の特別賦課金と一般賦課金、これは徴収の違いだけということ。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 特別賦課金につきましては、県で実施している事業費についてかけられているものでございまして、一般賦課金は市町村の連合会に入っている通常の会費という形になります。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 済みません。今回新しく始まる有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業の件について伺います。
- まず、これそもそもの目的が猟友会の担い手が高齢化をされているということなのですが、この補助金の対象者に年齢制限はつけていますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 年齢制限は特にございませぬ。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そして、猟友会に加入することが前提として3年以上継続して活動してくださいということですが、もしこれ3年継続できない場合はどうなりますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 支払いの交付要綱を今現在準備しているところでございませぬけれども、それが整わなかった場合には返還義務が生じるような要綱となっております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この猟友会に加入をして、活動を実績についても制限がなっていますか。例えば何日以上は出勤してくださいとか、要綱の中にそういった活動制度のようなもの、これ以上やってくださいというような。例えば、休憩をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時52分 休憩

10時53分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
- 農林振興課長。
- 農林振興課長 要綱の中では3年以上ということがございませぬけれども、それ以上の出席日数だとかは決まっておりますので、猟友会等々とまた今後検討していきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回新規にこの事業を始めるわけですがけれども、この目的はもちろん猟友会として会の存続もあると思うのですが、鳥獣被害を抑えるというような大きな目的があると思うのです。31年度に向けて目標としているものはありますか。例えば被害額を抑えるとか、捕獲数を上げるとか、そういった目標は何か設定されていますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 被害額は抑えたいというのももちろんございます。ちょっと今資料手持ちではないのですけれども、基本的には捕獲頭数を140だったかな、を目標に行っております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 今捕獲頭数140というのは、鹿とイノシシの内訳はどういうものを目指していますか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時55分 休憩

10時56分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 鳥獣被害防止計画がございますので、その数字を後ほど報告させていただきたいと思えます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 目標140を……暫時休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時56分 休憩

10時58分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 関連で、先ほど有害鳥獣の関係の従事者の関係、今賀茂委員さん、聞いていたとおりです。くくりわなと、あと銃器ありますよね。銃器については猟友会の加入というのはやっぱり僕は必要だと思うのです。ただ、くくりわなって結構自分が農業被害遭っていると、なかなか頼んでもやっていただけないということになると、増えてくると思うのです。そういう方って猟友会ということ考えると、ちょっとクエスチョンになってしまうのではないかと思うのです。だから、わなについては猟友会加入を外すとか、銃器については猟友会に加入してもらう、それは安全とかいろんな関係があるので、その辺は検討できないのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 基本的に従事者育成支援事業につきましては、担い手を確保したいということで制度をつくっておりますので、わなであっても猟友会に入っていただくという形でお願いしたいところでございます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 猟友会とは別に市のほうで、例えば有害鳥獣のこれこれ、くくりわなの会とかが何かしら考えてもいいのではないかなと思うのです。それでもしっかりやっぱり育成しているということになると思うのです。ただ単に猟友会のメンバーをふやしたいというそれだけではなくて、要するに実質なわけではないですか。実質どれだけ進むかということなので、猟友会の会員数をふやす、ふやさないの問題ではないわけです。だから、その辺も考えたらずやほりもう少し柔軟的に考えたほうがいいのではないかなということなのですけれども。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時00分 休憩

11時01分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

産業部長。

○産業部長 土屋委員の意見も参考意見かと思しますので、それらも受けとめて検討していきたいと思ひます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 済みません。119ページの林道開設事業費の中の点検と個別の計画の策定の件です。これは、林道橋というものは何橋、これ予定されていますか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 4橋を予定しております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この点検の対象となる橋の……暫時休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時02分 休憩

11時04分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 冒頭の説明の中で32年までにこの計画を策定をしてくださいというお話がありましたが、これは策定したことで、これから先の、これから修繕に入ってくると思うのですけれども、何かメリットはありますか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 今のところメリットの部分は、ちょっと不明なところはあるのですけれども、建設管理でやっています長寿命化につきましても、補助事

業という形で進められておりますので、今後補助がつくことを期待しております。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回のこの策定委託が県の補助が50%ですよね。特定財源として入っていますけれども、これから修繕をしていくというときの県の補助がいただけるかどうかというのはまだ未確定ということですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 済みません。ちょっと情報得られておりません。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時05分 休憩

11時06分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
小林委員。
- 委員（小林 俊） イエティ周辺の、119ページ、東京2020イエティ周辺ですけれども、これ切るのは、県が切ってくれというのはいいのですけれども、地主とかはどんなことになっていきますか、対応。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 地主の了承はこれから得ていくこととなります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） みんな個人持ちのところですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 一部共有林があるというふうに聞いております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 災害のところで186ページ、農業新設災害復旧費ですけれども、科目設置ですが、これはどんな災害が想定されているのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 農業施設災害におきましては、水田、畑、また用水路等の被害を想定しておりますし、林業施設につきましては林道という形になります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 天候による災害というイメージでよろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 台風だったりだとか、そういう降雨とかの荒天なんかを想定しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 地震は対象になるのですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時09分 休憩

11時09分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 天災が採択のものになるかと思えます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 雪は。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時10分 休憩

11時12分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長。

○農林振興課長 11款に関しては公共施設が対象になっているということです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 降雪によって立木が倒れて、市道、林道にかかりました、こんなときはどうなる。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 本来は所有者に撤去していただくべきかとは思いますが、林道が使えないことによる損失も大きいものですから、市のほうで対応することが多いです。

○委員長（井出 悟） ほかに質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時13分 休憩

11時13分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

休憩します。

11時13分 休憩

11時22分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

委員の質疑を終了します。

分科会外委員の質疑はありませんか。

勝又利裕委員。

○分科会外委員（勝又利裕） お願いします。

114ページの負補交の関係のところの屋上緑化の関係ですけれども、行財政構造改革によると、21年度で廃止ということが……

（「31」の声あり）

○分科会外委員（勝又利裕） 2021年廃止が出ていて、今回も減額をされると。ということは、来年度、再来年度である程度方向づけをしなければならぬ、その辺の考え方を教えてください。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 委員おっしゃいますとおり、本年度をもって国の交付金終了、31年度を持って国の交付金が終了いたします。そのために組合の自立運営ができるように今行政も積極的に介入をしていくところでございます。予算措置は終了いたしますが、それ以降も積極的な運営の支援、予算に絡まない部分についてはその後も関与をしていくということで考えております。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） 先ほど委員のほうからも質疑があったと思いますけれども、支援をしていくということは当然のことであって、具体的に平成で言うと31年度にどういうことを考えてやって、具体的なものをもう少し示していかないと、平成でいくと32年度で終わるんだよね。

（「3年」の声あり）

○分科会外委員（勝又利裕） 33年か。そのときにそのまま市が何もしないでもうやりませんよということではなくて、市が何らかの関与してやっていくとか、具体的に示していかないとうまくいかないということで聞いていますので、その辺がもし来年度あれば教えてください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時24分 休憩

11時24分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 平成31年度につきましては、昨年郵便局と地域創生に関する協定を締結いたしました。そういったところをより進めて地域、あるいは販路の開拓に積極的に打って出る、また市長を初め現在トップセールス非

常に積極的に行っていただいております。そういった方向性を継続、加速させていくということになろうかと思えます。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） よろしくお願ひします。

以上です。

○委員長（井出 悟） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） ありがとうございます。

有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業のこの新しい事業なのですけれども、わなど銃があつて、なぜ銃のほうの取得免許の金額、約20万ですけれども、そちらの金額の確保に至らなかつたのか伺ひます。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 制度をつくる時に近隣で小山町が同様の制度をつくっております。小山町がこうだから全く同じにしなければいけないというわけではございませんけれども、先ほど来申し上げているとおりのほうを充実させていきたいという考えもございましたので、そのようにさせていただきます。

○委員長（井出 悟） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） その件は了解いたしました。

それでは、このわなで複数取るということが出たときは補正で対応されるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 補正で対応したいと思つております。

○委員長（井出 悟） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） ~~それは例えば5人とか出ても大丈夫ですか。~~

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時27分 休憩

11時27分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） ただいまの質問は取り消します。

それでは、この対象者なのですが、職員が取る時もこれ使えますか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 要綱の中に職員はだめよというのがございませぬので、それでも可能かと考えます。

○分科会外委員（内藤法子） わかりました。よろしくお願ひします。

- 委員長（井出 悟） 勝又豊委員。
- 分科会外委員（勝又 豊） 屋上緑化事業、これから売り込んでいくということなのですけれども、市場規模と、またほかの業者等、競合相手と、その辺というのは調べていますでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 市場規模というのは特段調査はしておりません。ただ、過去にこういったところにニーズがあるだろうという市場調査というのは行っておりまして、そういったところへ売り込みをかけていくという方向になろうかと思えます。それから、競合業者につきましては、今これも調査を進めているところでございます。首都圏を中心にやはり同じようなことを手掛けている業者というのはあるというところまでは承知をしております。そういった中で他の提携できる首都圏の事業者等々と連携をいたしまして、この事業を進めているところでございます
- 委員長（井出 悟） 勝又豊委員。
- 分科会外委員（勝又 豊） ちょっと暫時休憩でお願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時29分 休憩

11時29分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 伺います。116ページ、負補交のところなのですが、県営事業の負担金のところで1—4号線の負担金が来年度250万円ほど増額の見込みというお話があったと思うのですけれども、その要因は何でしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 県営事業につきましては、こちらの予算確保の場合、来年度の要望額を調査させていただいて、それを市のほうの予算要望にさせていただいているのですけれども、例年ですと500万、事業費でいくと2,000万の事業費で毎年県は事業化を要望をしておったところですが、今年度は3,000万の事業費で当初予算の要望をしているので、こちら負担金としまして750万要望しているところでございます。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 舗装箇所の距離が延びるとか、そういう期待ができるということでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。

- 農林振興課長 幅員が極端に広がらなければその分距離が延びてくるというふうに考えます。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 1—4号線で県が工事をする残りの距離というのは、あとどれぐらいになっていますでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時31分 休憩

11時31分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長。
- 農林振興課長 県の裾野市における事業規模としましては、2,200メートルで、平成30年度実績、若干誤差はあるかもしれませんが、30年度までを引きますとあと1,710メートル程度と考えられます。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 114ページの農業振興費の中の負補交の地域戦略作物活性化支援事業の薬草栽培についてお尋ねします。たしか昨年度まで薬草栽培の140万円が載っていたのではないかと思うのですけれども、この試験栽培というのは何年間やられたのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 ミシマサイコについては5年間取り組みました。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 交付金を5年間使った結果はどのように評価をされていますか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 残念ながら交付金に見合う投資効果、収益については得られなかったということで考えております。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） その判断というのは市のほうで5年間見ている、使っている最中でもそういう判断ができたというようなことというのはないのでしょか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 この判断につきましては、現場で農作業に当たっております須山農事組合の方々と随時協議の上で決定をさせていただいております。ミシマサイコにつきましても……
- 委員長（井出 悟） いいですね、判断していますでいいですね。

暫時休憩します。

11時33分 休憩

11時34分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） それでは、ミシマサイコから今度キヌアに変更
というのですが、これは同じ事業者が取り込まれるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 同じく須山農事組合に耕作を行っていただきます。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） このキヌアに変えるという判断の連絡というの
はどの時点でされたのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 ミシマサイコの今2年制の2年目を収穫を終えたところ
でございますが、2年目の出来が芳しくないというところをもって違う作物
に転換すべきだという判断をいたしました。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 5年間交付金を、この制度は5年の期限という
のが定められているのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 特に5年間という有期のものではございませんが、5年
間というのを1つのスパンといたしまして、一事業の見直しを行ったところ
でございます。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） それでは、このキヌアの展望というのは十分に
あるというふうに判断されたということでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 これもあくまで試験栽培ですので、手がけてみなければ
わからないところがございます。ただ、連携いただける学術機関、静岡大学
ですが、こちらのほうと連携できるということになりましたので、試験栽培
で取り組んでみるというところがございます。
- 委員長（井出 悟） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） ミシマサイコ、そしてこのキヌアって三島地方
というか、この近隣での実績みたいなものは何かあるのですか。最後に。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 ミシマサイコにつきましては、近隣で手がけておりましたが、断念するところが続出をいたしまして、今東部では手がけているところはほとんどございません。キヌアにつきましてもこれはまだ国内で手がけているところがほとんどございません。

以上です。

○委員長（井出 悟） 杉山委員。

○分科会外委員（杉山茂規） 有害鳥獣の資格取得、従事者の育成事業なのですけれども、これもできるということの中でこの制度を知っていただかないと活用というか補助金を使われないことになろうかと思うのですが、PRについてはお考えありましたら、お願いいたします。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 この予算が通り次第PRをしていきたいと思っています。

○委員長（井出 悟） 杉山委員。

○分科会外委員（杉山茂規） 具体的にこういうふうな手法というところの検討は今浮かんでいるものありますでしょうか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 市の広報やホームページでの掲載を考えております。

○委員長（井出 悟） 杉山委員。

○分科会外委員（杉山茂規） あと、実際に農業従事されている方についてのPRというのはありますでしょうか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 農業者団体さんの総会だったり役員会とかというのにも出席させていただいておりますので、農業者にもその旨は伝えておきたいと思っております。

○委員長（井出 悟） 杉山委員。

○分科会外委員（杉山茂規） それ以外の一般の人に関しては、先ほど初めに出了ました2つ以外、例えば広くセミナー的なものみたいな開催の中でPRをしていくということは考えませんか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 今のところその想定はございません。

○委員長（井出 悟） 杉山委員。

○分科会外委員（杉山茂規） 最後です。PRの中で補助金を使うということになった場合、多分狩猟、わなのほうで3万5,000円、銃は6万5,000円ということで、額的には10万円ですけれども、ただ先ほどの説明の中で狩猟免許の狩猟税についてはだめですよということだったと思います。そこまでお金が出ないことには実際に捕まえるところまでたどり着かな

いのですけれども、その辺の考え方を教えていただければと思います。

- 委員長（井出 悟） 農林振興課長。
- 農林振興課長 狩猟税、税金になりますので、税金に対しての補助というような形を税金で行うということをしなないというような形で判断をしておりますが、今後運用については検討していきたいというふうに思っています。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 分科会外委員（土屋秀明） 119ページのオリンピック関連のですけれども、県費の補助が出て、県から場所の指摘があって、イエティの有料道路の沿線の伐採をするということなのですけれども、それ以外のところで、先ほども委員からもちよつと質疑出ていますけれども、県のほうからオリンピック関係で間伐をもつとしたほうがいいよというような具体の意見というのはないのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 それにつきましては、ただいま県の予算で要整備箇所の調査を行っているところでございまして、その成果を見た結果整備箇所が上がってくる可能性はございます。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 分科会外委員（土屋秀明） そうすると先ほどの質疑の答弁の中でこれから具体のものとして間伐するところが検討していくということなのですけれども、それは今の答弁ということによろしいのですか。
- 委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 分科会外委員（土屋秀明） 32年度ですと、間に合わないわけですから、ということ具体に進むとすると31年度の中で補正を取ってということになるのですか。直接県がやるということですか。間伐。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時41分 休憩

11時42分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
農林振興課長代理。
- 農林振興課長代理 県の調査による要整備箇所につきましては、他の事業で整備を検討してまいりたいと思います。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 分科会外委員（土屋秀明） 他の事業というのは、当然御課がやる話で、林

業事業の中でやるという、そういう意味ですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長代理。

○農林振興課長代理 そのように考えております。

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の質疑を終わります。

以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより、第1号議案のうちの関係部分についての意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で農林振興課の質疑を終わります。

暫時休憩します。

11時44分 休憩

11時45分 再開

○委員長（井出 悟） それでは、再開いたします。

演習場対策室（第1号）

- 委員長（井出 悟） 説明は終わりました。
質疑に入ります。質疑はありませんか。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 済みません。1点だけ。冒頭部長の説明もありましたとおり、平成31年度で第11次の使用協定が終結となるわけですが、そこに向けた事業は予算立てとして何かありますか。
- 委員長（井出 悟） 演習場対策室長。
- 演習場対策室長 予算立てとしては特に、会議等が増えるというような関係になろうかと思えます。予算立てとしましては総務費の関係で旅費とかが200円ということで減額になりましたけれども、そこを考慮をしております。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 予算はないけれども、31年度の終結に向けての取り組みは具体的にはどんなこととしていく予定ですか。
- 委員長（井出 悟） 演習場対策室長。
- 演習場対策室長 平成31年度の後半になろうかと思えますけれども、第11次の使用協定の終結、それから第12次の締結に向けまして、問題点等の洗い出しとか、新たな要望箇所を把握をしたりしまして、会議に臨みたいと考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今の組織なのですけれども、今室という形で対応しておりますけれども、それが対国に対して位置づけとしては適正だというふうに思っているんですけど大丈夫ですか。
（「暫時休憩を」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。
- 11時57分 休憩
- 11時58分 再開
- 委員長（井出 悟） 再開します。
産業部長。
- 産業部長 対外的には室より課というもののほうがいいかと思えますけれども、その分兼務して演習場対策専門監という立場でそれにかかわって対応していただけたと考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この使用協定は裾野市単独ではないので、ほかの町とも

立ち位置をぜひそろえていただきたいということで、要望をお願いいたします。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 用沢川2号調整池の排砂工事、これはどんなふうに、どこに出すのですか。

○委員長（井出 悟） 演習場対策室長。

○演習場対策室長 排砂場所、排砂した砂を置いておく場所ですが、用沢川2号調節池から1.5キロぐらい離れた又沢川調節池の敷地内に置いておく計画でおります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） ダムの外だけれども敷地内という、そういうことですか。

○委員長（井出 悟） 演習場対策室長。

○演習場対策室長 敷地の外側というか、言い直します。又沢川調節池の外側の又沢川調節池付近に置いておく計画でございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） これ請け負うのはどんなところになるのですか、企業ですか。

○委員長（井出 悟） 演習場対策室長。

○演習場対策室長 入札をして、普通の土木の一般企業でございます。

○委員長（井出 悟） ほかに質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 質疑を終わります。

以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより、第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で演習場対策室の質疑を終わります。

休憩いたします。

12時01分 休憩

13時13分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

農林振興課（答弁漏れ）

○委員長（井出 悟） 初めに、農林振興課長より答弁漏れについての発言の申し出がありましたので、これを許します。

農林振興課長。

○農林振興課長 答弁漏れについて報告いたします。

まず、有害鳥獣の捕獲頭数につきまして報告いたします。平成28年度イノシシが7頭、鹿82頭、平成29年度がイノシシ25頭、鹿110頭になっております。

出動日数につきましては、28年度が666人、29年度が872人となっております。これは延べ人数です。

委託金につきましての算出根拠ですけれども、捕獲数には関係なく、年間600人以上の出動ということになっております。

続きまして、研修会費負担金2万円につきましては、狩猟免許予備講習会の受講費として2人分を計上しております。

続きまして、45歳未満以外に条件はあるかと、農業次世代人材投資資金ですけれども、これにつきましては収入が350万円未満であることという形になっております。

続きまして、有害鳥獣捕獲の平成31年度の捕獲目標頭数についてでございますが、イノシシが15頭、鹿が130頭、合わせて145頭になります。先ほど140頭と申し上げましたが、済みません。訂正させていただきます。

以上になります。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長の説明は終わりました。

小林委員。

○委員（小林 俊） 350万未満、これは所得ですか。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 前年の総所得です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 総所得ということは、収入ではなくて所得ですよ。

○委員長（井出 悟） 農林振興課長。

○農林振興課長 所得です。

○委員長（井出 悟） 委員の皆様よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で答弁漏れについて終わります。

暫時休憩いたします。

13時16分 休憩

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

13時16分 再開

産業振興課

- 委員長（井出 悟） 説明は終わりました。
質疑に入ります。質疑は。
小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 部長の総括説明で中小企業の振興推進計画みたいな話があったと思うのですが、今説明の中には特に出てこなかったですよ。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 中小企業支援関係につきまして、今条例の策定に入っていて、予算につきましてはその部分についてはついておりません。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） そうすると、31年度は条例を策定するのみ、それとも計画は策定するけれども特に計画策定にかかる予算は必要としていないという考えですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 条例を策定し、その中で新たな協議会を設定しそこで決定したものを今後行っていくような形になります。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） そうすると、中身については条例案が出てきたタイミングになるのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） お願いします。28ページ、商工費補助金の地方消費者行政活性化交付金、先ほどの説明で消費者センターの運営費とか電話相談ということでございました。内訳を教えてくださいませんか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらの内訳につきましては、県のほうで算出してきますので、前年度の交付金の品額が載っております。決定はしておりません。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そのところは了解です。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 124ページの負補交、ユニバーサルデザインタクシーの導入補助金なのですが、導入したところに補助金を出すという、その理由を教えてください。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 ユニバーサルデザインタクシーにつきましては、市内業者によって車がつくられております。市内への企業への支援及び環境に優しいタクシーの導入とオリパラに向けての観光振興も含まれております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 理由はわかりました。

そうしますと、これを既に導入している企業がありますけれども、そこらは1月25日に登録をしております。それについての補助金は出るのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうは31年度予算になりますので、対象外となります。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） ですから、先ほど先に理由をお伺いしたのです。そういうようなお伺いで2カ月ちょっと早い。それで、こちらが補助金対象にならないというのはなかなかいかなものかなと思うものですから、お聞きをいたしました。その辺のところは今後検討していく予定はあるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 31年度予算ですので、それ以降の購入のタクシーについては助成をしていくというような形になります。

（「暫時休憩でいいですか」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時42分 休憩

13時42分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） オリンピック・パラリンピックが新年度から推進局でしたっけ。

（「室」の声あり）

○委員（二ノ宮善明） ~~推進室にしてやっていくというようなところで、プレ夫会が裾野市は行われなくなりました。その機運醸成に対してプレ夫会でずとか~~暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時43分 休憩

13時45分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 今の質疑取り消します。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いします。122ページ、ちょっと人事課の所管課もしれませんが、職員が5人から8人に増えます。今の仕事をしている環境を見ると、あそこにプラス3人入るのかなと正直思っているのですが、その辺来年からはどういう体制でやっていこうということになっていますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 人事の関係ですので、3人増えているというのは今年度既に3人増えていまして、多分ですけども、昨年5人だったのがことしもう既に3人増えて8人になっているので、その分の予算がついているというふうに考えております。来年度の予算につきましては、人員配置についてはここからまた変更があると思っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そして、123ページの三世代同居支援補助金の件です。まず、この事業が新規で取り組まれますけれども、この事業を行うことになったその理由をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時47分 休憩

13時47分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
産業振興課長。
- 産業振興課長 この事業につきましては、市内の定住人口の増加を図るとともに、子育てや介護など家族の支え合い並びに地域経済の活性化、空き家の利活用を促進するということを目的としております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回この事業は新規事業なのですが、予算立てに関しては原則新規事業禁止という中で上がってきています。緊急性、優先性があるものに対して新規ということなのですが、この事業自体に緊急性、優先性がある事業ということですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらの事業に関しましては、12月の議会でも答弁をしているとおり市として優先的に取り組む事業というふうな位置づけになっておりますので、実施する方向として行っております。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回予算としては1,000万計上していますけれども、対象世帯はどのくらいというふうに見込んでいますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 新規取得をする住宅につきましては5件、改修につきましては9件というふうな形で見積もっております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そして、これ補助要件がありますけれども、まずは三世代同居で5年以上継続という部分があります。もし5年以上継続されない場合はどうなりますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 5年以内だった場合のその理由によりけりですけれども、その理由次第では補助金の返還を求めるというふうな形になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この補助制度の補助要綱は既に完成していますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 要綱については、現在商工会と最終打ち合わせとなっております。
- 委員（賀茂博美） 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時50分 休憩

13時50分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 124ページです。まず、13節委託料の件です。女性の就業・起業支援実施事業ですけれども、行財政構造改革でこの事業は廃止の方向になっています。31年度はどういったことを取り組んでいく予定ですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 女性就業・起業支援実施事業につきましては、女性に対する起業の相談事業及び起業と就業にかかわるセミナーのほうを開催してまいりたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この事業が廃止になるということで、ある程度事業としては効果があったということで打ち切られるという理解でいいですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。

- 産業振興課長 この事業につきましては、S u s o—b i zのほうに吸収するような形で今後継続していくと考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） わかりました。
では、その下の19節のユニバーサルデザインタクシー導入補助金の件です。まず、この事業が始まる経緯をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのユニバーサルデザインタクシーは、高齢者ですとか、車椅子使用車、ベビーカー利用者、妊娠中の方など全ての方にとって使いやすい、利用しやすいタクシーを市内に普及させるということがまず必要であると考えて実施に至っております。ただ、目的としましては、先ほどのお話もしたとおりオリンピックの自転車の競技の会場とかにもなりますので、外国人も含めて利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの普及が必要であらうというふうに考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この事業の発生源としては、行政側が独自に考えて始まったということの理解でいいですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほど市内業者での製造があるというお話もありましたけれども、製造元との事前のお話し合いなどはされているのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 しておりません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、実際に、今度はタクシー業者のほうです。市内にも数社ありますけれども、そちらとの事前のお話はされているのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 ユニバーサルデザインタクシーの今後の購入というものの意向調査といいますか、電話での意向調査ですが、その辺につきましてはさせていただきます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） これ国にも補助制度がありますけれども、ちょっと国の補助制度の内容を教えてください。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 国のほうは、公共交通の機関の中で補助を出すような形にな

ります。市が公共交通計画の中でユニバーサルデザインタクシーの取り組みというものを中に入れて、その関係のものを市が受けるのではなく、事業者のほう国がのほうへ申請をして受けるような形になります。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 金額的な補助の金額か、もしくは割合わかりますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 済みません。今ここではわかりません。公共交通機関の関係になるものですから。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 他市で同じような補助事業を行っているかどうか調査はされていますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 浜松市で実施しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほど高齢者や全ての方に対して乗りやすいタクシーというお話ありましたけれども、今のタクシー事業者、タクシーは高齢者やそういういろんな方が利用しにくいというふうにご理解されていますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 車椅子等の利用が、今の段階では車椅子ごと中には入れるタクシーがありませんので、これは車椅子ごと中には入れますので、その点につきましては非常に使いやすくなっていると思います。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そして、このユニバーサルデザインタクシーですけれども、いろんなメーカーで出されています。特に事業者、メーカーを限った補助制度にされますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのようなことはいたしません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほど市内事業者が製造されているというお話が冒頭にありました。それを踏まえてもどのメーカーでもいいということにされるのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
 暫時休憩でいいですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

13時56分 休憩

13時57分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 今回事業者に対する直接的なものの補助という形なのですが、例えば市民に対してのタクシー助成を促して業者のほうから利益を上げてこういったタクシーを買っていただくというような事業を考えることはなかったですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 そのような考え方はありませんでした。

暫時休憩でいいですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

13時57分 休憩

13時59分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この予算120万円を使って、対市民に対する効果というのはどのように見込んでいますか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 やはり高齢者や障害者の方については、非常に使いやすくなるのではないかと考えております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件はわかりました。

同じく19節の中の移住就業支援交付金の件です。移住に関してはシビックプライド推進室も同じように移住対策をとっておりますが、そことの連携というのはどういうふうになっているのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 そちらとの連携につきましては、この補助金自体が東京圏にお住まいの方が対象となります。ですので、移住フェアとかそういう形で裾野市を東京のほうにPRを市に行く場があるのですけれども、そういう場でこの助成金を皆さんに知ってもらうということはシビックプライド室としての仕事となると思います。そこで紹介された方が産業振興課のほうで助成金を受けて移住をしていただくというような形になります。

○委員（賀茂博美） 暫時休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時00分 休憩

14時01分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この移住就業支援交付金300万円の内訳を伺っていいですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 300万円の内訳なのですけれども、まず移住支度金といいますか、そちらのほうが移住と市内の特定中小企業に就職した場合に100万円というのが補助対象メニューです。市内に移住して起業、自分で事業を興した場合には200万円プラスアルファになって補助をされると、合計300万円というふうな形になります。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 就業をされる企業がある程度特定の企業と冒頭から説明ありましたけれども、何社ぐらいを見込んでいらっしゃる、お願いをしているというのですか、どういうふうにとっていいかわからないのですけれども、何社。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうは、静岡県のほうで運営していますしおおか就職netという支援サービスがあるので、そちらに登録した中小企業が対象となります。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 裾野市では何社ありますか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 本社があるものと、例えば支社といいますか、そういうものがあるものがちょっとありまして、これネットなのですけれども、ネット検索して20件ぐらい出てくるのですが、市内に本社があるのは大体5社ぐらいでした。済みません。ちょっと、ぐらいとしか言いようがないのですけれども。

○委員（賀茂博美） ちょっと暫時休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時03分 休憩

14時05分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

賀茂委員。

- 委員（賀茂博美） 126ページです。デスティネーションキャンペーンの件ですけれども、委託料として30万円計上されています。委託内容をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 今回のこの委託につきましては、ガイド委託となっております。須山浅間神社等を含む観光施設へのガイドというものを打っていくような形になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、委託先をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 ガイド協会を予定しております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） なぜか19節の中に県大型観光キャンペーン推進協議会33市、町部会負担金というのがありますけれども、これデスティネーションキャンペーンの関係ですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） これ具体的に負担金になっていますけれども、どんな事業に対する負担になりますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 デスティネーションキャンペーンの全ての事業になります。テレビコマーシャルからポスター、それから全国への情報発信等含めて、全ての事業に対しての負担金になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 休憩してください。ごめんなさい。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時07分 休憩

14時07分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 127ページの同じく負補交の中です。ちょっと金額小さいですけれども、J A F会費が入っているのです。これはどういうことですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほうは、裾野市がJ A Fとの協定を結んでいる自治

体であるため会費が入っております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 協定を結ぶことで何かメリットがあったのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 昨年度は、夏祭りの関係を J A F の冊子のほうに載せさせていただきます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件わかりました。

ごめんなさい、その上です。自転車を活用したまちづくり全国市町村会負担金、これ新しく入られたのだと思うのですが、この会はどういった会でしょうか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうは、全国の自治体で自転車を活用してまちづくりをしていこうというところが集まった協議会への負担金となります。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 既にどのぐらいの市、町が加入されているような団体になるのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 現在ちょっと増えておりますので、現時点での数字は確認しておりませんので、後日というか、調べて正確にまた……

（「正確じゃなくてもいいんですけど」の声あり）

○産業振興課長 裾野市が入った時点では大体50ぐらいだったのですけれども、ただもっと増えていると思います。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） そして、この会に入った目的は何ですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 やはりオリパラの自転車競技が裾野市で開催されるということでそのレガシーづくりの一環でもありますので、自転車準高地も使いながら発信していくということをしていこうという形になります。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この会に加入することで裾野市の P R であったり、情報をたくさん得られるとか、そういうメリットはかなりあるというふうに見てよろしいですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 そのとおりです。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

- 委員（賀茂博美） その一番下です。スポーツツーリズム推進事業組織交付金の件です。この事業の、これは監査でご指摘いただいたと思うのですが、交付要綱は作成はされましたか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 現在作成中です。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 31年度当初が始まる前には完成できますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 できます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） このスポーツツーリズム事業もサイクリングの関係、それから準高地トレーニングということでスポーツツーリズムと売り出していくという話でした。今回建設のほうで南外周道の舗装工事をします。そこに矢羽根の設置なんかを産業振興のほうから協議をしてみるとか、そういったことはされていますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 しておりません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） サイクリストの誘致をしていくということは、サイクリングロードの設定というのももちろん必要になると思うのですが、せっかく舗装工事等合わせてやるときにそういったある程度コースに限ってはそういう協力をしていただくといいと思いますが、いかがですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 オリパラ関係の矢羽根の設置等の協議会につきましては、建設管理課長のほうで出席してもらっておりますので、県と連携して進めていただいただけると考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 済みません。最後もう一点、129ページです。キャンプ場の管理費の件なのですが、キャンプ場が……
(「済みません。キャンプ場はうちではないです。

生涯学

習です」の声あり)

- 委員長（井出 悟） 取り消しでいいですね。
- 委員（賀茂博美） 先ほどの取り消します。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 123ページの三世代同居支援補助金でございます。移住定

住の促進という観点で新たなこの事業を創設して取り組むということでございますけれども、従来の裾野市住宅建設等促進事業補助金ということで、本来でいけばこれにプラスアルファで取り組むことによってさらに幅が広がる、それで移住定住がさらに促進できるというのが本来の姿ではないかと思うのですけれども、廃止した原因というか、新設に至った原因についてお伺いしたいと思います。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 住宅建設等促進助成事業につきましては、リーマンショック後に市内の産業活性化のために新しく始めた事業です。当初3年を予定しておりましたが、昨年度まで引き続き実施しておりました。今回のこの3世代同居につきましては、新たに子育ての支援をしていくというようなところの打ち出しをするためにこちらに変えたということと、前回の住宅建設等促進助成事業というのは、リーマンショック後に近隣市、町で始めたのですけれども、今実際にやっているのは裾野市だけでももう既に、要は役目を終えたといえますか、そういうような考え方を持っておまして、3世代というところの新しい支援を始めることでまた新たな活性化をしていこうというふうに考えております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 3世代ということは、いずれにしても今現在裾野市に親御さんが住んでおられてということで、何か井の中の蛙的な発想しか私には浮かんでこないのですけれども、外から積極的に新たな、要するに税金を納めてくれる方をどんどん裾野市に来てもらうという観点からは、やはりちょっと狭まっていってしまうのではないかということが考えられるのですけれども、そこでお伺いしますけれども、今までの、今年度までの事業について大体年に何件ぐらいの申請があったかということで、平成28年から30年まででちょっと補助件数を教えてもらいたいと思います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時15分 休憩

14時15分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

産業振興課長。

○産業振興課長 28年度と、30年度も終わっておりませんので、28、29だけでちょっと済みません。28年度が37件、済みません。28年度は全部で新築が23件、リフォームが25件の合計48件、29年度が新築が19件、リフォームが25件の44件です。

- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） 今年度の件数はわからないのですけれども、かなりの件数があるわけです。そういう中でやはりそれをなくしてしまうということは、要するに入ってくる方が狭まってしまうわけですので、これがいいか悪いかというと、私は残すべきだったのかなというふうに思います。そこで伺います。将来的に復活させる、要するに従前の補助制度復活させる可能性についてお伺いします。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 将来的なことはどうなるかお話しはできませんけれども、それに関しましてはその時勢でのさまざまな理由によって復活する可能性もないわけではないと思っております。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 委員（土屋主久） この新しい3世代同居について、長泉町さんと全く同じ、上限も100万という形ですよ。上限100万で長泉と一緒にという、多分条件的には裾野市のほうが非常に悪い、金額はそれよりもさらに、例えば10万でも上乘せしないと多分飛びついてこないというのがあるのです。だから、やっぱりその辺も踏まえて、これは要望ですけれども、今後検討されたらいかがかと思います。
- 以上です。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 125ページの観光費のところでお伺いします。県内、県外の旅費とも減額となっておりますが、この観光費の旅費というのは、先ほど課長ほかのところでの説明がありました、東京圏でのPRとか、そういうようなものは入っているのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 入っております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そうしますと、県外でいきますと22万6,000円は、今年度は42万2,000円、約半額なのです。そうすると、PRとか、そういうようなものの回数をかなり減らすという、そういうことでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのようなことは考えておりません。
- 暫時休憩でよろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時18分 休憩

14時20分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そのところは了解です。
そうしますと、127ページの、先ほど委員からもありましたスポーツツーリズム推進事業組織交付金でございますが、説明があったならば私が聞き逃しているのですが、どのような組織というか、構成をお聞かせ願えますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 構成につきましては、スポーツ協会、観光協会、旅館組合、商工会、あとバス事業者等が参加した協議会をつくっております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そうすると、構成員というかそれはわかりました。そうすると、交付金435万で今言われた構成員のところに、構成員というか協議会、そこへ出す、どのようなものを目的としてやりますか。具体的なものがありますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 来年度につきましては、準高地のトレーニング合宿の誘致及び市民スポーツのツーリズムと絡めたイベント等を考えております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そのイベントの内容なんかは発表できますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 これから申請になりますので、まだ考えてはおりません。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 歳入の24ページのところの総務管理費のところでは地方創生推進交付金の95万がここでしたっけ。
（「950万」の声あり）
- 委員（小林 俊） 950万ここでしたっけ。これ緑化とか何とか言いました、プラットフォームか。と、その7目の商工費国庫補助金、地方創生推進交付金150万、これ出元はどこなのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 国になります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 国の何省。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 内閣府です。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時23分 休憩

14時23分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） 歳入28ページの7目商工費補助金の地方消費者行政活性化交付金のところで女性の何たらかんとらと迷惑電話と言いましたっけ、ちょっとそのところもう一回説明してください。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうは、消費生活センターの相談員さんの関係と、あとは迷惑電話の着信拒否の装置の関係になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 内訳わかりますか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうも先ほどお話ししたとおりに、これ昨年度の実績を上げておりました、今年度についてはわからないような状態です。昨年度につきましても算出につきましては、県のほうで出してくれますので、どのように充てられているのかというのはわからないような状況です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 迷惑電話着信拒否装置、それ機械ですよ。を貸してくれるのでしたっけ。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうは購入になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） それの実績というのはわかるのですか。30年度とか29年度とか。30年か。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時25分 休憩

14時25分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

産業振興課長。

○産業振興課長 平成30年度は14台になります。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時25分 休憩

14時25分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
小林委員。
- 委員（小林 俊） 確認で30ページ、市有建物等貸付料（中央公園）、これは観光協会のあの建物のことですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 36ページの商工費雑入の観光施設光熱水費、この12万はやっぱり中央公園という話でしたが、それも同じところですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 これは茶屋のほうになります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 観光協会のほうは、光熱水費はどうなっているのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 観光協会が直接支払っております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 124ページ、商工振興費の18節備品購入の岩波駅の掲示板、これどんなものになるのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 よく見る普通の掲示板で、1間ぐらいの大きさのもので立てるような形になります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それにポスターや何か張ったり取りかえたりするのは誰がやるのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 それにつきましては、いわなみキッチンの職員と観光協会がそれぞれ来まして、張ります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 風雨はしのげるものなのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 場所は、今の岩波駅の入り口のところになるのですが、そこが要は壁が全部つくられて新しく出入りが隣に今つくっているのですが、そちら側から入っていったときに奥のところ、建物の中につくるような形になりますので、風雨はしのげます。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） ということは、乗客が対象ということですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） あそこかなり迎えとかで、送迎とかで人もうろうろするし、だけれども外にはないの。外に向けてはつくらない。外からは見えない。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 おっしゃるとおり、乗客と一般市民の方が使えるようなスペースになっております。
- 委員（小林 俊） 見えるということ。
- 産業振興課主幹 はい。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その下の移住就業支援交付金の東京圏の定義ってあるのですか。

（「ちょっと暫時休憩いいですか」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

14時29分 休憩

14時29分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
産業振興課長。
- 産業振興課長 23区在住者、または23区への通勤者になります。あと、東京圏というものは、東京圏に住まわれている方なのですけれども、その東京圏というのが東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県になります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） ということは、23区は余り意味はなくて、その4都県に住んでいればいいという、そういうことですね。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その縛りは、県のしずおか就職netに登録する云々、そういったところから来ているのですか、それとも誰がこんな縛りつけたの。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時30分 休憩

14時30分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうは、国と県と市、町が連携して行う事業になっております。実は今日その説明会がありまして、その詳細についてはきょう以降でないとわからなくて、今担当者のほうが出かけていまして……

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時31分 休憩

14時32分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

産業振興課長。

○産業振興課長 詳細は不明です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） これで就職をしなければ、しかもなおかつその決められた企業に就職しなければというのは、財源措置としてあるからそれを利用するのだけれども、これはいいですと、でもほかから来てくれた該当しない人たちには何かサービスが、支援があるのかというのはどうなのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 産業振興課の業務の中ではありません。移住定住のほうでどのようなサービスが今出ているのかはちょっとわかりませんが……

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） ユニバーサルデザインタクシーは、市内タクシー業者さんは合計で何台ぐらい欲しいような様子なのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 それぞれ2台から3台ということは伺っています。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 市内業者って三島のところにあるのも入るのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 市内に営業所を持っているところというふうな形になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 福祉有料運送というのがありますね。あそこは、もともとこういうこと考えているから対象ではないと考えていいのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 今回につきましては、タクシー事業者というふうな限定をし

ておりまして、福祉系の、今どのような補助金があるのかというのは、済みません。私が理解していないのですけれども、そちらのほうは考えておりません。

○委員長（井出 悟） 休憩します。

14時34分 休憩

14時44分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） 移住就業支援交付金ですけれども、このしずおか就職netに登録している20件の市内の企業というのは、物づくりの会社ばかり、物づくりというか、どんな会社なのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 物づくりばかりではなくて、非常に多分野にあります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 農業法人なんかはないですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 私の見た範囲ではなかったです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 企業誘致費の企業立地促進事業費補助金2億3,900万、これ具体的にはどこでしたっけ。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長代理。

○産業振興課長代理 今里工業用地に立地いたしました株式会社オムニカでございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 1社だけでしたね。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長代理。

○産業振興課長代理 補助金に関しましては2社、先ほどの企業ともう一社ございますが、今エントリーしている状況なので。

○委員（小林 俊） では、まだ。

○産業振興課長代理 はい。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 2社で内訳って半々ぐらいですか、それとも何か大分違いますか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長代理。

○産業振興課長代理 今里工業用地に誘致されている企業さんにつきまして

は、2億40万円、もう一社エントリーしている企業さんのほうで3,880万円でございます。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時45分 休憩

14時45分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） 次の次のページの127ページのこの19節負補交の説明のあたりで、127ページの上のあたりでFFPというのさっきちらっと出てきたのだけれども、それってどんなものでしたっけ。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 FFPと申しまして、フットボール・フューチャー・プログラムという日本サッカー協会が全国の小学生を対象にした研修会です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） フットボール・フューチャー・プログラム。

○産業振興課長 そうです。フットボール・フューチャー・プログラムです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） それがこの負補交の項目のどこに対応するのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 それが昨年度あったものがなくなったということです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） すその夏まつり補助金300万円減ですけども、その理由づけはどんなのになっているのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 実行委員会で積み立てていたお金を一般会計に繰り入れるので、その分の補助金がなくなるという形になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 裾野市一般会計予算に繰り入れるということですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 実行委員会の一般会計予算に繰り入れるという……

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時48分 休憩

14時48分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

- 委員（小林 俊） 夏まつりの費用の、観光協会で工面をするというか、運営をする運営費は総額で幾らぐらいなのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 約3,600万円です。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 観光協会はこの1,400万のほかにも何かどこかから補助金とかあるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 有料席の販売、栈敷等の販売と、協賛社からの寄附金等があります。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 部長の総括説明の中で工業用地調査、今年度平成30年度の工業用地調査に基づいてみたいなお話があったのですけれども、その結果みたいなものってもう出ているのでしたっけ。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 まだ結果は出てきておりません。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） そしたら、この30年度の調査から31年度に向けての動き、少し説明いただければと思います。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 結果が出てきまして、それを庁内で検討し、その後どのような形をとっていくのかというのをその時点で決定していくような形になります。

ちょっと暫時休憩でいいですか。

- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

14時50分 休憩

14時52分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

- 委員（賀茂博美） 済みません。ユニバーサルデザインタクシーの件、ちょっとまだ教えてください。124ページです。先ほど市民の方、それから高齢者の方、車椅子の方の乗りやすさの向上が図られるというお話でしたが、今車椅子の輸送業やっているとところとの調整というのはされましたか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。

- 産業振興課長 していません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） それは特には必要なく、市として車椅子ごと運べるタクシーを市内業者に提供するのに補助をするという部分は、特に市の事業として実際の今やっているところとの調整は必要ないという上での判断ですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 産業部としては、市内の、先ほどお話しした目的を主眼にしておりますので、福祉タクシーというような考え方は取っておりませんので、打ち合わせ等もしていません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、これ1台大体お幾らぐらいするものですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 大体400万ぐらいと伺っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回1台当たり60万の補助としたその根拠は何ですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 このユニバーサルデザインタクシーの前がコンフォートというタクシーがメインで動いていたのですけれども、そこの差額が60万あるということで、その差額を出すというような根拠づけをしております。
 済みません。訂正をお願いします。先ほどの国との補助金と、それから市の補助金を足して同額になるぐらいの話ということで市から60万というふうに聞いております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ということは、国からの60万ということでもいいということですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 前のコンフォートと現在の形で百数十万円違うというふうに聞いておりまして、その差額分が補助金で出るというふうに考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、車体が例えば400万としたら、実質業者はお幾らで購入することになるのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 280万円になるかと思います。済みません。大体です。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 済みません。もう一点だけお願いします。産業プラット

フォームの件です。124ページです。産業連携プラットフォーム運営事業費交付金として2,500万ですが、この財源の内訳をお願いします。

- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 950万円が国からの支援になり、そのほかは単費です。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今までこれ地方創生関係で5年間の国の交付金をいただいてということでしたが、今回は国の補助よりも一般財源が多くなってもこの事業をやっていく必要があるということですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 助成金はここの年が最後になりますので、自立をしていくためにはここで、当初からの予定だったのですけれども、ここで金額を落として自立をさせていくような支援をしていくというふうな考え方を持っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ではこの2,500万円の内訳をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 1,000万がS u s oーb i zになりまして、1,500万がプラットフォームの運営費になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ちなみに、国の950万はどちらについていますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 特にそのような区分けはございません。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 31年度で自立に向けてやっていけそうですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 当然市単分の補助のほうはさせていただきたいと思っておりますが、できる限り自立の方向でいきたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この先になるかもしれませんが、31年度一般財源としてかけていって、その先についてはまだ一般財源を投入していく予定にはなっていますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課主幹。
- 産業振興課主幹 S u s oーb i zを継続してやっていくのであれば、市単分は必要だと考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 127ページで、オリンピック・パラリンピック推進事業で、

報償金に関して講演会をやるようなこと考えていますが、何回ぐらい予定しているのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 1回です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 機運醸成のためにというのは1回でいいのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 裾野市としては1回を考えております。

ちょっと暫時休憩でいいですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時58分 休憩

15時59分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） 子どもたちの分は何かほかにもあるような話、うわさを聞きましたけれども、大人の方は1回だけで、講演会を1回やるということだいいと思っっているのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 それ以外に展示会とか、ほかのイベントなんかも計画をしておりますので、講演会というような、裾野市が主催とするものについては1回というふうな形で考えております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 次のページの13節委託料に展示会委託とありますけれども、これはどんなものをどんな回数やるのですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 中身の詳細についてはまだ詰めておりませんが、夏過ぎぐらいに1度オリパラの機運醸成となるような展示会のほうを行っていきたいと考えております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 1回ですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 1回ですが、期間を設けて行います。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） そこの下にある自転車ロードレース普及イベントというのは場所はどこでやるのでしょうか。

- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほうもまだ未確定です。文化センターで行うのか、またはほかのイベントと並行して行っていくのかというのを今検討しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） オリンピック・パラリンピック推進事業では講演会があつて、子どもたちの学校教育に絡めたのはあるかもしれないのですが、それとこの展示会があつて、自転車ロードレース普及イベントがあつて、それだけ。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 2市1町で負担金を80万払うような形になっておりますが、こちらのほうは小学生を全日本自転車選手権への招待も含まれております。本物に触れ合うというところを実施していきます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 今の競技会は、富士スピードウェイって言いましたっけ。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それは市外でやるものだから、生活の近くでもって何か機運が高まってきたなというふうにならないような気がするのだけれども、大丈夫かな。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 実際のオリパラのゴールが富士スピードウェイになりますので、そちらを体感してもらおうという意味では大変貴重だと考えております。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時03分 休憩

15時04分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
委員の質疑はよろしいですか。
(「はい」の声あり)
- 委員長（井出 悟） 委員の質疑を終わります。
分科会外委員の質疑をお受けいたします。
内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） それでは、お願いいたします。
128ページの消費生活センター費なのですが、この賃金、今相談員さん3人いると思いますけれども、これ3人分でしょうか。

- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 相談員は2人です。2人分になります。
- 委員長（井出 悟） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 相談員さん2人と、三、四年前から再任用の職員が入っていると思いますが、そちらの賃金はどこにあるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そちらのほうは、職員のほうの賃金に含まれております。
- 委員長（井出 悟） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） その再任用の人が入るときに現在の相談員さんが高齢化しているから後進を育てると、そして事務職として入ったのですが、相談員資格を取って専門家になってもらおうという話で入ったのですが、現在その辺はどうなっていますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 その辺につきましては人事と相談をしております。
- 委員長（井出 悟） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） その3人は全員有資格者ということによろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 相談員2名は有資格者ですが、再任用の職員につきましては、資格を持っておりません。
- 委員長（井出 悟） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 相談の後進を育てるという目的で三、四年前始まったと思います。そうすると、資格を取っていただくための資格受験費用とかを持ってあげるとか、そういうことはお考えではないのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのような予算は、とりあえず31年度には押さえておりません。
- 委員長（井出 悟） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） そうすると、相談員さんの後継者の育成というのはどのように考えていらっしゃいますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 相談員さんの後継者というものは今後育てていかなければならない、もう近々に育てていかなければならないというふうには考えております。
- 委員長（井出 悟） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） ぜひそこは真剣に考えていただきたいです。

それと、もう一つですけれども、今相談時間が、私の知っている限り、ちょっと勘違いだったら済みません。10時から12時と、お昼休み挟んで1時から4時というふうに私は理解しているのですが、そのお昼休みというのは相談に一番来やすい市民の人とか、来やすい、仕事がお昼休みだからとか、そういう一番相談問受けやすい時間帯なのですから、ここを広げると、時間帯を枠を広げるということはお考えないですか。

- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのようなことは今は考えておりません。
- 委員長（井出 悟） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 真剣に考えていただきたいと思います。被害とかいろいろと広がっているので、ぜひ考えていただけるように要望して終わります。

以上です。

- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 済みません。伺います。126ページになります。工事請負費のところでは借楽園トイレ改修工事とありますが、これはどのような改修をするのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほうは、市長振興協会のユニバーサルデザイン化の補助金をもらいまして、洋式化と手すり等を設置する工事をいたします。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 場所については移動はないということですね。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） 公園等、その下改修工事、それについては何をするのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほうは、緊急性、または壊れたりとか、そういうものを工事、改修するためのものです。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） これから先にそういうことが起きたらということではよろしいでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。

- 分科会外委員（岩井良枝） その上になります。遊具の安全点検委託がありますが、これはどちらの遊具の安全点検でしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 産業振興課で管理している公園等の遊具全てになります。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外委員（岩井良枝） とりあえず場所を教えてくださいいいですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 景ヶ島、それから中央公園と偕楽園になるのですが、中央公園につきましては、本年度中に一部撤去する予定になっておりますので、少し数が減る、または遊具等がなくなる可能性があります。
- 委員長（井出 悟） 岩井委員。
- 分科会外議員（岩井良枝） 済みません。今景ヶ島と言われたのですが、あの景ヶ島の駐車場のところにある遊具、それは撤去はしないでこれからも使っていくということでもいいのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 済みません、お願いします。
128ページの、先ほども関連の質疑がありましたが、シティードレッシングのほうなのですけれども、こちらの規模等々決まっていますことがありましたら、教えてくださいよろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時10分 休憩

15時10分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
産業振興課長。
- 産業振興課長 約100万をかけていくような形になるのですけれども、済みません。違いました。70万ぐらいをかけていくような形になるのですが、テナント、それからガラスなんかには張る吸盤ポールみたいのがあるのですけれども、そういうようなもので統一感を持って街なかをシティードレッシングしていくような形になります。
- 委員長（井出 悟） 増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 基本的には公共施設に設置していくような形でしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 こちらのほうは、現在駅前の商店街とか、駅前とかをちょっといろいろ、岩波駅も裾野駅もそういうようなところを考えております。

○委員長（井出 悟） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） 70万で、あとはノベルティーということもありましたけれども、ノベルティーのほうはどういったこと、残りの金額はもうノベルティーということによろしいですか。

（「ちょっと暫時休憩」の声あり）

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時12分 休憩

15時12分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

産業振興課長。

○産業振興課長 一般消耗品の中で大体14万ぐらいが一般事務費で、あとそれ以外にシティードレッシングを今のお話の金額除いた分がノベルティー、啓発分になります。

○委員長（井出 悟） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） 済みません。細かいところで申しわけないです。大体いつごろから配布をしていかれる予定ですか、こういったものは。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 できるだけ速やかに早くやりたいのですが、時期というものは設定しておりません。

○委員長（井出 悟） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） 別のところですよ。127ページ、先ほど課長のお話の中で夏まつりのほうの補助金、こちらが今年度積み立てのほうを団体さんのほうの一般会計に繰り入れがあったので、その部分は補助できないということで減額するというふうなことで、ご発言の中で今年度はというふうなことがあったのですけれども、来年度以降はまた増額、31年度当初予算よりも増額されるというふうな認識でよろしいですか。

○委員長（井出 悟） 産業振興課長。

○産業振興課長 そのとおりです。

○委員長（井出 悟） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） そうすると、夏まつりの補助事業も事業の見直しの対象で2021年までに200万減額ということでしたが、こちらは減額された状態で、あとの部分が戻るというふうな、そういった認識でよろしいでしょうか。

- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 そのとおりです。
- 委員長（井出 悟） 土屋委員。
- 分科会外委員（土屋秀明） 質疑というよりもちょっと要望なのですけれども、先ほど小林委員と課長との質疑、オリンピック関係ですけれども、中で課長は1年間等のスケジュールが頭の中に入っているからというふうに聞こえるのです。議会側としては、オリンピックのこういうバッジも配付するように言ってみなをつけるようにとしている中で、オリンピックに対してどのような年間の取り組み、スケジュールをするかというのが非常に、今日も含めてわからないものですから、4月から推進室でしたか、室もできる話ですから、1年間を通して市民に対してとか子どもたちだとか、あるいは団体に対してこういうような活動をして普及していくのだというようなこととか、あるいは道路の舗装を建設管理課のほうですとか、今日も道路際の伐採だとか間伐の事業等の取り組みもありますから、そういうようなことをペーパーにまとめて議会側にわかるように、要するに市民に対して説明、自分たちが、議員ができるような資料を欲しいのですけれども、それが予算の審議ですから、それに限らないのですけれども、少なくとも新年度になって推進室ができたなら早急にそういうことをして、議会側に情報を提供してほしいのが議長としての要望です。

以上です。

- 委員長（井出 悟） ということで。
暫時休憩します。

15時16分 休憩

15時17分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
勝又豊委員。
- 分科会外委員（勝又 豊） 127ページ、自転車を活用したまちづくり連携全国ということで、先ほどレガシーづくりにもなっていくということをおっしゃったのですけれども、ほかのまちとか見ると駅に貸し自転車等置いたりしてまちを走れるような、そんなところもあるのですけれども、そんなこともこれから検討していくということで入るのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 この会は、そういうような会ではないのですけれども、ただ民間事業者さんがそのような形で検討があるようであれば、当然協力はしていきたいなというふうには考えております。

- 委員長（井出 悟） 勝又豊委員。
- 分科会外委員（勝又 豊） 先ほど入ったときに50ぐらいの市、町がいて、増えているということなのですけれども、そういった50の町というのは、ロードレースとは関係なくて入っているかと思うのですけれども、その辺市、町の情勢というのは、というか、そういうところが自転車のまちづくりでもって活用しているのではないかなと思ったのですけれども、そういうことでちょっと質問させてもらったのですけれども、その辺どうなのでしょう。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 議員のおっしゃるとおりに今自転車の普及が大変進んでおりまして、ここ5年で自転車の愛好家は6倍に増えている。あと、アニメの影響が非常に大きいということで、今全国で自転車に興味を持っている方がどんどん増えてきている状態です。その点で、各市、町がこのような協議会をつくって、地域活性化につなげていきたいというようなところにつながっております。議員のおっしゃるとおりです。
- 委員長（井出 悟） 杉山委員。
- 分科会外委員（杉山茂規） 済みません。お願いします。
- 127ページ、すその夏まつりの補助金の関係なのですが、ちょっとごめんなさい。先ほど聞き漏らしたら済みません。積み立てをされていたということで、その積み立てを一般会計のほうに戻しましたよというお話のご説明があったと思います。その積み立てというのは何に対する積み立てだったのかお願いいたします。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 雨天等で中止した場合の補償金の積み立てというようなものになります。
- 委員長（井出 悟） 杉山委員。
- 分科会外委員（杉山茂規） ということで、一般会計でそれを入れることによって、一般会計自身の予算は増えるわけなのですが……
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時20分 休憩

15時20分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
- 分科会外委員（杉山茂規） 積み立てを夏まつりのほうの一般会計に繰り入れるということで、資金の全体枠自身は増えるかと思うのですが、多分雨天に対してのものということは本来入ってはいっても使わない性質のものだと思うのですけれども、今回こういうふうには繰り入れをする、市の予算が減額さ

れるということで、影響、問題はないでしょうか。

- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 雨天等の対応につきましては、保険に全額入るということで、影響はないと考えております。
- 委員長（井出 悟） 浅田委員。
- 分科会外委員（浅田基行） 済みません。確認です。127ページのところで、ウイメンズセブンシリーズ大会の負担金、これ昨年よりかなり予算が上がっているのですけれども、内容を教えていただけますか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほうは、女子7人制ラグビー大会を裾野市の運動公園で実施しておりまして、裾野市と御殿場市及び各関係団体とで実行委員会をつくっております。そちらのほうへの負担金となりますが、昨年まで市町振興協会からフレンドシップ事業の補助金をいただいておりますが、31年度からもらえないというような状態になりましたので、こちらのほう負担をふやしております。
- 委員長（井出 悟） 浅田委員。
- 分科会外委員（浅田基行） 済みません。そのフレンド、対象からもらえなかったという理由はあるのですか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほう年数が決まっております、今年までというような形になっておりましたので、3年いただきました。4年目以降はいただけないということで、その分単費をふやしております。
- 委員長（井出 悟） 浅田委員。
- 分科会外委員（浅田基行） その対象になった金額というのが昨年の金額の差額分全てでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 3分の2助成というような形になりますので、昨年が80万でしたので、3分の1、済みません……
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時23分 休憩

15時23分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
産業振興課長。
- 産業振興課長 昨年度まで80万円で、補助金を160万円もらってました。240万円の予算で行っていましたが、今年度につきましては、大会等の見直し

をし210万円にしております。

- 委員長（井出 悟） 浅田委員。
- 分科会外委員（浅田基行） わかりました。冒頭で部長の説明でラグビーは合宿の誘致も力を入れるというお話ありましたが、来年度、31年度というのはその辺の予算という計上されているのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほうは、準高地トレーニングというようなくくりの中で行っております。特にラグビーに限定してというような予算立てはしておりません。
- 委員長（井出 悟） 浅田委員。
- 分科会外委員（浅田基行） ラグビーという限定ではないと何か効果があるのででしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 ちょっと暫時休憩でいいですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時26分 休憩

15時26分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
産業振興課長。
- 産業振興課長 このウイメンズセブンズシリーズは、女子7人制ラグビーで東京オリンピックの正式競技になります。こちらにつきましては、日本代表チームの誘致というものを今日本協会のほうに働きかけをしております。
- 委員長（井出 悟） 浅田委員。
- 分科会外委員（浅田基行） あと、最後要望です。議長がおっしゃられましたとおり、これからオリンピックというので情報公開的なので情報いただければと思います。ありがとうございました。
- 委員長（井出 悟） 勝又利裕委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） 済みません。1点だけ。123ページの3世代の関係ですけれども、補助要件の中に商工会員との契約ということで、これ限定をしているのですけれども、ここに至った経緯を教えてください。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 こちらのほうは、市内業者の育成というものを考えておりまして、商工会に会員登録している事業者に限定をさせようというふうな形になっております。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。

- 分科会外委員（勝又利裕） 移住定住も含まれているというような話をちょっと最初にしたもので、その移住してくる人にとって、商工会員に限定してしまうとなかなか難しいのかなというのがあって、そこら辺の議論をどういうふうにしたのかなというところを聞きたい。お願いします。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 移住してきて裾野市に新しくうちを建てる、または親世代と一緒に住んで増改築をするというのがこの3世代同居の補助要件になってくるのですけれども、裾野市に家を建てるということで裾野市内の事業者を使ってもらいたいと、そのときには移住者についてはシビックプライド室とまた連携をさせていただいて、3世代同居のこういうような支援が移住者にはあるということをお伝えしていきたいなというふうに考えております。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） 増改築はそれはわかるのですけれども、新築をする場合ハウスメーカーって結構あるわけですから、そういう議論は庁内でしなかったのかなというところを聞きたい。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 ハウスメーカーさんにつきましては、トヨタホームさんについては商工会の会員さんになりますけれども、その辺についてはまちづくり課ともいろいろ議論をした中で限定をさせていただいております。
- 委員長（井出 悟） 勝又豊委員。
- 分科会外委員（勝又 豊） 3世代同居の補助事業で、ちょっと確認したいのですけれども、中古物件を購入して3世代でほかのまちから入ってくるという場合は対象になるのでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 産業振興課長。
- 産業振興課長 商工会の会員さんの不動産事業者と契約をした場合には対象となります。
- 分科会外委員（勝又 豊） 済みません。暫時休憩。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩ですか。
- 分科会外委員（勝又 豊） 暫時休憩お願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

15時30分 休憩

15時30分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。

その他質疑はよろしいですか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（井出 悟） 分科会外委員の質疑を終わります。
以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより、第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ユニバーサルデザインタクシーの件について、今市民に対していろんな行財政構造改革でサービスが削減されている中で、事業所に対して補助を行うということが適正かどうかということで少しまだ自分の中で100%賛成はできない気持ちでいますので、ちょっと検討する時間を持ちたいと思っています。
- 委員長（井出 悟） そのほかございますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見はありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で産業振興課の質疑を終わります。
以上で産業部関係の議案の質疑を終わります。
以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもって散会いたします。
15時32分 散会

9時00分 開議

○委員長（井出 悟） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりであります。

審査の方法は先日と同様に当局の説明を求めてから質疑に入ります。

発言の際には、録音の関係上、必ずマイクをご使用願います。

環境市民部

○委員長（井出 悟） ただいまから環境市民部上下水道経営課及び上下水道工務課の審査に入ります。

環境市民部長の総括説明を求めます。

総括説明は終わりました。

上下水道経営課、上下水道工務課（第1号）

○委員長（井出 悟） 第1号議案のうちの関係部分、第6号議案、第8号議案及び第9号議案の審査になります。

初めに、第1号議案のうちの関係部分の審査を行います。

説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 質疑を割ります。

以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

小林委員。

○委員（小林 俊） 一般会計全体をどういうふうにするかは別として、この下水道費の繰り出しに関しては意見があります。

○委員長（井出 悟） そのほかご意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 意見を終わります。

分科会外委員の意見はございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(井出 悟) 意見を終わります。

以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

上下水道経営課、上下水道工務課(第6号)

○委員長(井出 悟) 次に、第6号議案の審査になります。

説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありますか。

土屋委員。

○委員(土屋主久) 15節の工事請負費です。これについては、延長はどのぐらいになるのでしょうか。

○委員長(井出 悟) 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 約330メートル程度になります。

○委員長(井出 悟) 小林委員。

○委員(小林 俊) 300ページの水道使用料、これ何口ぐらいなのですか。

○委員長(井出 悟) 水道事業管理監。

○水道事業管理監 1,005水栓。

○委員(小林 俊) 1,005。

○水道事業管理監 1,005水栓といいます。

○委員長(井出 悟) 小林委員。

○委員(小林 俊) 3款の分担金、加入分担金は、これはどういうふうに見積もっているのですか。

○委員長(井出 悟) 水道事業管理監。

○水道事業管理監 これは、通常の水道の加入分担金と同じ性質のものでございます。

○委員長(井出 悟) 暫時休憩します。

9時15分 休憩

9時16分 再開

○委員長(井出 悟) 再開します。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 済みません、ただいま資料が見当たらないので、後ほど回答させていただきます。

○委員長(井出 悟) 暫時休憩します。

9時17分 休憩

9時17分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） さっきの1款の水道使用料1,005水栓は、これはふえているのですか、減っているのですか、余り変わらないのですか。

○水道事業管理監 人口は、微増ながら28年から29年度、統計上では10名ふえております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） その結果、この10名ふえて、栓数もふえているのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 栓数もふえております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 何栓ふえているのですか。

○水道事業管理監 水栓数は1,005です。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時18分 休憩

9時18分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 栓数は、28年度が1,002件、29年度が1,005件となっております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 先ほど302ページの工事請負費約330メートルという話でしたけれども、全長はどれぐらいになるのですか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 全体で今後直していくものは約6キロぐらいになります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 6キロというのは、漏水があるところが6キロということですか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 管を直していく必要のある水道管が6キロメートルということで、漏水がしているということではございません。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時19分 休憩

9時19分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
小林委員。
- 委員（小林 俊） 6キロ、300メートルだと20年という計算になるのですが、もっと早くやっけてしまわないと有収率が上がらないのではないかなと思うけれども、どうですか。
- 委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。
- 上下水道工務課長 そのとおりです。ただ、予算の関係というか、できる範囲の中で行わせてもらっているというところがございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 有収率は、裾野市のこの会計にとっては余り痛手がないからいいということになるのですか。
- 委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。
- 上下水道工務課長 そのようなことは考えてはございません。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 19節負担金のところのさっきの人件費のところ、もうちょっと詳しく説明してください。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 説明させていただきます。19節の負担金は、水道事業会計へ支出する人件費負担金の300万円、簡易水道協会負担金の1万2,000円を計上しておりますという説明をいたしました。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 人件費のほうは、どういうふうな割合だとか、どこに働いている人だとか、そういう意味です、聞いているのは。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、職員1名分の2分の1という計算で人事と協議して出しております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その負担する根拠はどういうことですかということです。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、上水道事業と十里木簡水の両方を兼務するというところで2分の1負担ということになっております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） それでは、今の小林委員の関連でお聞かせください。
管路更新事業が1,200万円とか、先ほどの有収率のところですけども、平

成29年度が19.23%、そしてこれだけ繰り出しをして有収率は大体どのくらいアップすると見込んでおりますか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 おっしゃるとおり、平成28年度が19.23%、29年度が23.32%になっております。それで、今年度漏水調査を全域で行いまして、32カ所の漏水箇所が……。失礼しました、31カ所の漏水箇所が判明しております。その判明しているところが事業の当初に行いましたポリエチレン管の接合部分が多く含まれておりますので、今それを順次直しております。その順次直した中で、一時期大分有収率が上がったということがございますもので、具体的にどれくらいになるかということとはわかりませんが、かなり効果があるものと期待しております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。先ほどの関連でお聞きしますが、漏水の調査を昨年やられて、先ほど31カ所の漏水箇所があったということなのですが、これはもう全て漏水対策は終了したということでしょうか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 今年度漏水調査は行わせていただきまして、やっている箇所は三、四カ所ですけれども、漏水の多いところを重点的にやらせてもらっております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 今回の工事費の中にその工事、漏水対策というか、漏水用の工事も入っていますか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 入っております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） そして、今回十里木簡水の中で、地方債を組んでいらっしゃいます。ここ数年地方債組んでなかったと思うのですが、これは先ほどご説明あった公営企業会計に向けての委託のための起債ということでしょうか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 そのとおりでございます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ほぼ100%起債なのですけれども、これは起債に充当できる率というのは、特にはないのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 100%でございます。

- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） わかりました。では、この13節委託料の今言いましたけれども、企業会計に向けての委託の内容を教えてくださいか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 まず、資産台帳の整備がまず第一にございます。その後、どのように移行していくか、改めまして今の予算を組みかえなければ、企業会計に組みかえるという、そういう作業を行います。一番のネックは、先ほども申したとおり資産台帳の整備がなかなかはかどっておらないということで、そちらのほうが重点項目となります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今年度の適用化委託を実施して資産の台帳の整備が終了できれば、翌年からは企業会計には移行できるということによろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） この13節委託料の地方公営企業会計適用化委託の委託先はどんなところになるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 委託先は、そういうコンサルタント系の会社になるものと考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） いつごろ出しますか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 年度当初に発注する予定でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 入札ですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 入札を考えております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ごめんなさい。今資産の台帳の整備を行う委託ということだったのですけれども、これエフ・ジェイとの管理契約の中である程度の資産台帳というのはお持ちではないのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 この資産台帳が数量が合わないとか、実際にもうございまして、名義がどこになっているかわからないものも多々あります。それで、長い間にですね……

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時27分 休憩

9時28分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 資産台帳は不明の点がございまして、かなり時間を要するものと考えております。

○委員（賀茂博美） 休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時28分 休憩

9時30分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

そのほか質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 委員の質疑を終了いたします。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会委員の質疑を終わります。

答弁漏れがありますか。

休憩します。

9時30分 休憩

9時30分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 先ほどの小林委員の質問でありました分担金の単価でございますけれども、見込みとしてですが、1件5万円で6件分を見込んでいます。プラス消費税込みということです。

以上です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 6件分見込んでいるということは、6栓ぐらいふえるのではないかと見込んでいるという、そういう解釈ですか。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 年間の平均を見ながら、大体これぐらいだろうとの

推測でやっています。

○委員長（井出 悟） 以上で第6号議案に関する質疑を終わります。

これより第6号議案についての意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見はございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で第6号議案に関する意見を終わります。

上下水道経営課、上下水道工務課（第8号）

○委員長（井出 悟） 次に、第8号議案の審査になります。

説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） それでは済みません、339ページの営業費用の中の22節動力費589万円、電気料金になっておりますが、これに対して今後これを減らしていこうという、そういうようなお考えはありますでしょうか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 まず、動力費を減らすのに一番効果的なのは有収率を上げることだと思っておりますので、漏水をなるべく抑止するように頑張っていきたいと、そのように考えております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 私は、新しい資料が余りなくて、平成何年だっけか、20年の裾野市の地域水道ビジョン、これによりますとこういうようなところでソーラーとか小水力、そういうようなものを考えていかなければならないというようなことが記載されているのですが、そういうようなものは考えていないですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 小水力発電については検討いたしましたが、設備投資に利益がとてと及ばないということで、余りにも水道施設の規模が分散して小さ過ぎるといようなことで、現在は検討はやめております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） では、太陽光は。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 太陽光につきましては、場内にいろんな管路が埋設されておりますので、その上に置くのはちょっとまずいのではないかとというような

結論に至っております。

- 委員（二ノ宮善明） では、検討してくれたわけですね。
- 水道事業管理監 はい。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いします。初めに、水道料金の件です。337ページになりますけれども、31年度は消費税の増税が予定をされていますが、今回の予算に消費税は反映されていますか。
- 委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。
- 上下水道経営課長代理 31年度の10月から予定されているということで承知しておりますので、こちらの消費税のほうも反映させたものとなっております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 具体的に水道料金に消費税が今までの8%から10月以降は10%の料金で計算をされた予算額ということでよろしいのですか。
- 委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。
- 上下水道経営課長代理 そのようにございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 一番最初に部長がご説明いただきましたけれども、水道事業審議会のほうが予定されているということで、水道料金の見直しも考えられているということですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 今の料金が適正で、この後何続くかというような検証を行います。ですから、水道料金は上げることが前提ではなくて、今のままでどのようにしたら維持していけるかというような検討をいたします。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） わかりました。339ページのところに委託料で配水タンクの清掃がありますけれども、こちらはどこになりますか。
- 上下水道工務課長 暫時休憩願います。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時53分 休憩

9時54分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
上下水道工務課長。
- 上下水道工務課長 下和田の第2配水所と須山の配水場になります。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） このタンクの清掃は、記録に残されていますか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時54分 休憩

9時54分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 ここ二、三年からなので残してはあります。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 今ある配水池、タンク等の耐震性というのは、確認はされていらっしゃるのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 以前に簡易耐震検査を受けておりますが、平成32年度に東海地震を想定した震度で耐震検査をまたやる予定でございます。

○委員（賀茂博美） これから。

○水道事業管理監 はい、これからです。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） こういった水道施設の耐震性とかに対してこれから調査するということなのですけれども、更新とか、設備の統合とか、そういったものの計画というのは今のところ、特にはないですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 配水系統の系統につきましては、北部配水場をつかって、小鍋沢配水場と御宿配水場、大畑配水場の3つがなくなっております。1つづつ、2つなくなった勘定になっております。そういうふうにして動力費を減らしております。

そして、もう一つの施設の耐震化につきましては、平成32年度から、現在もう下和田の第1をやっております、次回千福が丘配水場に入っていく予定でございます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件はわかりました。

そして、管路のこれからの維持補修の件です。先ほど何件か布設替えを含め工事をされるということでしたけれども……。

一回休憩してもらっていいですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

9時57分 休憩

9時57分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 管路の老朽化が進む中で、計画的に更新をしていく必要性があると思いますが、来年度の予算は、この先の計画を見今しての予算立てになっていますか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 はい、そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 具体的な計画というのはできているのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、平成27年度に作成いたしました水道ビジョンによるものでございます。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 済みません、では私もそのところを関連で。老朽施設ではなくて、今度は管路の更新については、やはり単なる取りかえではなくて、先ほど賀茂委員が言ったような災害に強い管路の整備、やはりそういうようなものの付加価値の高い更新事業とすることとなっているということによろしいですか。確認です。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これについては、耐震適合の管を使用して布設替えをしております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） それと職員の方の確保とか技術の継承、そういうものは課題だと思うのですけれども、水道技術管理者というのは今何人いらっしゃるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 水道事業管理者で登録している者は、今年度は2名です。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 退職なさる方は。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 その中には含まれておりません。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） そうしますと、今度は新年度の予算の中でそういう水

道技術管理者の計画的な育成として何人資格を取っていただくとか、そういうようなものは入っているのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 今の考えでは、土木系の大学を卒業された方が3年勉強して4年目に受講できるということになっていきますので、ですからうちのほうに若手職員が仮に異動した場合には4年目に資格を取ってもらうというようなことで考えております。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そうすると、3年、4年目で資格を取るというのは、その間には異動をしていただきたくないわけですね。そういうような人事のほうとのお願いというか、そういうような話はできているのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 明確にはまだしておりませんが、一応……。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時00分 休憩

10時01分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 済みません、料金徴収の委託の件です。ページで言うと342ページなのですが、この委託料と料金の徴収率というのは関係がありませんか。

○水道事業管理監 済みません、ちょっと暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時01分 休憩

10時04分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 関係ありません。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 確実に徴収率を確保するためにこの委託会社とのやりとり、取り決めも全くないということでもいいですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時04分 休憩

10時05分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
上下水道経営課長代理。
- 上下水道経営課長代理 プロポーザルの中では、98%以上をキープするというような形で目標設定はされております。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） それは、提案時にしていただいていたということで、特に契約上でも徴収率については縛りはかけていないということでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。
- 上下水道経営課長代理 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 休憩をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

10時05分 休憩

10時06分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開いたします。
小林委員。
- 委員（小林 俊） 335ページに30年度の損益計算書というのがあるけれども、これは見込みだと思えるのですけれども、これに減価償却とか、そのあたりがのってきていないのは何か理由はあるのですか、損益計算書。減価償却、営業費用のほうで、損益だよ。損益……減価償却……。左側の営業費用のところ……今質問中……
- 委員長（井出 悟） まだ質問中です。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 2の営業費用の（5）、（6）に減価償却費と減耗費のほうは記載されていると。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 平成31年度の予定損益計算書というのは何でないの、予算を立てる段階で。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、31年度についての損益計算書はここに記載する必要がないということで、記載しておりません、そういう決まりがございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 決まりの根拠を教えてください。何で決まっているのか、何でというのは、何によって決められているかということ。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時08分 休憩

10時08分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

主席主査。

○上下水道経営課主席主査 公営企業法関連の決まりで記載されておりますので、そのようにしております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） その前の334でいいですけども、バランスシートの長期前受金、これちょっと説明してください。

○委員長（井出 悟） 主席主査。

○委員（小林 俊） 何でもいいよ。

○上下水道経営課主席主査 暫時休憩お願いします。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時09分 休憩

10時11分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

主席主査。

○上下水道経営課主席主査 長期前受金は、登録資産のうち自己財源以外のもので充てた場合に、その長期前受金として計上します。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 棚卸し資産の減耗というのがあったのですけれども、あれはどういう計算ですか。どこでもいいけれども。例えば322ページ、支出のところの資産減耗費のうちの棚卸し資産減耗費とあるのだけれども。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時11分 休憩

10時12分 再開

○委員長（井出 悟） では、再開いたします。

上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 棚卸し資産減耗費というのは、この棚卸しで持っている資産、例えばメーターとか、そういったものの保管している間に破損す

る場合があったり、使えなくなったりする場合、これ処分しなければならぬ場合、そういったものに充てる費用でございます。

○委員（小林 俊） 今休憩中。

○委員長（井出 悟） 今再開しています。

小林委員。

○委員（小林 俊） 厳密に言えば、例えば1年間でも減価償却があるので、減価償却も入っていたりするのですか、それは上のほうの減価償却でカウントしているのですか、どっち。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 棚卸し資産につきましては……

○委員（小林 俊） 減価償却なし。

○上下水道経営課長代理 減価償却は入っておりません。

○委員（小林 俊） 何で壊れるのだ、置いておいて。まあ、いいや。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 342ページに戻りますけれども、水道料金等の徴収業務委託に関連して、先ほど98.7%の現在収納率ということで、かなりいい数字だと思います。収納率の向上対策として、例えばどんなことを、できる範囲があると思うのですけれども、よく聞くのが給水停止とかという形もあると思うのですけれども、その辺はやっていますでしょうか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 現在年6回の給水停止をやっております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 何件ぐらい、件数を。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 先日の報告では、給水停止をした件数的には、予定は51件、停止をするよという通知等をした場合、すぐ納めに来たのが10件ありましたので、実際には40件ぐらいの停止件数となっております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） それは、例えば滞納が何カ月とか、どのタイミングで行っているか教えてください。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 2期以上滞納した場合と思っております。

○委員（土屋主久） ~~では、質問というか、項目変わります。342ページの加入分損金2,984万1,000円、新規加入分損金と348ページの工事請負費の3,294万3,000円、配水本管布設の関連をちょっと教えていただければありがたいのですが。関連ないの。~~

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時16分 休憩

10時16分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 今の質問は取り消させていただきます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 暫時休憩お願いします。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時16分 休憩

10時16分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 348ページの工事請負費の3,294万3,000円、配水本管布設は新規に団地ができるとか、そういう箇所でしょうか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 この工事に関しましては、平松深良線のところの都市計画道路を予定しております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 先ほど2カ所ということでしたっけ。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 平松深良線の上のほうになってきます2—18号線、その新規の道路のところに対してこの拡張工事の場所になっております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） それで、先ほどの346ページなのですけれども、加入分担金の2,984万1,000円は、これは歳入として組んでいるのですけれども、これはどこのものでしょう。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 これは、給水工事の個人の給水申請時にいただく加入分担金でございます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） それって、さっき30万円と言っていましたか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 先ほどは十里木でございまして、こちらは上水道の給水申

請時に発生します加入分担金というものでございます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） これ加入は幾らになるのでしょうか、1件。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時18分 休憩

10時21分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 口径によって単価は変わるのですけれども、例えば13ミリでは1件5万円、20ミリでは10万円という形で計算しております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） この中で、全くの新規に住宅を建設しましたという件数はどのぐらい、何件ぐらい想定しているのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 およそ200件ぐらいを想定しております。

○委員長（井出 悟） では、小林委員。

○委員（小林 俊） 今のところですけれども、例えば337ページに新設190栓と書いてありますが、この190というのは約200といったのと対応しているのですか。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 およそ200件というのは、その計算も含まれておりません。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 今の加入分担金の口径と金額のお話ですけれども、一覧表みたいなのは当然説明にあるのですよね。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 あります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） それ出してもらえますか、参考用に。

○委員長（井出 悟） ストップです。暫時休憩します。

10時22分 休憩

10時22分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

上下水道経営課長代理。

- 上下水道経営課長代理 条例でうたわれていますので、それで出ています。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 先ほどの給水停止の話なのですけれども、給水停止をした後は例えば生活困窮の可能性もあるので、社会福祉課の窓口につなげて、支援や相談につなげているということによろしいですか。
- 委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。
- 上下水道経営課長代理 現時点では、そのような報告はございませんけれども、もしそういった事業者のほうから話があれば対応させていただくつもりでおります。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 生活困窮者自立支援の窓口ができたときから庁内の横連携という話はずっと出ていると思います。そこまでしっかり水道部というか、そのテリトリーだという意識で取り組んでいただきたいと思いますけれども、いかがですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 今後はそのようにしていきたいなど、そのように考えております。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） その点は確実にお願いします。
もう一点、部長の総括説明の中で経営戦略を策定していくみたいな話があったかに思うのですけれども、それはここでよかったですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 上下水同時に行いますので、ここでもやります。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） その策定委託の予算はどこに出ていますか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 委託につきましては、ある程度水道ビジョンの資料が流用できるというようなことがございますので、そちらを流用して若干加工を加えまして、それでやっていきたいなど、そのように思っていますので、あえて委託料には、策定の委託料には入っておりません。
- 以上です。
- 副委員長（小田圭介） 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時25分 休憩

10時25分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

小林委員。

○委員（小林 俊） 346ページの旧御宿取水場用地売却、これ質疑ありました
っけ、誰からか。それ何平米ぐらいですか。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 70平米です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 70平米で15万7,000円というのは安くないですか。

○委員長（井出 悟） 上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 暫時休憩。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時26分 休憩

10時27分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 約80万円で売却予定でございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） この売却は競売ですか、どういうふうに

○上下水道経営課長代理 暫時休憩をよろしくお願いします。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時27分 休憩

10時28分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

上下水道経営課長代理。

○上下水道経営課長代理 競売の予定はございません。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 先ほど伺った消費税の部分なのですけれども、金額とし
て10月まで31年度で2%上がる分というのはどこに入ってきますか。

暫時休憩してください。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時29分 休憩

10時33分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

上下水道経営課長代理。

- 上下水道経営課長代理 この給水収益の中に含まれております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 建設工事費2億何千万円もある、建設改良費とか2億8,000万円もあるのだけれども、消費税8%、値上がり前に工事をなるべくやるような計画になっているのですか。
- 委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。
- 上下水道工務課長 できるだけ早くできるものは発注したいと思っております。
- 委員長（井出 悟） そのほか質疑ありますか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（井出 悟） 委員の質疑を終了いたします。
分科会外委員の質疑をお受けいたします。
勝又利裕委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） お願いします。1点だけ。337ページ、雑収益の裾野市の水の販売ですけれども、ここは31万円で、342ページが委託が99万円となっているのですけれども、裾野市の水をこれからどういうふうにしていくのかなという考えをお聞かせください。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 裾野市の水につきましては、今後シビックプライドにつながるように市民の方々にも十分知らしめていこうかなと思っております。比較的企業の方も最近では買ってくれるようなことになっております。最近ではがんセンターのほうで大量に使っていただくことができたというようなことで、少しずつですが、市民の方、または市内外の方に知っていただくことができましたので、今後もそういうところに積極的に活用していき、いずれはシビックプライドにつながるような形をとっていきたいなど、そのように考えております。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。
- 分科会外委員（勝又利裕） 防災の関係の非常時の水も含まれていると思うのですけれども、要はもう少し増産をしてもっと広く販売したらどうかなという考えはあるのかなというところですが。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 はい、そのように検討してまいります。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） では、31年度で検討していってくれるということでもよろしいですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 そのようにしてまいります。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） ありがとうございます。よろしく申し上げます。
以上です。

○委員長（井出 悟） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 330ページ、特殊勤務手当の表がありますけれども、この滞納処分手当と滞納整理手当、内容はどのようなものなのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時37分 休憩

10時37分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 滞納処分手当、滞納整理手当は、制度上はございますが、今、これは先ほど言い業者のほうに委託しておりますので、使っていない状況にあります。

○委員長（井出 悟） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 昨年度までは給料の総額に対する比率というのが0.8%で、その前は0.7%はという数字があって、今年度の予算の中では、つくっている予算の中では0%になっているのですが、では、これはどういうことなのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時38分 休憩

10時38分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 これは、制度上はありますけれども、使っていないので、ずっとゼロが続いているというような、そのような状況でございます。

○委員長（井出 悟） 岡本議員。

○分科会外議員（岡本和枝） 昨年度は、たしか0.8%で、その下の支給対象職員比率というのが100%ではなかったかと思うのですが。

○水道事業管理監 ちょっと済みません、暫時休憩。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

10時39分 休憩

10時39分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 昨年は、これにつきましては上水道にかかわる職員が、今、一元化ということで下水のほうの仕事もやっております。その関係上、下水道の検査、これ下水道の公共下水に入れるところの個人の汚水管の検査をやっているのですが、その不fast手当ということで、去年はそれでお支払いしたことがございます。

以上でございます。

○委員長（井出 悟） 岡本議員。

○分科会外議員（岡本和枝） それでは、先ほど給水停止初め事業者の方がというお話がありましたけれども、水道料金を払えるのか払えないのかというような判断を事業者の判断に任せてしまっていいのかなという疑問があるのですけれども、その辺についてはどのようにお考えなのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 これにつきましては、一度やる前とやった後、必ず会議をもちまして、その人の財政状況とかについて検討はしております。

○委員長（井出 悟） 岡本議員。

○分科会外議員（岡本和枝） その会議を持つというのは、事業者の方と職員の方と会議をもって、そこから例えば停止に行くとか、その後も今度は職員の方がそこにかかわるといような、そういうシステムになっているということですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 これは、直接給水停止をしますと必ずその方はお支払いに来るか、または相談に来ます。そのときに相談に乗りまして、一括で払えない場合は分納とか、そういう形をとっております。

以上です。

○委員長（井出 悟） 岡本議員。

○分科会外議員（岡本和枝） それでは、先ほど小田委員のほうからも話があったのですけれども、その事業の中を一部外へ委託するということというのはとても大きな問題だと思うのですけれども、それらをひっくるめて社会保障的な観点で、社会福祉的な観点でほかの部署との関連でぜひ取り組んでい

ただきたいなと思うのですけれども、その辺はどうなのでしょう。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 先ほどの質問にもございましたとおり、そういうケースがございましたら、横のつながりを十分とっていききたいと、そのように思っております。

○委員長（井出 悟） 岡本議員。

○分科会外議員（岡本和枝） ケースがあつたらではなくて、債権回収するところの基本的な方針としてしっかり持っていただきたいと思うのですけれども、31年度では債権回収に対する基本的な方針と社会福祉との結びつきみたいな部分での検討はお考えでしょうか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 先ほどもお答えしたとおり、横のつながりをもって相談できるものは相談していききたいと。ですから、生活困窮者につきましては来年度検討してまいります。

以上です。

○委員長（井出 悟） そのほか質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外議員の質疑を終わります。

以上で第8号議案に関する質疑を終わります。

これより第8号議案について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外議員の意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で第8号議案に関する意見を終わります。

休憩いたします。

10時44分 休憩

10時54分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

上下水道経営課、上下水道工務課（第9号）

○委員長（井出 悟） 次に、第9号議案の審査になります。

説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） それではお願いします。353ページ、第1款第1項建設改良費、この金額で、今岩波地区のほうへ北進しておりますけれども、何キロぐらいこれ延伸できるのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 およそ640メートルになります。およそ640メートル程度です。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 10年概成でアクションプランもつくって今やっているところなのですが、暫時休憩。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時12分 休憩

11時14分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 29年度の当市の汚水処理人口普及率と県全体の普及率をお伺いします。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 今こちらに資料を持ってきておりませんので、後ほど答弁させていただきます。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時15分 休憩

11時15分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そして、またアクションプランですと中間年次での目標と、そういうようなものが出ているのですけれども、先ほどの640メートルで、これでやっていくというようなことだと、目標としている汚水処理人口普及率達成できそうですか。

○委員長（井出 悟） 上下水道工務課長。

○上下水道工務課長 工事自体若干遅れぎみです。

○委員（二ノ宮善明） 遅れぎみ。

○上下水道工務課長 はい。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） そうすると、ごめんなさい、10年概成で補助金がなく

- なったときというのは、その後は市単でずっとやっていくということですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
 - 水道事業管理監 10年概成後の補助金がなくなるというような情報は入っておりません。
 - 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
 - 委員（二ノ宮善明） では、そういう予想もないということですか。
 - 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
 - 水道事業管理監 現状ではそのように考えております。
 - 委員長（井出 悟） 土屋委員。
 - 委員（土屋主久） 131ページで、ここに接続件数ということであるのですが、ごめんなさい、351ページです。今まで整備が完了して接続可能となっているが、接続されていない件数、そこのところをちょっと教えていただきたい。
 - 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時17分 休憩

11時17分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 先ほどと同じく資料がございませんので、後ほど答えさせていただきます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ごめんなさい、土屋委員が言われた関連ですけれども、数値はいいとして、来年度接続されていない方へのアプローチというのはいくつにされていく予定ですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 現在もちょうど今やっている最中なのですが、各戸訪問やっつて、接続していただけるようお願いに上がっているところでございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 多分毎年そうやって個別にお願いに行っていると思うのですが、それで効果というのは見込めていらっしゃるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 効果はあると感じております。効果はございます。
- 委員長（井出 悟） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） これって、整備されて6カ月以内に接続しなければいけないというふうになってますけれども、それ法的縛りのものというのは特

にないのですよね。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 法的な縛りは、下水道法にはそのようにうたわれておりますが、特にこうしろという法的な縛りはございません。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します

11時18分 休憩

11時19分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 法的な縛りはございますが、具体的な罰則はございません。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 来年度に予算計上されているのがちょっとどこかわからなかったのですが、例えば他市町の状況、接続していただくための呼びかけの仕方とか、そういった研修会のようなものに参加することというのはあるのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 これは、同じ流域の中で会議をやっておりますので、それを議題に出してやっております。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 狩野川流域の中で、接続率が高い町というのは、参考になるようなところはあるのですか。

○水道事業管理監 ちょっと暫時休憩。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時20分 休憩

11時20分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 流域の中では、一番先行しております沼津市を参考にして行っております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） さっき部長の説明の中で、水道と下水と一緒にという後からの説明だったけれども、何か改善計画をやっていきますみたいな話があったと思うのですが、そのところをちょっと説明してください。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

- 水道事業管理監 下水道事業の経営戦略をまとめまして、それをもとに審議会を来年度発足する予定でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） その予算はどこに入っているのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 372ページの収益的支出のまず21節に報酬がございます。この委員報酬に30万円入っておりますが、これが審議会の委員報酬でございます。そして、59節委託料の中の経営戦略策定というものがございまして、それが資料作成でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 経営戦略策定は、これ1,000万円のうち幾らぐらいなのか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 960万円でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） これは、どんなところに委託をするのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、コンサルタント会社で、特に下水道事業に精通しているところに委託をする予定でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） アクションプランがありますよね、一応つくったやつが。それとこれとはどういうふうなかかわりになってくるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 もちろんアクションプランの資料とか何かを当然参考にしたしまして、補填する作業でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） そうすると、アクションプランをつくれと国に言われてやっているわけで、それが、そのアクションプラン自体が少し洗練されていく、あるいは戦略的によくなっていくという解釈でいいのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 はい、そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 審議会はいつごろ立ち上げるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、経営戦略の策定後に行う予定ですので、年度末に立ち上げる予定でございます。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 委員報酬30万円は年度末にかかるのですか。暫時休憩願います。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時23分 休憩

11時23分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 先ほどの私の言い方が悪かったのですが、経営戦略の策定をしている間もその意見を述べてもらうようなあれをつくっていきますので、大体半年ぐらいはかかわっていただくような格好になるかと思っております。そして、この30万円につきましては、これは多少多目に見ておる予定でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 審議会の委員は何人ぐらいですか。
- 委員長（井出 悟）
課長代理。
- 上下水道経営課長代理 10人を見込んでおります。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） どのような方をお願いをするのですか。
- 委員長（井出 悟） 課長代理。
- 上下水道経営課長代理 市内の有識者を考えております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 市内の有識者というのは、具体的にはどういう方ですか。
- 委員長（井出 悟） 課長代理。
- 上下水道経営課長代理 下水道区域の方をメンバーにも入れたいと思いますし、あとはそうでないこれから予定されている方も入れたいと思います。具体的に言いますと、例えば区長さんとか、ボランティア団体の長の方とかをお願いしたいと思っております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 役に立つ審議会ならいいけれども、当局の言う意見を「はい、はい」という審議会だとつくってもしようがないと思うのだけれども、その辺はどうですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時26分 休憩

11時26分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 もちろん実りあるものにしなければなりませんので、人選には十分留意していくつもりでございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 資本的支出の建設改良だから376ページかな、工事請負費2億4,750万円、これは主として岩波に向かったの延伸工事ということでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 工務課長。
- 上下水道工務課長 主にそのようになっております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 岩波に向かったの建設工事には、これまでざっと何億円ぐらいかかっているのでしたっけ。何年やって、何億円という感じで。
暫時休憩してください。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時27分 休憩

11時28分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 深良の震橋からの工事が平成25年から入って現在に至っています。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 来年度640メートル進むとどんな状況になるのですか、つなぎ込みができる状況になるかどうか。
- 委員長（井出 悟） 工務課長。
- 上下水道工務課長 ここのこれを来年度で岩波駅のロータリーの交差点のところまでつなぐようになりますので、沿線上のところではつなぎ込みができるお宅は発生してきます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 岩波に向かって延ばしていく線路の最終的な収益は幾らを見込んでいますか、下水道利用料収益。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時29分 休憩

11時30分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 今資料を調べておりますので、また後ほど答弁させていただきます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 収益によって、投資しているわけですよね、それがいつごろ改修できる見込みなのですか、見込みがあるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 見込みはあるものと考えております。そのために下水道事業審議会のほうでも料金等が果たしてこのままでよろしいのかどうかというところの検討をしていきたいと、そのように思っております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 下水道審議会はいいですけども、料金は値上げをしなければ、今赤字なので、値上げしなければいけない、その言いわけづくりのために下水道審議会つくるわけですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 アクションプランで一時工事を中断したことを見込みまして、その後どうなるかというようなことを検討して行く予定でございます。つまり工事……
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時32分 休憩

11時32分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
小林委員。
- 委員（小林 俊） 経営戦略策定に1,000万円近くかけてやるのですが、要は収益事業として独立会計の企業採算だから、収益事業として何年か先にはコンプラになるように、ペイするように持っていかないといけない義務があるわけですね。そこのところの見通しが立っているかどうかを聞きたいのだけれども、それはこれから考えるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 明確な時期というのはわかりませんので、これから検討してまいります。

- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 372ページ、流域下水道の維持管理負担金1億円、これは狩野川流域西部だと思えるのですけれども、維持管理だけで負担金これだけかかっているという解釈でいいですか。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時33分 休憩

11時33分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、下水道の処理費でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） この算出根拠はあるのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 1立米当たり86円で、179万8,000立米で、これが現年でございまして、それが幾らだ……。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時33分 休憩

11時34分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 1立米当たり86円の処理費用がかかっております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 375ページの流域下水道建設負担金、これは裾野市内の工事以外のどんどころにかかっているのですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、狩野川西部の処理場改修工事の負担金でございます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それはどういうふうに算出されている額ですか、これは。
- 水道事業管理監 ちょっと。
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時35分 休憩

11時35分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
経営課長代理。
- 上下水道経営課長代理 この算出方法につきましては、全体で市町の均等割と人口割等で算出して示されてきます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 均等割がどれぐらいで、流量割かな、人口割、その辺ちよっとわかりますか。
- 委員長（井出 悟） 主席主査。
- 上下水道課主席主査 内訳につきましては、均等割が裾野市の分として1,160万円ほどで、下水量割のほうが裾野市で1,430万円ほどで、合計で2,600万円ほどになっております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） 流量割のほうは、例えば前年度の実績とかそんなふうなことになっているのですか。
- 委員長（井出 悟） 主席主査。
- 上下水道課主席主査 流量割と均等割につきましては、もう既に割分が決まっております、均等割は5市町で割りますので、単純に5で割っていますが、下水量割というのは裾野市の分として16.4%となっております。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） わかりました。353ページの資本的収入及び支出の差額不足額を1億7,700万円補填するとなっておりますけれども、貸借大量票でもキャッシュフローでもいいのだけれども、現金は2,000万円しかありませんということ書いているのだよね、そこのところはどう解釈するの、どうなっているの。
- 委員長（井出 悟） 主席主査。
- 上下水道課主席主査 この金額につきましては、3条のほうの収支で減価償却費という非現金支出がございますので、その減価償却費に充てた分の金額につきましてはこの4条の収支に充てるという意味合いになってきます。
- 委員長（井出 悟） 小林委員。
- 委員（小林 俊） それはわかります。ただ、現金がキャッシュフロー及びこの貸借対照表で現金が2,000万円とか4,000万円とかという額になっておるので、これで正しいですか、現金、預金といたら、一応預金高だよね、普通の場合はね。
- 委員長（井出 悟） 主席主査。
- 上下水道課主席主査 これにつきましては期末の金額となっておりますので、ここに記載のとおり当年度分で全て支払いをするようになっております

ので、結果的に現金が残ったのがそこという金額になります。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） キャッシュフローですけれども、ちょっと理解できないので、わかりやすく説明して欲しいのだけれども、キャッシュフローなのに長期前受金の戻入額とか固定資産減価償却とかが入っているというのはちょっと余りよく理解できないのだけれども、そこら辺わかりますか。

○委員長（井出 悟） 主席主査。

○上下水道課主席主査 これにつきましては、キャッシュフロー計算書の作成根拠がございまして、間接法というもので取り扱いを行うことと本市の場合にはしておりますので、それによるとこのような表記になってきます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 営業活動によるキャッシュフローで、減価償却費 3 億 8,000 万円と書いてあるけれども、これは実際に現金がそのときに来るわけではなくて、計算上ですよ。だから、さっきの 1 億 7,700 万円の不足というのを計算上は充てられるけれども、現金で充てるということに、それはできるのですか。

○委員長（井出 悟） 主席主査。

○上下水道課主席主査 これキャッシュフローの営業活動のほうなのですけれども、減価償却費ということで、ここで現金が 3 億 8,000 万円ほど残るという概念になりますので、それを使って、要は下の費用を払った結果、キャッシュフローが営業活動においてはプラスになるという理念になっております。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） それで、法的にいいのですね。

○委員長（井出 悟） 主席主査。

○上下水道課主席主査 はい、問題ないと思っております。

○委員長（井出 悟） 小田委員。

○副委員長（小田圭介） 経営戦略の策定は上下水道一緒にやっていくという話ですね、さっき上水道のときに。自前でやると言われていたのは上水道に関する部分だけということですね。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 この審議会におきましては、上下水道同じ日に参集してやりたいということで、やることについては上水道、下水道それぞれ別のものでございます。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時41分 休憩

11時41分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 委託につきましては、上水道については水道ビジョンの資料が流用できるものが多々ありますので、補填する意味では職員が行って作成するという事になっております。
下水道については資料作成、使えるものもございますが、補填資料が多くありますので、委託にかけるというようなことで、それぞれ別、下水については独自に委託発注いたします。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 成果物は、2つ別のものができるという理解でいいですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 そのとおりでございます。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） この審議会は委員報酬30万円、下水のほうについて、上水の法も30万円ついていますが、同じ審議会ですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これにつきましては、同日に行われたものについては双方で負担して、案分して払うということで、単独でもし開催するような場合は下水道でしたら下水道のほうから、上水で単独で行う場合は上水のほうから出すというふうに分配しようかと、そのように考えております。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） メンバーは同じですか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 先ほどもそのようなお話をさせていただいたと思いますが、メンバーは同じメンバーを考えております。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 経営戦略を策定することにこれだけお金が必要だと、正しいものなのかどうなのかという判断がいまいつかないのですけれども、中の方々の知見では全然足りないものなのですか。
- 水道事業管理監 んっ。
- 副委員長（小田圭介） というか……
- 委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時43分 休憩

11時43分 再開

- 委員長（井出 悟） 再開します。
水道事業管理監。
- 水道事業管理監 これは、まず資産台帳の作成に時間がかかるということです。今資産台帳の作成とか大分やっておるのですが、その後のアクションプランの10年後の工事ですね、10年後で一応完了するということでききに申し上げたわけですが、その10年後でやらなかった場合、それ以降やらない場合の料金算定とか何かというのはどのようにしていくか、あと人口統計も上水と下水と違いますので、とり方が。その辺のところ、そういうところの作成を頼もうかと、そのように思っています。特に料金にかかわるものについての裏資料の作成が必要になってくるだろうと、そのように思っております。
以上です。
- 委員長（井出 悟） 小田委員。
- 副委員長（小田圭介） 最後にしますけれども、一企業として社内に人材が不足をしている状態なのか、それとも外部委託で済ませていいものかどうかという判断なのか、そこだけ最後に確認させてください。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。
- 水道事業管理監 業務委託を発注するということは、それに精通している職員の数が少ないと、そのように感じております。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 375ページの63節の工事請負費で2億4,750万円、先ほど課長説明していただきました新設改良工事の5カ所と8カ所、その5カ所と8カ所の内訳を教えてくださいませんか。
- 委員長（井出 悟） 工務課長。
- 上下水道工務課長 深良、先ほど岩波に向かうところで4カ所、区画整理地内の事業で1カ所、富岡地区で……
（「富沢」の声あり）
- 上下水道工務課長 ごめんなさい、富沢地区で2カ所、桃園で1カ所、あと平松深良で1カ所、今建設やっている東海ゴムの裏のところの道路で1カ所のような箇所になっております。
あとは汚水升の取り出しとか、先行管の取り出しという形の中で持っているもので考えているので、よろしいでしょうか。
- 委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。
- 委員（二ノ宮善明） 先ほどの小田委員とちょっと被ったりするのですけれども、委託するしないにかかわらず、上下水道の職員さん足りていますか。
- 委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 先ほど小田委員の質問がありましたとおり、委託を全部職員で賄うということがありますと、それは当然足らなくなりますので、そのときだけは委託にかけてということで、やっていく限りは経営のほうは特に問題はなかなと思っております。むしろ技術系のほうがここでまた1名再任用の方がやめていくと、私も今年で退職を迎えますもので、現場に精通している職員というのは非常に減っております。そういうところを計画的に人員を配置していただいて、技術の継承に努めていければなど、そのように考えております。足りているか足りてないかということになれば……。済みません。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） わかりました。先ほど言いましたように委託する委託しないにかかわらず、退職する方ですとか、そういうような中で、足りているかなというところで、以前の人数と比べるとかなり減っているのではないかなと、そういうような思いです。

暫時休憩願います。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時48分 休憩

11時49分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

小林委員。

○委員（小林 俊） 374ページ、一般会計の出資金ですけれども、出資に対しては、この企業はどういう配当か何かするのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 出資金という名前は、あくまでも公営企業法に倣ったやり方で名前をつけております。出資金に対しての配当は今のところ考えておりません。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 出資金はあくまでも出資金なので、去年と今年の出資があると思うのですが、それは儲かれば返却をするのですか、その辺はどうなっているのですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 儲かるか返却するかということは、現在考えておりません。将来……

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

11時50分 休憩

11時50分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

水道事業管理監。

○水道事業管理監 今は出資金という名前を使っていますが、その後、独立で企業経営ができるようになったときには出資金という名目を変えます。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

11時51分 休憩

11時51分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

はい。

○水道事業管理監 出資金がなくなります。

以上です。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） なくなるということはどういうことですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 それは、一般会計からの繰り入れがなくなるという考えでございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 出資したものは、その企業にとってはあくまでも貸借対照表では負債のほうに行ってきているはずだよね。そういう意味で、残っていくんじゃないの。

○委員長（井出 悟） 主席主査。

○上下水道課主席主査 出資金につきましては、貸借対照表上では今後資本金としてカウントされていきます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 今後ということは、今現在は例えば30年度で669、514になっている資本金、そうだと思うのですね、出資したから資本に入るのだから、資本金に入るのだけれども、これのところに計上されていますと、そういうことですか。

○委員長（井出 悟） 主席主査。

○上下水道課主席主査 そのとおりでございます。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 351ページ、もう一度済みませんが、先ほど工事実施箇所の説明がございました。そして、工事に入っていくときに多分説明会

やっているとと思うのですけれども、その住民説明会で接続する、先ほど6カ月以内とか、そういう説明をしっかりとしているかどうか、ちょっとお伺いしたいと思います。

○委員長（井出 悟） 工務課長。

○上下水道工務課長 行っております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） その点でちょっと確認、さっき聞き間違えだったかもしれないのですけれども、接続件数が234件ふえると、そしてその下の総配水量は6万7,225減と言いましたよね。件数がふえて、結局水道は使っていくわけじゃないですか。接続がふえたのに減るといのはちょっと理解ができない、ちょっとその辺の説明していただきたいのですけれども。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 これは、私どものほうも計器とかいろいろ調べて、特に問題がなかったということで、不明水が……不明水というのは雨水とか、河川からの差し水、これが改良工事等によって大幅に減ったと推測しております。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） それは改良する前というか、そういうものはどんどん、どんどん入り込んでいったのが修繕をして改良されたので、要するに減ったということですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 はい、そのように考えております。

○委員長（井出 悟） そのほか質疑ございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

勝又利裕委員。

○分科会外委員（勝又利裕） 1点だけ、先ほど委員のほうからも質疑ありましたけれども、一般会計から出資金と繰出金が出ています。今回の行財政構造改革の中で、一般財源ベースでという話があったと思うのですけれども、上下水道課で出ているのは、償却したのは800万円だけ、要するに事業に対して一般会計から繰り出したり出資金が出ていることに関する議論というのはあったのでしょうか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 その議論はございました。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） あったということですから、どういう議論をし

たのでしょうか、お願いします。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 出資金の多くが、これは工事費に充てているのではなくて、過去の起債の返却に充てているものでございます。ですから、ここで工事を減らしたからといって、急激に……起債に充てておりますので、現状では減らすことはなかなか難しいというところでございます。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） 繰出金についてはいかがだったでしょうか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 繰出金についても同様に起債の返却に充てているものでございます。

○委員長（井出 悟） 勝又委員。

○分科会外委員（勝又利裕） そうすると、行財政構造改革の中で上下水道の事業に関しても議論をして、一般財源から6億円ぐらいの出資金だったり、繰出金が出ているのですけれども、その分については事業がこうだから、事業を減らすということも考えられるのでしょうかけれども、そういう考えがなくて、起債の償還とか、そういう部分だから、今回の行財政構造改革の一般財源のベースからは外すという結論になったということですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 そのような説明を行いました。

○委員長（井出 悟） そのほか質疑はございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） では、分科会外委員の質疑を終わります。

以上で第9号議案に関する質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

11時57分 休憩

11時58分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

上下水道経営課、上下水道工務課（答弁漏れ）

○委員長（井出 悟）

答弁漏れについて、課長代理から説明を受けます。

課長代理。

○上下水道経営課長代理 まず、汚水処理人口の普及率のことで土屋委員から質問があったかと思えます。県が79.6%で、市はどうかというお話だった

と思うのですが、平成28年度におきまして県は79.6%でしたが、当市におきましては77.8%、29年度におきましては県が80.7%、市が78.5%でございました。

もう一件、未接続世帯はどれくらいありますかというご質問があったと思いますが、こちらについては約500軒というカウントをしております。

もう一つにつきましては、主席主査のほうからお答えします。

○委員長（井出 悟） 主席主査。

○上下水道課主席主査 アクションプランの中で収益のことはどうなっているかということにつきまして、アクションプランにつきましてはあくまで投資計画、投資費用のみの算定する計画でしたので、その補填分につきましては経営戦略のほうで経営的なこと、収益的なことを考えていくというのが下水道事業の方針です。

○委員長（井出 悟） 説明終わりました。

今の部分で質疑ございますか。

土屋委員。

○委員（土屋主久） 500軒がまだ接続されていないということなのですが、その理由がわかったら教えてもらいたいのなのですが。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 これは、主に水窪と伊豆島田地区に多いのですが、これは長泉町のほうに接続する予定、もともとはポンプアップで上に上げて旧246のところへ持っていく予定だったものが長泉のほうに流すという協議が始まりまして、その時間を要したことによって新築のうちがどんどん建ってしまったというようなことが原因でございます。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 長泉に接続というのは、富沢の一番下の長泉と接するあたり、あの辺の話ではなかったですか。

○委員長（井出 悟） 水道事業管理監。

○水道事業管理監 元南部の区画整理区域内です。

以上です。

○委員（賀茂博美） 休憩してもらっていいですか。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩します。

12時00分 休憩

12時01分 再開

○委員長（井出 悟） 再開ございます。

答弁漏れについてを終わります。

これより第9号議案について意見を伺います。賛否に関する意見はありますか。

小林委員。

○委員（小林 俊） 下水道会計は赤字の額が多過ぎて、一般からの繰り出しあるいは投資が多過ぎて、その改善策がいま一つ見えてこないのも、まずいと思います。

○委員長（井出 悟） そのほか意見はありますか。
（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 分科会外委員の意見をお伺いします。意見はありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（井出 悟） 以上で第9号議案に関する意見を終わります。

以上で、環境市民部上下水道経営課及び上下水道工務課の質疑を終わります。

休憩いたします。

○委員長（井出 悟） 暫時休憩いたします。

12時02分 休憩

12時04分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

以上で予算決算委員会産業建設分科会に割り振られました議案の質疑を終了いたします。

では、暫時休憩いたします。

12時04分 休憩

12時06分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

自由討議

○委員長（井出 悟） 委員の皆様申し上げます。発言は1人ずつマイクを使用し、委員長の指名により発言していただきますようお願いします。

それでは、自由討議をいたします。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 私、産業部のときに産業振興課のユニバーサルデザインタクシーの件、少しご意見言わせていただきました。そのときも述べたのですけれども、今行財政構造改革をしている中で、市民サービスをいろいろと見直しをかけている中で、事業者に対して補助制度を設けるということが市民にどう説明できるのかなというところで少し疑問を感じていました。また、かつユニバーサルデザインタクシーがお披露目されたのはかなり前、庁舎の中にも展示されたりしていましたが、そのタイミングでなぜやらずに今なのかなと。今事業者が購入をして市内をもう既に走行されています。それを受けて、このタイミングはどうしてかなというのがちょっとあったので、ご意見言わせていただきました。ほかの委員の皆さんがその件についてどう思っているのか、ちょっとご意見伺いたいなと思っています。

○委員長（井出 悟） 今賀茂委員からありましたので、どうぞ。

では、二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 私も市内のタクシー会社2社というところで、1社はもう1月25日に登録して、もう営業をしている。その中で、どうしてこれを購入する、導入するのに60万円の補助が必要なのかというのを指摘させていただきました。それで、その答弁によるのであれば、私はもう新年度の補助だからということだったますけれども、私は今導入しているところにもやるべきだなと、そんなふうには感じています。だから、それについて賀茂委員がおっしゃられているバス、タクシーのチケットとか、そのほうとは若干違うかもしれないのですけれども、私はその60万円の補助金についてはそういうふうな意見を持っています。

○委員長（井出 悟） 休憩します。

12時09分 休憩

12時09分 再開

○委員長（井出 悟） 再開いたします。

どうぞ、土屋委員。

○委員（土屋主久） この間、福祉関係、例えば車椅子で乗れるとか、そういう方向性があるのだっただらと思うのですけれども、あの車を導入して、ではそういうものに使えるかという疑問もあるし、なおかつその車を補助して、

そこから収益が要するに市のほうに歳入として振り返ってくるのかという、その辺も明確になっていないかなという形あるので、ちょっと疑問だなというのがあるのです。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 国から補助金が出ているのが前提だというので、裾野市も出すというのは、その意味が僕はわからないのです。余り言わなかったけれども、金を受け、金を受けと言っているのであれば、それはもう企業にお任せして、国から補助金があるのだったら、それでいいと私は思います。あれユニバーサルデザインと言うけれども、タクシーのベースタクシーとしてはああいうものにしましょうということで、別に福祉事業ではないので、あのタクシーの形は。僕はそれちょっと違うのではないかなと思います。

○委員長（井出 悟） 委員長は発言しないほういいのでしたっけ、こういうときは。自由だからいいのでしたか。

ちょっと私は少し審査の中で賜ったときには、説明は余りよろしくなかったと思うのですけれども、あの中でポイントは、事業者であれば通常安い車を買ってしまうので、コンフォートという昔のタイプの車を買いがちになるのは当たりまえだと思います。そういう中で、コンフォートとの価格差をなくしてああいう誰もが使えるユニバーサルタクシーを導入しやすくすることで市民の公共交通が充実するということに関しては、ある一定の理解はできるというふうに思いますので、私自身は余り違和感を感じませんでした。ただ、説明が産業部の中でやられているので、産業振興だとか、そういうところの視点が非常に多く課長説明であったので、そういうところについては少し委員さんからもご意見が出たという認識ではありますが、補助自体に関しては非常に目的がしっかりしているのではないかと、説明がよくなかったのではないかというふうな感じは受けています。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 私も違和感というのは感じなかったのですけれども、すその一る500メートル外のところの高齢者については1回100円のバス、タクシー券、そういう制限がある。あとは運転免許証を自主返納した方に対する補助というのも裾野市ではやっております。そして、100円のチケットが安過ぎるのではないかというようなところで、あれは今度新年度からでしたっけ、200円になるのは。そうですよね。というようなところがある。そういうような中で、やはり市民サービスというものを考えるのであればああいうジャパンタクシー、そういうようなものの導入に対しては補助があってもいいのだらうと、そういうふうに考えます。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 私も100%反対というわけではないのです。ただ、市民に対してどう説明すればいいのかというのが自分の中でははっきりしなかったのですけれども、今回産業振興課が挙げてきたということで、一番最初のご説明が市内企業で製造されているというお話しされましたけれども、その目的の部分をもうちょっとはっきりしていただきたかったかなというふうに思っています。例えばこれが公共交通の市民に対する利便性向上とかという意味が込められているのであれば説明もできるかなというふうに思っています。確かに説明というか、趣旨の部分をもうちょっと明確にいただきたかったかなという気持ちはちょっと持っています。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 雫石町というところに視察に行ってきたのですけれども、タクシーを使ったデマンド交通ということで、将来的にそこへ向かうのだという面を考えているのだったらすごく有効かなと思うのです。だから、そこまで考えてくれるのだったら本当に賛成なのですけれども、諸般のというか、裾野市のこれから何年か先を考えていくと、産業部、産業振興課か、やっぱり説明不足というか、何かちょっと先をよく捉えていないなという感じがしていますよね。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 余り時間をとるのもあれなのですけれども、今委員の皆様のご意見を聞きますと、やっぱり事業の目的をもう少し明確に、そして説明ももうちょっと明確にしていいただきたいかなというご意見が多いかと思えますので、委員長報告をするときに、委員からそういう意見が出たということで盛り込んでいただきたいなと思えます。

○委員長（井出 悟） 二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 私も廃止の23事業ですとか190何事業でしたっけ、縮減をされた。そういう事業の今のユニバーサルデザインのタクシーの導入もそうなのですけれども、市民に対する説明がもっときちんとするべきだろうと。そういうようなものを私は付帯決議として委員長からやっていただいたらいかがかなと、そういうふうに感じます。

○委員長（井出 悟） ちょっと休憩します。

12時16分 休憩

12時16分 再開

○委員長（井出 悟） 再開します。

今まずちょっとUDタクシーのところは賀茂委員から投げかけがあった部分について、まず一回しめますが、その部分について、分科会委員長の報告

として述べていきたいと思います。述べる事項としては、こういう行財政改革等の施策が実行される中、その施策の目的についてはより丁寧に慎重にさせていただく必要があるというか、そんなような内容を考えますけれども、その趣旨の内容をちょっとしていきたいと思います。また見ていただくという形で全体としては見ていただく前提でよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（井出 悟） あともう一点、下水道のほうでご意見賜っていたと思いますので、その部分についての討議を行いたいと思いますが、もしあれば。どうぞ、小林委員。

○委員（小林 俊） 下水道は、去年の予算でも反対したのですけれども、私は。やっぱりアクションプラン自体が余り経営の改善の役に立っていないアクションプランが今できていると思うのです。経営の改善をするには、ほかのことを考えなければいけないので、とにかく収益が上がるように、そして支出は削るよというところの企業の本質的なものが何もない。これまでどおりの一般会計からもらえばいいじゃんということをやっているというところが私は非常にまずいと思いますので、この予算ではまずいと思います。

○委員長（井出 悟） ということでしたが、今年度の当初の中ではそういうものを含めて経営戦略に資する計画と審議会等をつくるというような当初の説明もありましたが、そのような小林委員の意見を含めて何か自由なご意見を賜ればと思います。

二ノ宮委員。

○委員（二ノ宮善明） 私も下水道の予算につきましては2年続けて反対のほうで起立をさせていただきました。今小林委員から言われたこととか、あとは3省合同の10年概成が出たからということと言い訳にしながらアクションプランをつくる時に白紙の状態でつくらずに、もう北進するのだというよなところでやっているというよなところ、今までずっと待っていたところに対しての説明とか、そういうようなものもない中で進んでいるということで、反対をしました。今年もそういうような気持ちは変わっておりません。

○委員長（井出 悟） 土屋委員。

○委員（土屋主久） 下水道については、事業を続ける限り、私はまだ新人でよくわからないのですけれども、多分一般会計からの繰り入れ、これは永久に続いていくという感覚。ですから、新規に例えば住宅団地とそういうところの関係、市街化区域、そこについてはやはり本来だったら整備していくという方向性だと思うのです、都市計画税取っていますのでね。その辺もしっかり考え方、これは市がこれから検討して、示して行く必要があると思うのです。ただ、私はこれはとにかく反対というか、好ましくないと思いますけ

れども、でもその方向性をしっかり31年度に出してくださいと、そんな方向でできれば意見をさせていただきたいなというふうに思うのですけれども、自立に向かってということです。

○委員（二ノ宮善明） 方向性に向かってはね、もうずっとやってきた、それが全然……

○委員（小林 俊） やってないのだよね、結局それができていないんだよね。960万円のコンサルタントが何と言ってくるかわからないのですけれども、これ休憩……

○委員長（井出 悟） いいですよ、どうぞ。小林委員。

○委員（小林 俊） 上下水道審議会ができるという話ですが、これまでどおりの各種団体の長から1人出てきてもらってというような形の上の審議会になりそうな気が今日の答弁を聞いていてしたのです。それでは、いい方向には進まないだろうなと思うので、形の上で審議会ができて、値上げしようというのだけ決められても経営の改善にはならないなと思います、私は。だからまずいと思います。

○委員長（井出 悟） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 下水道事業は、今本当に費用対効果がどうなのかなというのには確かに疑問に感じます。今ちょっと質疑の中でもそれほど明確な、小林委員が質問されていましたが、明確な事業収益の見込みというものはっきりしていないのかなというところを考えると少し疑問ですけれども、今もうここまで進んでしまっている。来年度は岩波の接続可能のところまで行くという話、それから経営に関しての戦略を立て直すということに期待をしたいかなというところがあります。

あとは未接続の方へのアプローチ、使ってもらって何ぼの事業ですので、そこをもっと積極的にやっていただけたらなというふうには思います。

○委員長（井出 悟） 小林委員。

○委員（小林 俊） 岩波に向かって進めている事業は、今とめるのが一番安いのです。向こうはちゃんと合併処理槽で処理しているのだから、ほとんどのところは。今とめるのが一番安いのです。

○委員長（井出 悟） さまざまなご意見出ていますけれども、この部分に関しては、意見はあったということについては、小林委員が先ほど述べていただいていますので、それは述べますけれども、何か委員会として発言するようなことはありますか。

○委員長（井出 悟） 休憩ではない。休憩というか、自由な討議なので。

○委員（小林 俊） これをこのままもう何年もやってきているこの形の会計予算が通るのだったら、私は市議会のチェック機能が果たされていないとい

うふうにとられても仕方ないと思うのです。もう少し何とか言いたいなと思いますけれどもね。

○委員長（井出 悟） ちょっと委員長から申してもあれなのですけれども、先ほど確かに出資金だとか、繰入金の中で事業に当たる償還金は支払われていることは事実、それについては過去の過年度の事業に対する償還が多くを占めていますので、岩波の部分も工事とすれば積んでいくのは当たり前ということです。ただ、一方で小林委員も俎上に上げていただきましたけれども、下水道使用料の部分に関しては経営戦略を見直して、審議会等を設置して、そういう部分の経営戦略を立て直すというのがこの31年度の年だというふうな説明はあったと思いますので、その辺を踏まえて委員会として、各個人で賛否の意見を述べていただくことは、それは問題ないと思いますので、委員会として何か全体として話をするのであればということです。

○委員（小林 俊） だから、それを委員会で討論しましょうと思いますけれどもね。

○委員長（井出 悟） そういうふうな提案がありましたけれども、その部分について、皆様の意見を聞いて、最後は多数決になろうかと思えますけれども、その辺も含めて。

先ほどはUDの件は、皆さんいいよという話は、そういうふうに言ってくれという話なので、それは承りましたので、これについて。

どうぞ、小田委員。

○副委員長（小田圭介） 委員会としての意見というのは、賛否がある程度まとまっている場合には意見というのはつけやすいのですけれども、賛否が分かれているときには賛成だけれども、反対だけれども、だからこうというのはできないと思うので、委員会としてまとめるというのは不可能だと思います。

○委員長（井出 悟） そういう意見ということで、これについてはよろしいですかね、賛否が分かれそうなので、委員会としては、意見があったことは当然言いますので、先ほどの議案のところですね。その程度にとどめるということではよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（井出 悟） わかりました。では、全体を通して、最後ですけれども、この31年度当初予算の中で審査として。

土屋委員。

○委員（土屋主久） やはり3世代同居の住宅の補助関係ですよ、あれはやっぱり積み上げ方式だよ、今までのをなくすのではなくてということだったらわかるのです。市外に住んでいる方をいかに裾野へ住んでもらうかとい

う、その辺、要するに縁もゆかりもない方が裾野に住みたいなといったときに、お金も何も上げませんよという世界なのです。だから、それはおいておいて、プラスアルファ裾野に生まれてよかったなという、そういう子どもたちが帰ってくる、それで3世代同居だよという、そういう形に持っていきべきだと思うのです。それがちょっと欠けてしまって、他人は入ってくるなど、そういう感じのあれをちょっと感じたので、これは自分としたら賛成できないなというのがあります。

○委員長（井出 悟） ほかにありますか、全体を通してでもいいですけども、なければいいですけども。

どうぞ。

○委員（賀茂博美） これ毎回予算審査のときに話が出て、今議会改革も進んでいますけれども、もう少し積み上げ資料があるといろんなことが細かく質問しなくても、例えば委員報酬、何の委員かとか、負補交もそれぞれどういうものかというのを聞かずして、本当の中身の審査に入れるかなと思います。これ毎回の話なのですけれども、もう少し詳細な資料があると非常に審査がはかどるかなと思いました。

○委員長（井出 悟） 先ほどの土屋委員の話は、UDタクシーと根っこは似ていると思うので、UDタクシーと3世代同居の話みたいな形で、そういう各種の補助金等については説明もしっかりしていただきたいし、考え方もしっかり幅広でやっていただきたいということだと思うので、そこに含めてしまっていていいですか。

○委員（小林 俊） そうじゃないよね。

○委員長（井出 悟） それは違いますか。

○委員（土屋主久） 物の考え方が浅い。要するに、現状があって、件数もかなりやっているわけじゃないですか。あの件数考えたら、なぜやめるのですかと、それにプラスアルファでもっともっと移住を推進するのだよという意味だったらわかるのです、考え方が浅過ぎる。

○委員長（井出 悟） その部分については、今回委員会としても意見書というか、要望書というか、あれを出しているのです。

○委員（土屋主久） そんなことやっていて、1軒の家計簿をつけているわけではないのだからさ、戦略的なものがなかったら始まらないわけじゃないですか、戦略性が何も見えない。

○委員長（井出 悟） どうでしょうか。今の部分について、何か。

○委員（土屋主久） だから、これについては、いずれにしても提案、例えば市のほうでこういうふうに変えますよというときあるじゃないですか。それって説明責任必要ですよ、議員に対しても。夢だけを考えているのではなく

て、やっぱり議員さん、これこうなのですけれども、幅広く意見を聞きたいから、意見を聞かせてくださいとか、そういう論法じゃないと思う。

○委員（小林 俊） だから、やめるならやめるで、それこそ予算にかかわってくる話だから、前もってもうやめることにしましたけれども、いいですかではなくて、どう思いますかと言ってもらったほうがいいな。

○委員（土屋主久） 時限立法あのとき出ましたよね、僕も条例読んだのであれですけれども、時限立法でそれを引きずってきたと言っていたじゃないですか。でも、引きずってきたのをここでやめるということは説明責任ありますよね。だって、3年といたら、3年のときが、みんなあれじゃないですか、ここで切れるのですねと、じゃ、どうするのですかという議論、要するに一般質問とかいろいろ出ていると思うのですけれども、引きずっておいて、いきなりやめますと、今度はこれにしますというのは。

○委員長（井出 悟） 今後の委員会というか、予算審議の中での意見と、委員会としてそこに至るまでの政策立案の部分とでちょっと切り分けて分科会委員としてご意見をしたほうがいいと思うので、今回予算審査という観点で少し幅を狭めたほうがよろしいかなと思います、もし俎上にのせるのであればね、その辺のご意見を。

○委員（賀茂博美） 反対か……されますか。

○委員（賀茂博美） やっぱり意見として取り入れていただくか……。

○委員長（井出 悟） まあ、そうだね。

○委員（土屋主久） 予算をひっくり返すってよほどのことがないと無理ですよ、追加することだってそんな簡単なことではない。

○委員長（井出 悟） わかりました。どうですか、今を取り上げ……反対するということではないけれども、制度というか、考え方、制度を構築するような考え方について意見があったということについては俎上にのせるということで大丈夫ですか、特に賛否も分かれていないようです。内容としては、今回産業部から上がってきた事案についても定住人口をふやすだとか、さまざまな広い視点で事業を目指したときにそういう制度設計ができていいのかということについては疑問があったというような感じでちょっとまとめて見たいと思いますが、また皆様方のチェックをしていただきたいと思います。

では、UDと3世代同居の部分についてと、あと審査の効率化の部分について少し意見として出たということをお述べたいと思います。

そのほかよろしいですか。

○委員長（井出 悟） 以上で本委員会に付託され、本分科会に割り振られました議案の審議は全て終了いたしました。

来る3月19日の予算決算委員会で分科会委員長報告をいたします。
審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます、予算決算委員会産業
建設分科会を閉会いたします。ありがとうございました。

12時33分 閉会